

# 高柳電設工業スペースパーク年報 (郡山市ふれあい科学館)

## — 令和6年度版 —



高柳電設工業スペースパーク(郡山市ふれあい科学館)指定管理者

公益財団法人郡山市文化・学び振興公社



# 目次

はじめに	
<b>I 施設のあらまし</b>	
1 設置目的	1
2 運営方針	2
3 施設概要	3
4 組織概要	5
5 歴代館長	6
6 沿革	6
<b>II 令和6年度事業活動実績</b>	
1 宇宙劇場運営	
(1) プラネタリウム番組投映	23
(2) 宇宙劇場リニューアル記念イベント	31
(3) 市制施行100周年・プラネタリウム100周年イベント	32
(4) 郡山市紹介オリジナルドーム映像コンテンツ制作	33
2 展示ゾーン運営	
(1) 体験型展示物の運転	34
(2) 常設展示物の更なる活用	34
(3) サイエンスステージ	36
3 展望ロビー利活用事業	
(1) パブリックビューイング	39
(2) 展望ロビーパネル展	39
(3) Nゲージ鉄道ジオラマショー	40
(4) ロボットで遊ボット!	40
(5) みんなの展望ロビーイベント	41
4 展示ゾーン利活用事業	
(1) 団体利用向け科学教室	42
(2) エンターテインメント企画展	43
(3) 学校長期休業期間の特別事業	46
(4) 3D天文シミュレーション	47
(5) デジタル工房の活用	48
(6) 小中学生・高校生のための科学技術へのいざない	49
(7) 子育て孫育て応援「キッズルーム」	49
5 展望ロビー装飾イベント装飾事業	
(1) 展望ロビーアルミネーション	51
(2) 展望ロビーシーズンディスプレイ	51
6 教育普及活動	
(1) 観望会	53
(2) アウトリーチ活動	54
(3) クラブ活動	56
(4) 職場体験	57
(5) 学校向け巡回展	59
(6) 講師派遣	59
(7) 学習支援	60
7 講演会事業	
(1) 星の講演会	61
(2) 天文カレッジ	61
8 他団体連携事業	
(1) 国立天文台との連携による天文講演会	63
(2) 星空案内人資格認定講座	63
(3) 科学ゼミナー	64
(4) 企業との連携事業	66
(5) ばんえつ発見の旅サポート連携事業	67
(6) 天文宇宙検定	68
(7) 地域と連携した展示物制作	68
9 宇宙や科学に関する情報発信事業	

1 企画パネル展	69
(2) SNS等による科学情報発信	69
(3) 学術発表	69
(4) 出版	70
<b>10 パブリシティ活動事業</b>	
(1) 郡山市への投げ込み	71
(2) YouTube広告	71
(3) 新聞広告	71
(4) 広報誌及び雑誌等への掲載、テレビ取材	71
11 作品募集	72
<b>12 調査・研究</b>	
(1) 天文関連協議会調査	74
(2) 天文最新情報調査	74
(3) 展示協議会等調査	74
(4) 展示最新情報調査	75
<b>13 その他</b>	
(1) 運営協力	76
(2) ボランティア活動の推進	78
(3) 市制施行100周年記念無料開放	83
<b>III 令和6年度広報・営業活動</b>	
<b>1 広報PR活動</b>	
(1) 広報戦略活動	84
(2) 広報紙の配布	84
<b>2 営業活動</b>	85
<b>IV 令和7年度事業活動計画</b>	
1 宇宙劇場運営	86
2 展示ゾーン運営	91
3 展望ロビー利活用事業	92
4 展示ゾーン利活用事業	93
5 展望ロビーアルミネーション	96
6 教育普及活動	97
7 講演会事業	99
8 他団体連携事業	100
9 宇宙や科学に関する情報発信事業	100
10 パブリシティ活動事業	101
11 作品募集	102
12 調査・研究	102
13 その他	102
<b>V 令和7年度広報・営業活動</b>	
<b>1 広報PR活動</b>	
(1) 広報戦略活動	105
(2) 広報紙の配布	105
<b>2 営業活動</b>	105
<b>VI 予算・決算</b>	
1 令和6年度決算	106
2 令和7年度予算	107
<b>VII 施設利用状況</b>	
1 月別入館者数	108
2 宇宙劇場区分別入館者数	109
3 展示ゾーン区分別入館者数	110
4 令和6年度施設利用状況の結果分析	112
<b>VIII その他</b>	
1 条例・規則	114
2 利用案内	123
3 スペースパークボランティアの会会則	124

## はじめに

令和6年度は、「公益財団法人郡山市文化・学び振興公社」が郡山市より新たに5年間の指定管理を受け、郡山市ふれあい科学館の管理運営を行う初年度となりました。

新しい目標のもと職員一丸となって、更なる事業の充実を図り、新型コロナ感染症の影響により減少した入館者数を回復させるべくスタートを切った年でありました。

さらに、宇宙劇場においては、「全天ビデオシステム」の老朽化のため、前年度約2ヶ月をかけて、ビデオプロジェクター、コンピュータシステム等の改修を行い、より明るくあざやかな映像投映を行えるようになりました。

宇宙劇場の主な事業としましては、夏休み・冬休みの特別企画として娯楽性の高い番組、「ゲゲゲの鬼太郎 河童のテラフォーミング」、「イナズマデリバリー バイザウェイの宇宙旅行?! - ブラックホールとの遭遇 -」の投映を行いました。リニューアル記念事業としては、9月から10月まで「水の惑星-星の旅シリーズ」を投映し、10月にはオーロラ上映＆トークライブを実施しました。

プラネタリウム誕生100周年を祝い、9月にトーク＆オリジナル映像投映「彼方まで-板橋克己の宇宙紀行-」を行いました。また、市制施行100周年を記念して、11月には、郡山市出身の岩谷圭介氏を講師に迎え、「週末、宇宙行く？が実現する世界を目指して」と題して、星の講演会を開催しました。さらに同月に、渡部潤一名誉館長による「天文学これまでの100年、これから100年」と題して、天文講演会を開催しました。また、宇宙劇場の機能を効果的に活用するため、12月と2月に郡山市に縁のある演奏者mic-aloneとMANAMIさんのプラネタリウムコンサートを実施しました。利用者に応じた番組投映では、乳児や保護者が気兼ねなく利用できる「ベビープラネタリウム」を5回、高齢者向けの「いきいきプラネタリウム教室」を4回実施し、好評を得ました。

展示ゾーンでの主な事業としましては、夏のスペースパーク企画展「科学館 de キモダメシ」、冬のスペースパーク企画展「運動科学×リアル謎解きゲーム」を開催しました。特に、夏の企画展は多くのお客様に楽しんでいただけました。さらに、3月にはロボット製作等に取り組んでいる近隣の高等学校と連携して、「ロボットフェスティバル」を2日間にわたり実施しました。

他団体との連携事業として、新潟大学工学部で研究している最新科学の紹介や実験・工作を行う「科学技術へのいざない」を12月に展示ゾーンで実施しました。12月、3月に福島大学、日本大学工学部から講師を招き科学ゼミナールを開催しました。企業との連携事業として、8月に株式会社東北村田製作所、2月に曽田香料株式会社の協力のもとワークショップ等を開催しました。各事業とも多くの参加者に楽しんでいただけました。

今年度は、新型コロナ感染症の影響で減少した入館者数も回復の兆しを見せ、ほぼコロナ前の数字まで回復することが出来ました。今後とも、皆様方の温かいご支援とご意見等をいただきながら、「市民の科学に関する知識と教養の向上を図り、もって文化の発展に寄与する」という設置目的を十分に認識し、魅力ある事業の展開に努めて参ります。

より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

郡山市ふれあい科学館  
館長 佐久間 隆博

## I 施設のあらまし

### 1 設置目的

郡山市ふれあい科学館スペースパークは、宇宙の時代といわれている21世紀において、人類が羽ばたこうとしている広大な宇宙やそれを支える様々な科学などに触れ、子どもから大人までの幅広い年代の皆さんに、宇宙や科学に対しての夢や希望を育むとともに、多くの皆さんのがこの場に集い、様々なふれあいを通じて、市民文化が向上することを目指しております。具体的には、以下の目的で設置した施設となっています。

#### (1) 理科離れ、科学技術離れへの対応

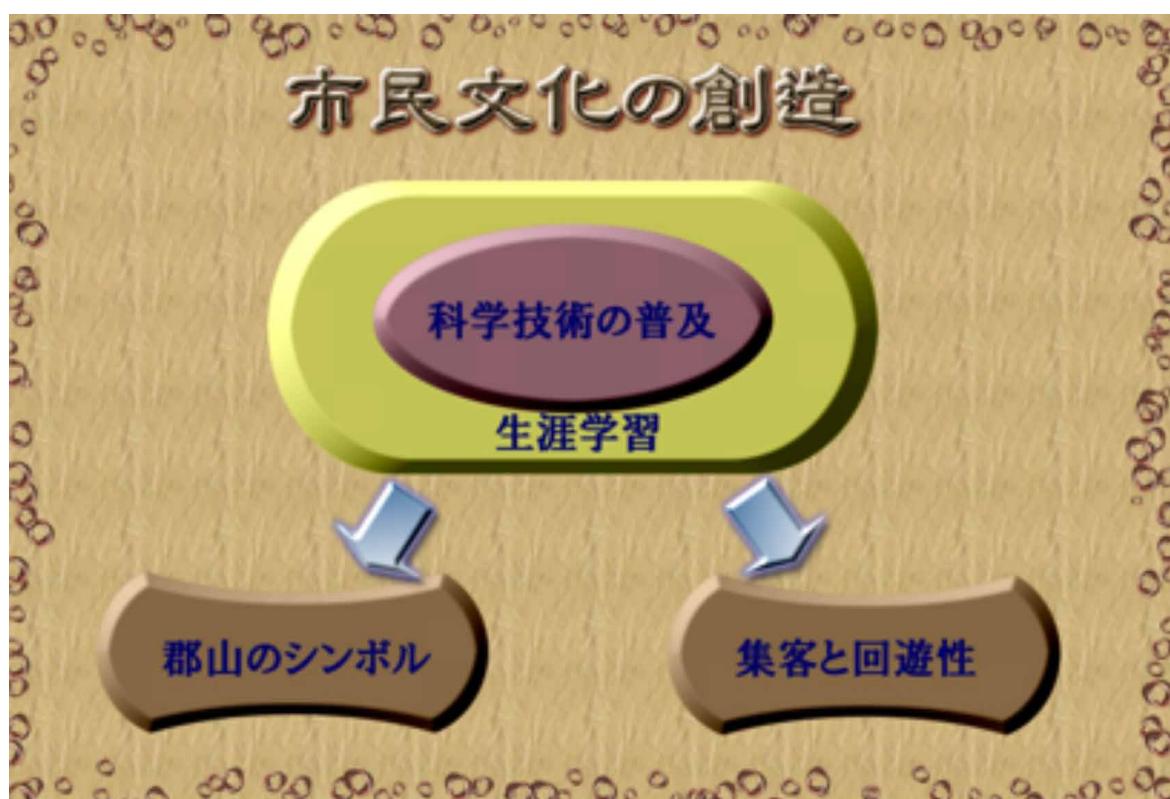
近年の子どもたちの理科離れや科学技術離れに歯止めをかける県内初の本格的な理工系科学館を建設し、楽しみながら学べるような施設とする。

#### (2) 市民の生涯学習意欲への対応

科学技術の普及を通じ、多世代の市民が利用できる生涯学習施設として活用する。

#### (3) 都心部の回遊性と集客

21世紀の郡山を象徴する高層ビル“ビッグアイ”的シンボル施設として設置し、回遊性と集客力を向上することにより、市街地の活性化を図る。



## 2 運営方針

### 基本コンセプト

#### 宇宙の中のわたしたち

わたしたちの存在する宇宙とわたしたちの関わり

### 基本テーマ

#### 地球人から宇宙人へ

地球人も宇宙に存在する宇宙人の一人であることをさまざまな宇宙的体験で認識し、宇宙の視点から地球人であることを再認識

上記のコンセプトやテーマのほか、施設設置の目的等を達成し、常に成長する科学館“グローリング・ミュージアム”を実現するため、以下のポイントを重視した施設運営を図っています。

### ポイント1 科学する心を喚起する科学館

科学に関する一通りの知識を理解させる情報発信を重視した「完結型の科学館」から、能動的・主体的な活動を促し、無関心層にもアピールできる参加者の視点を重視した「科学する心を喚起する科学館」へと成長することを目指しています。

### ポイント2 コミュニケーション重視の科学館

体験性やインタラクティブ性を重視し、機械的に情報を発信する「展示情報重視の科学館」から、人と人とのコミュニケーションを通じた知的体験により情報を発信する「コミュニケーション重視の科学館」へと成長することを目指しています。

### ポイント3 ボランティア参加型科学館

科学館が一方的に運営体制や案内、安全管理等を行う「サービス型の科学館」から、経験や知識の有効活用、市民交流の活性化等の視点を取り入れた「ボランティア参加型の科学館」となることを目指しています。

また、来館者や地域と科学館が有機的に結びつき、レベルを向上することができるよう、以下の視点を重視した事業展開を行っています。



#### ◎無関心層◎

展望ロビーの一般利用者のほか、郡山駅や商業施設の利用者など、特に宇宙や科学に興味のない無関心層に対しては、遊び感覚で宇宙や科学を楽しむことができ、興味を喚起させる事業展開を図ります。

#### ◎関心層◎

子ども連れの家族や小中学校等の団体など、宇宙や科学というテーマに興味をもつて来館する関心層に対しては、テーマ性のある番組や参加体験型の展示のほか、講演

会やサイエンスショー・ワークショップなどを通じて、関心の度合いを高める事業展開を図ります。

## ◎探求層◎

宇宙や科学に興味があり、自らその先にあるものを追求する探求層に対しては、目的に応じてデータ化された情報の提供や専門機関等からの情報支援等により、様々な知的欲求を満足できる事業展開を図ります。

## 3 施設概要



所在地：福島県郡山市駅前二丁目 11 番 1 号  
(ビッグアイ 20 ~ 24 階)

構 造：地下 1 階、地上 24 階、鉄骨造  
※ビル全体の構造（地上高 133 m）

面 積：4,337.37m<sup>2</sup>（内専用部分 3,459m<sup>2</sup>）

### 郡山市ふれあい科学館 フロア案内

#### 宇宙劇場 – 23・24F –

##### 劇場、ホワイエ

###### ○規模

直径 23 m (傾斜型)、座席数 238 席

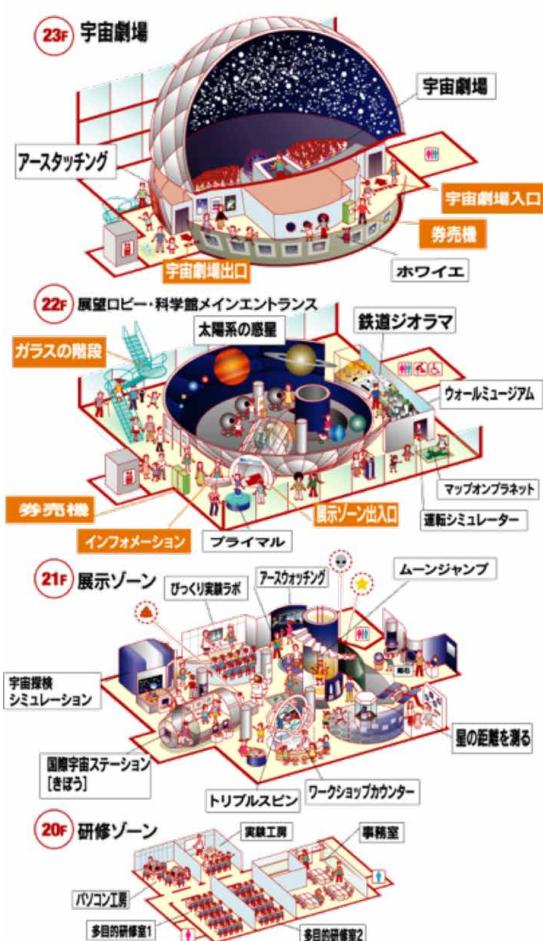
###### ○機器

スーパーへリオス、全天ビデオシステムほか

###### ○展示品

アースタッキング

#### スペースパークフロアマップ



#### 展望ロビー – 22F –

##### メインエントランス

###### ○展示品

N ゲージ鉄道ジオラマ (運転シミュレーター)、シンボルオブジェ「プライマル」、マップオンプラネット、ドリームアートロケットプロジェクトタペストリーほか

#### 展示ゾーン – 21F –

###### ○展示品

– プロローグ –

プロローグ「惑星」、コペルニクスの考え

た宇宙、ハーシェルの考えた宇宙、ハッブルの考えた宇宙ほか  
-スペースフロンティア-  
国際宇宙ステーション「きぼう」、宇宙服、ムーンジャンプ、トリプルスピンほか  
-クエスト・オブ・ザ・ユニバース-  
すばる望遠鏡模型&主鏡、宇宙のポートレート、進化する宇宙・ふくらむ宇宙、  
プラズマボール、隕石、太陽系シミュレーターほか  
-アースウォッチング-  
アースウォッチングほか

### 研修ゾーン - 20F -

多目的研修室、パソコン工房、実験工房、ボランティア室、事務室ほか

#### 総事業費

4,331,480,716 円

##### -年度別内訳-

H11： 542,395,000円

H12： 2,594,887,000円

H13： 1,194,198,716円

##### -内容別内訳-

建 設 費： 2,810,762,998円

床取得費： 1,509,000,000円

事 務 費： 11,717,718円

##### -財源別内訳-

地域総合整備事業債： 911,300,000円

基金繰入金（寄附金）： 2,810,762,998円（寄附金総額：3,023,812,680円）

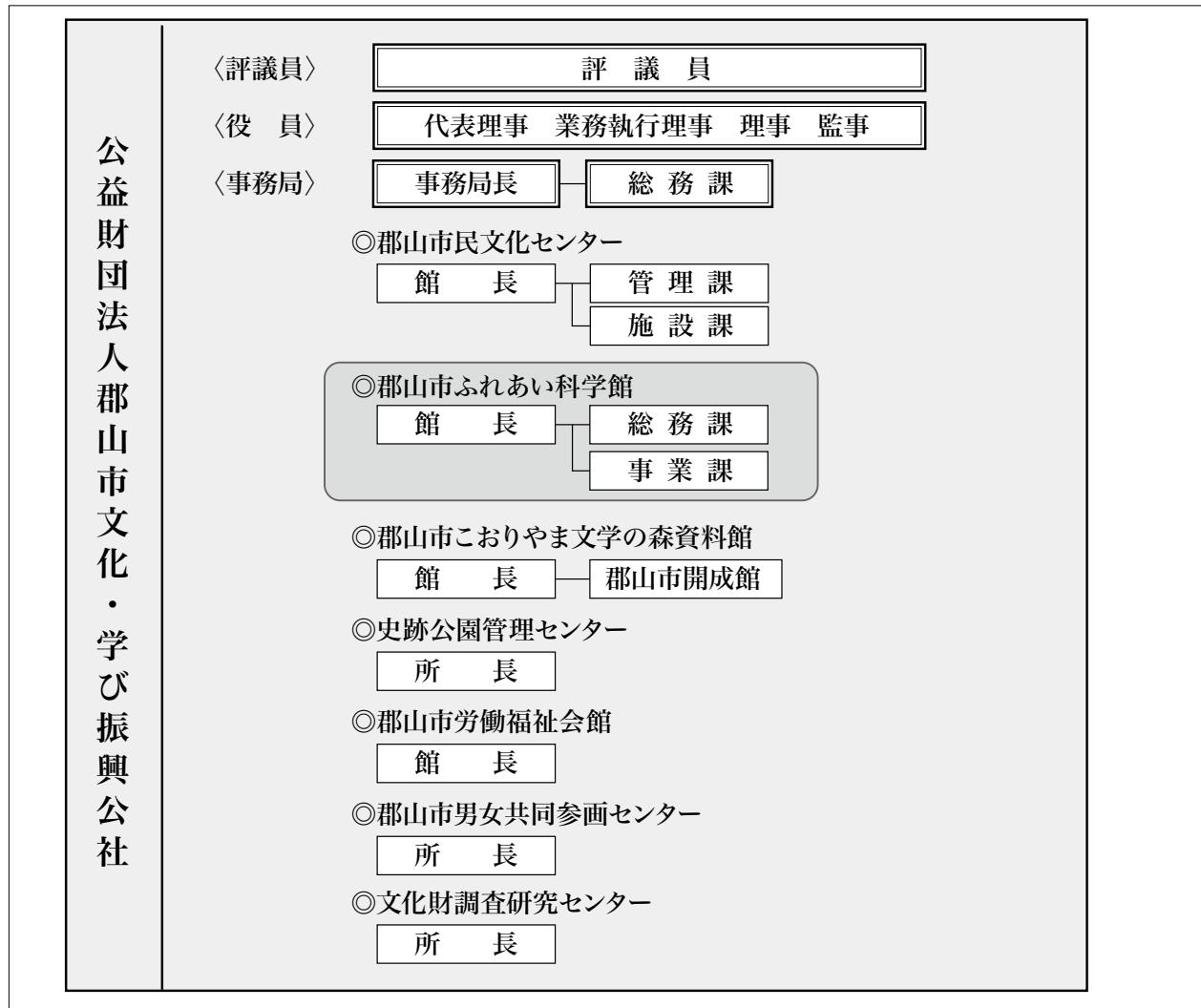
\*寄附金残額（213,049,682円）は展示更新基金として積立

雇用保険料個人負担分： 14,583円

一 般 財 源： 609,403,135円

## 4 組織概要

### (1) 組織図<令和6年度>



### (2) 職員配置 (令和7年3月31日現在)

館長 (嘱) (1)

副館長 (1)

- 総務課 (8) -

課長 (1)、主任主査 (1)、主任 (1)、常勤嘱託職員 (1)、臨時職員 (4)

- 事業課 (22) -

課長 (兼)、主任 (2)、主査 (2)、主事 (2)、常勤嘱託職員 (4)、臨時職員 (12)

合計 32 人

## 5 歴代館長

初代館長	永 戸 法 夫	平成13年10月1日～平成14年3月31日
第2代館長	大 森 高 志	平成14年4月1日～平成16年3月31日
第3代館長	箭 内 政 勝	平成16年4月1日～平成19年3月31日
第4代館長	佐 藤 秀 一	平成19年4月1日～平成22年3月31日
第5代館長	遠 藤 育 夫	平成22年4月1日～平成25年3月31日
第6代館長	伊 東 利 幸	平成25年4月1日～平成28年3月31日
第7代館長	市 川 正 道	平成28年4月1日～平成29年3月31日
第8代館長	佐久間 政 彦	平成29年4月1日～平成30年3月31日
第9代館長	岡 崎 強	平成30年4月1日～令和3年3月31日
第10代館長	佐 藤 宏	令和3年4月1日～令和7年3月31日

## 6 沿革

### ▶平成 10 年度

#### <平成 10 年 4 月>

- 郡山駅西口再開発ビルの建設計画発表→（仮称）ふれあい科学館建設構想発表  
※郡山市教育委員会青少年課が所管

#### <平成 10 年 10 月～平成 11 年 1 月>

- 基本計画策定

### ▶平成 11 年度

#### <平成 11 年 5 月～ 11 月>

- 基本実施設計策定

#### <平成 12 年 3 月>

- 財団法人郡山市文化施設管理公社への管理運営委託協定書締結

### ▶平成 12 年度

#### <平成 12 年 4 月>

- 郡山市教育委員会内に科学館準備室設置

#### <平成 12 年 9 月>

- 科学館キャラクター決定（制作者：漫画家 松本零士氏）

#### <平成 12 年 12 月>

- 科学館愛称決定（愛称：スペースパーク）※応募総数：2,849点

#### <平成 13 年 3 月>

- 郡山市ふれあい科学館条例制定

### ▶平成 13 年度

#### <平成 13 年 4 月>

- ビッグアイに科学館準備室移転

**<平成 13年7月>**

- シンボルマーク及びロゴタイプ決定

**<平成 13年8月>**

- 22階展望ロビーをプレオープン

**<平成 13年 10月>**

- 郡山市ふれあい科学館開館

※郡山市ふれあい科学館オープン式を開催、名誉館長を松本零士氏に委嘱

- 郡山市ふれあい科学館開館記念“宇宙へワープ”開催（会場：郡山市民文化センター）

※日本科学未来館館長 毛利衛氏、松本零士氏、国立天文台助教授広報普及室長 渡部潤一氏ほか出席

**<平成 13年 11月>**

- 郡山市ふれあい科学館開館記念“第1回星の講演会「すばる望遠鏡が見た新たな宇宙」”開催

**<平成 13年 12月>**

- 郡山市ふれあい科学館開館記念“サイエンスショー”開催

**<平成 14年1月>**

- ギネス認定（「地上から世界で一番高いところにあるプラネタリウム」）

**<平成 14年2月>**

- 郡山市ふれあい科学館開館記念“エネルギー体験館”開催（会場：ビッグパレットふくしま）

- 有料ゾーン入館者が10万人突破

**<平成 14年3月>**

- 展望ロビー入館者が郡山市人口（336,943人）突破

- ロボット犬アイボ導入

**▶平成 14年度**

**<平成 14年6月>**

- 鉄道ジオラマボランティア33人活動開始

**<平成 14年7月>**

- 開館1周年記念“松本零士講演会”開催

**<平成 14年8月>**

- 展望ロビー入館者が50万人突破

**<平成 14年 10月>**

- 常陸宮両殿下御視察

- 開館1周年記念事業“鉄道フェスティバル”開催

**<平成 14年 12月>**

- 開館1周年記念“サイエンスショー”開催

**<平成 15年3月>**

- 展示ゾーン新展示物設置

H2ロケットフェアリング（協力：宇宙開発事業団）

船外活動装置装備宇宙服レプリカ（協力：日本宇宙少年団）

## ▶平成15年度

### <平成15年4月>

○特別展“毛利宇宙飛行士の部屋～ユニバソロジの世界～”開催

### <平成15年6月>

○宇宙飛行士で日本宇宙少年団団長の毛利衛氏がこおりやま分団の激励のため来館

### <平成15年7月>

○“松本零士のスペースアニメ展”開催

○“松本零士のふれあいトーク”開催

○スペースパークボランティア活動開始

### <平成16年2月>

○スペースパークボランティアの会設立

### <平成16年3月>

○展望ロビー入館者が100万人突破

## ▶平成16年度

### <平成16年5月>

○リニア彗星、ニート彗星の接近に合わせ彗星大観望会を開催

### <平成16年6月>

○有料ゾーン入館者が50万人突破

### <平成16年9月>

○高円宮妃殿下御視察

### <平成16年10月>

○“郡山市制施行80周年・合併40年記念 郡山市ふれあい科学館開館3周年記念

小柴昌俊講演会「心に夢のタマゴを持とう」開催

### <平成16年11月>

○展示ゾーン新展示物設置 パラボラアンテナ（協力：国立天文台野辺山電波観測所）

○天文教育普及研究会・東北支部会開催

### <平成17年2月>

○県内5館連携事業“100年前の実験に挑戦!!—石井研堂とその時代—”開催（福島

県立博物館、福島県立図書館、磐梯山噴火記念館、郡山市立美術館、郡山市ふれあい科学館）

○郡山市制施行80周年・合併40年記念事業・郡山市ふれあい科学館開館3周年記念事業“第10回星の講演会「神田 紅 宇宙を語る」”開催

## ▶平成17年度

### <平成17年9月>

○AINシュタイン特別企画～不思議な世界 紹介～開催（9・10月）

### <平成18年3月>

- 展示ゾーンに「びっくり実験ラボ」オープン  
オープニングイベント “杉木優子びっくりサイエンスショー” 開催

## ▶平成 18 年度

### <平成 18 年 9 月>

- 郡山市ふれあい科学館開館 5 周年記念 “全館企画「宇宙飛行士スペシャル」” 開催  
(9・10月)

### <平成 18 年 10 月>

- 郡山市ふれあい科学館開館 5 周年記念事業 “「飛び出せ！郡山から未来へ！～宇宙開拓の未来～」” 開催
- 郡山市ふれあい科学館開館 5 周年記念投映 “「銀河鉄道の星物語 宮沢賢治が見た風景～小岩井農場から見る銀河鉄道の星座たち～」” 開催
- 郡山市ふれあい科学館開館 5 周年記念投映 “「螺旋の宇宙誌」” 開催
- 国際宇宙ステーション (ISS) の日本上空通過に合わせ観望会を開催

### <平成 18 年 11 月>

- 郡山市ふれあい科学館開館 5 周年記念投映 “「ふくしまから宇宙へ」” 開催

### <平成 19 年 3 月>

- “ロボットで遊ボット！特別企画「ASIMOが郡山にやってくる！」” 開催

## ▶平成 19 年度

### <平成 19 年 7 月>

- “夏休み特別番組「銀河鉄道999 ～星空はタイムマシーン～ 太陽系・恐竜絶滅編」” 投映開始

### <平成 19 年 10 月>

- 「第5回郡山地域ホームページコンテスト2007」教育・公的機関部門 優秀賞受賞

### <平成 19 年 12 月>

- “スペースパーク企画展「ダンボールで遊ぼう～迷路でたんけん♪～」” 開催
- 展望ロビー入館者が200万人突破

### <平成 20 年 1 月>

- 有料ゾーン入館者が100万人突破

## ▶平成 20 年度

### <平成 20 年 6 月>

- “「JAXA太陽ふしぎ展」” 開催
- “特別展「星出さん宇宙へ行く！～星出彰彦宇宙飛行士企画展～」” 開催

### <平成 20 年 7 月>

- スペースパークの新しい仲間アザラシロボットパロ命名「ミライ」
- “夏休み特別番組「ダイナソーDXパタゴニア・巨大恐竜の謎」” 投映開始

### <平成 20 年 12 月>

- “全館企画「月の科学」オープニングイベント「月の石がやってきた！」” 開催
- “冬休み特別番組「宇宙エレベーター～科学者の夢見る未来～」” 投映開始

## ▶平成 21 年度

### <平成 21 年 4 月>

- 世界天文年2009 世界主要企画「世界一周観望会in郡山」開催

### <平成 21 年 7 月>

- “夏休み特別番組「3Dワンダフルプラネット」”投映開始
- “世界天文年2009「部分日食観望会」”開催

### <平成 21 年 11 月>

- “全館企画「世界天文年2009～ガリレオの世界を体験しよう～」”開催

### <平成 21 年 12 月>

- “スペースパーク企画展「ようこそ！ダーウィンの部屋へ」”開催
- “冬休み特別番組「アースストーリー～恐竜の進化とヒトの未来～」”投映開始
- “世界天文年2009 グランドフィナーレ in 郡山”開催

## ▶平成 22 年度

### <平成 22 年 7 月>

- “宇宙劇場 夏休み特別番組「プレヒストリック・パーク」”投映開始

### <平成 22 年 11 月>

- “全館企画「ようこそ！宇宙ステーションへ」”開催

### <平成 22 年 12 月>

- “スペースパーク企画展「レゴ・エデュケーション展～みて・さわって・うごかして～」”開催
- “宇宙劇場 冬休み特別番組「サンタVSスノーマン」”投映開始

### <平成 23 年 3 月>

- 「東日本大震災」により 3 月 11 日より休館

## ▶平成 23 年度

### <平成 23 年 4 月>

- 「東日本大震災」により 4 月 28 日まで休館、4 月 29 日より開館
- “スペースパーク企画展「～視覚の科学～トリックアート展」”開催

### <平成 23 年 7 月>

- “宇宙劇場 夏休み特別番組「Bugs!～昆虫たちの不思議な物語～」”投映開始
- “はやぶさがやってきた～はやぶさ帰還カプセル特別展示～”開催

### <平成 23 年 8 月>

- “「『宙（そら）のまにまに』の世界～作品原画展&柏原麻実先生講演会～」”開催

○有料ゾーン入館者が150万人突破

### <平成 23 年 10 月>

- 郡山市ふれあい科学館開館10周年記念イベント開催

・開館10周年記念セレモニー

・記念講演 渡部潤一氏「宇宙この10年とその未来」

・科学の祭典 in こおりやま

・鉄道フェスティバル「きかんしゃトーマスとなかまたち」

**<平成 23 年 12 月>**

- “郡山市ふれあい科学館開館10周年記念「ドラえもんの科学みらい展」” 開催
- “宇宙劇場 冬休み特別番組「シーレックス」” 投映開始

**<平成 24 年 1 月>**

- 「宇宙劇場の改修」により 1 月10日より休館

**<平成 24 年 2 月>**

- 展望ロビー入館者が300万人突破

**▶平成 24 年度**

**<平成 24 年 4 月>**

- “宇宙劇場リニューアルオープン記念セレモニー” を開催

**<平成 24 年 5 月>**

- 郡山駅西口駅前広場及びペデストリアンデッキを会場に、“金環日食観望会” を開催

**<平成 24 年 6 月>**

- 郡山駅西口駅前広場を会場に、“金星太陽面通過観望会” を開催

**<平成 24 年 7 月>**

- “夏休みドーム映像番組「月の魔法とサンゴの海」” を7月14日から16日、7月21日から8月26日まで投映

**<平成 24 年 12 月>**

- “スペースパーク企画展「からくり人形の世界展」” を12月1日から1月14日まで開催

- “冬のドーム映像番組「いきものがたり」” を12月1日から2月24日までロングラン投映

**<平成 25 年 1 月>**

- 全国のプラネタリウム22施設の関係者とプラネタリウムメーカー技術者の合わせて55人が参加して“ハイブリッドプラネタリウム研修会”を開催

**<平成 25 年 2 月>**

- “イブニングアワー「アラスカからオーロラ生中継！」” を夜間投映

- 独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）と共に、“星出宇宙飛行士ミッション報告会～こおりやまに宇宙飛行士がやってくる！～”を郡山市民文化センター中ホールで開催

**▶平成 25 年度**

**<平成 25 年 5 月>**

- “パークス天文台遠隔操作による電波観測実習” を開催

**<平成 25 年 7 月>**

- “夏休みドーム映像番組「宇宙兄弟 一点のひかり」” を7月20日から8月25日まで投映

**<平成 25 年 11 月>**

- “全館企画「アイソンスペシャル！」”を11月9日から12月8日まで開催
- “アイソン彗星観望会”を郡山市総合地方卸売市場駐車場で開催

#### <平成25年12月>

- “冬のドーム映像番組「恐竜探検隊 パンゲアのひみつ」”を12月1日から1月13日まで投映
- “スペースパーク企画展「エレメントハンター」～元素の謎を探れ！～”を12月7日から1月13日まで開催

#### <平成26年1月>

- “天文教育普及研究会東北支部研究会”を開催

#### <平成26年3月>

- “スペースパークボランティアの会設立10周年記念式典・記念講演会・記念祝賀会”を開催

### ▶平成26年度

#### <平成26年7月>

- “夏休みドーム映像番組「大恐竜時代 恐竜パッチの大冒険」特別試写会”を開催
- “夏休みドーム映像番組「大恐竜時代 恐竜パッチの大冒険」”を7月19日から8月24日まで投映

#### <平成26年9月>

- “郡山市制施行90周年・合併50年記念 ホワイエ企画展「郡山から見上げた星空」写真展”を9月2日から10月31日まで開催
- “郡山市制施行90周年・合併50年記念 第5回国際科学映像祭 優秀作品上映会”を9月27日・28日に開催
- “郡山市制施行90周年・合併50年記念 ドーム映像番組「銀河鉄道999 赤い星ベテルギウス いのちの輝き」特別試写会”を開催

#### <平成26年10月>

- “郡山市制施行90周年・合併50年記念 ドーム映像番組「銀河鉄道999 赤い星ベテルギウス いのちの輝き」”を10月4日から26日まで投映
- “皆既月食観望会”を「ミューカルがくと館」と「開成山公園自由広場」で開催
- “郡山市制施行90周年・合併50年記念「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を開催

#### <平成26年11月>

- “郡山市制施行90周年・合併50年記念 第26回星の講演会「ファンタジック・オーロラ in 郡山」”を開催
- JAXAによる惑星探査機「はやぶさ2」が平成26年12月に打ち上げられるのに合わせ、はやぶさ2について紹介する企画展“飛び立て！はやぶさ2”を11月26日から1月12日まで展示ゾーンエレベーターホールで開催

#### <平成26年12月>

- “郡山市制施行90周年・合併50年記念 スペースパーク企画展「見て聞いて、さわって感じよう！～感覚体感フィールド～」”を12月6日から1月12日まで開催

## ▶平成 27 年度

### <平成 27 年 4 月>

- “皆既月食観望会”を「ミューカルがくと館」と「開成山公園自由広場」で開催
- 有料ゾーン入館者が200万人突破

### <平成 27 年 7 月>

- “夏休みドーム映像番組「ガラパゴス～地上で唯一の楽園～」特別試写会”を開催
- “夏休みドーム映像番組「ガラパゴス～地上で唯一の楽園～」”を7月18日から8月24日まで投映

### <平成 27 年 9 月>

- 第5回国際科学映像祭ドームフェスタにおいて、人気投票上位でクオリティの高い科学映像作品の投映を行う、「第6回国際科学映像祭ドームフェスタ プレイベント」を開催
- 第6回国際科学映像祭実行委員会（事務局：国立天文台天文情報センター内）などとの共催で、国内外からの最新の科学映像の上映のほか、海外からの科学者の招待講演などを行う「第6回国際科学映像祭ドームフェスタ」を9月23日から26日に開催
- 第6回国際科学映像祭ドームフェスタにおいて人気投票1位となったクオリティの高い科学映像作品の投映を行う、「第6回国際科学映像祭ドームフェスタ アフターイベント」を開催

### <平成 27 年 10 月>

- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を開催

### <平成 27 年 11 月>

- 名古屋市科学館が主催し、ブラザーワーク工業株式会社の協力のもと全国7カ所の科学館と共に、国際宇宙ステーションに滞在中の油井亀美也宇宙飛行士とのリアルタイム交信を行うイベント「ブラザーアーストーク～JAXA 油井宇宙飛行士とリアルタイムで交信～」を開催

### <平成 27 年 12 月>

- スペースパーク企画展「錯覚美術館」を12月5日から1月11日まで開催
- “冬のドーム映像番組「ポラリス-氷のナゾに挑むペンギンとシロクマの宇宙大作戦！-」”を12月5日から1月11日まで投映

### <平成 28 年 3 月>

- “春のドーム映像番組「ポラリス-氷のナゾに挑むペンギンとシロクマの宇宙大作戦！-」”を3月5日から31日まで投映

## ▶平成 28 年度

### <平成 28 年 4 月>

- “春のドーム映像番組「ポラリス -氷のナゾに挑むペンギンとシロクマの宇宙大作戦！」”を4月1日から5日まで投映

### <平成 28 年 7 月>

- “夏休みドーム映像番組「ウォーキングwithダイナソー 太古の地球へ」特別試写会”を開催
- “夏休みドーム映像番組「ウォーキングwithダイナソー 太古の地球へ」”を7月16日から8月24日まで投映

### <平成 28 年 8 月>

- 展望ロビー入館者が400万人突破

### <平成 28 年 10 月>

- 郡山市ふれあい科学館開館15周年記念イベント開催
  - ・開館15周年記念式典
  - ・記念講演 渡部潤一氏（国立天文台副台長）
  - ・記念コンサート 辻村結實子氏（シンガーソングライター）
  - ・ハイスクール科学祭
  - ・トリックアート展

- 開館15周年記念「鉄道の日鉄道フェスティバル～きかんしゃトーマスとなかまたち」”を開催

### <平成 28 年 12 月>

- 開館15周年記念スペースパーク企画展「プラレールフェスティバル」を12月3日から1月9日まで開催
- “冬のドーム映像番組「ナットのスペースアドベンチャー」”を12月3日から1月9日まで投映

### <平成 29 年 3 月>

- 春のドーム映像番組「くまのがっこう ジャッキーのおほしさま」、「Planetarian～ちいさなほしのゆめ～ プラネタリウム特別版」を3月4日から31日まで投映

## ►平成 29 年度

### <平成 29 年 4 月>

- “春のドーム映像番組「くまのがっこう ジャッキーのおほしさま」「planetarian～ちいさなほしのゆめ～ プラネタリウム特別編」”を4月1日から5日まで投映

### <平成 29 年 7 月>

- “夏休みドーム映像番組「ティラノサウルス 最強恐竜 進化の謎」特別試写会”を開催
- “夏休みドーム映像番組「ティラノサウルス 最強恐竜 進化の謎」”を7月14日から8月24日まで投映
- スペースパーク企画展「3Dゴーストハウスの科学」を7月15日から8月24日まで開催

### <平成 29 年 10 月>

- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を開催
- “春のドーム映像番組「くまのがっこう ジャッキーのおほしさま」”を10月7

日から9日までアンコール投映

#### ＜平成29年11月＞

- “春のドーム映像番組「planetarian～ちいさなほしのゆめ～プラネタリウム特別編」”を11月1日から30日までアンコール投映

#### ＜平成29年12月＞

- スペースパーク企画展「びっくり!鏡のふしぎな世界 鏡の魔法展」を12月2日から1月8日まで開催
- “冬のドーム映像番組「ノーマン・ザ・スノーマン～北の国のオーロラ～」”を12月2日から1月8日まで投映

#### ＜平成30年3月＞

- 春のドーム映像番組「グレーの子パンダ 小さなグレートの成長日記」を3月3日から31日まで投映

### ▶平成30年度

#### ＜平成30年4月＞

- 第9代館長 岡崎強就任
- 春のドーム映像番組「グレーの子パンダ 小さなグレートの成長日記」を4月1日から5日まで投映

#### ＜平成30年7月＞

- “夏休みドーム映像番組「ジュラシックヒーローズ 星空の警備隊」特別試写会”を開催
- “夏休みドーム映像番組「ジュラシックヒーローズ 星空の警備隊」”を7月14日から8月26日まで投映
- スペースパーク企画展「犯人はだれだ！ 科学捜査にチャレンジ」を7月14日から8月26日まで開催

#### ＜平成30年8月＞

- 有料ゾーン入館者が250万人突破

#### ＜平成30年9月＞

- 3D天文シミュレーション「Mitaka 3D」導入
- 科学館専用車に松本零士名誉館長原作の「銀河鉄道999」をデザインしたラッピングカー導入

#### ＜平成30年10月＞

- “秋のドーム映像番組「星の旅 一世界編一」”を10月6日から12月2日まで投映
- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を10月6日から8日まで開催
- 「2018全国少年少女発明クラブ創作展」が、10月13日・14日に「ビッグパレットふくしま」を会場に開催され、運営協力している郡山市少年発明クラブからも5作品を出した。13日には当クラブの活動の様子を公益財団法人発明協会の野間口会長以下役員の方々が視察した。

#### ＜平成30年12月＞

○スペースパーク企画展「きかんしゃトーマスとなかまたち」を12月8日から1月7日まで開催

○“冬のドーム映像番組「ポラリス2 ルシアと流れ星の秘密」”を12月8日から1月7日まで投映

### <平成31年3月>

○春のドーム映像番組「星の旅 一世界編一」を3月1日から31日までアンコール投映

## ►平成31年度・令和元年度

### <平成31年4月>

○春のドーム映像番組「星の旅 一世界編一」を4月1日から7日までアンコール投映

○スペースパーク企画展「フォトラボ 一映える写真はいいねー」を4月27日から5月6日まで開催

### <令和元年7月>

○“夏休みドーム映像番組「オーシャン ～青い海の仲間たち～」特別試写会”を開催

○“夏休みドーム映像番組「オーシャン ～青い海の仲間たち～」”を7月13日から8月25日まで投映

○スペースパーク企画展「恐怖の謎に迫る —THE ホラーハウス—」を7月13日から8月25日まで開催

### <令和元年10月>

○“「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を10月12日から14日まで開催

### <令和元年12月>

○スペースパーク企画展「昭和レトロ展 一親子であそぼう！昭和ワールドー」を12月7日から1月7日まで開催

○“冬のドーム映像番組「ムーミン谷のオーロラ」”を12月7日から1月7日まで投映

### <令和2年2月>

○「新型コロナウイルス感染症拡大防止」のため宇宙劇場が2月26日から休館

○「新型コロナウイルス感染症拡大防止」のため展望ロビーが2月29日から休館

## ►令和2年度

### <令和2年4月>

○「新型コロナウイルス感染症拡大防止」のため展示ゾーンが4月18日から休館（全館休館）

### <令和2年5月>

○「新型コロナウイルス感染症拡大防止」のため5月18日まで全館休館、5月19日から全館開館

### <令和2年7月>

○“ドーム映像番組「新・恐竜大進撃」”を7月18日から9月27日まで投映

- 電車のおもちゃで遊ぼう！、企画パネル展「星の衝突で、何ができた？－月のうさぎと私たちの地球－」を7月18日から8月23日まで開催

### <令和2年9月>

- スペースパーク企画展「ようこそ、ふわふわスポーツパークへ！」を9月19日から22日まで開催

### <令和2年10月>

- “ドーム映像番組「ムーミン谷のオーロラ」”を10月3日から11月29日までアンコール投映
- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を10月10日・11日に開催

### <令和2年11月>

- 福島民報社との共同主催事業“はやぶさ2パネル展「小惑星探査の旅」”11月20日から12月6日まで開催

### <令和2年12月>

- スペースパーク企画展「ワールドオブサイエンス&サウンド」を12月5日から1月11日まで開催
- “ドーム映像番組「ノーマン・ザ・スノーマン～流れ星のふる夜に～」”を12月5日から1月31日まで投映

### <令和3年2月>

- 福島県沖地震による安全確認のため、2月14日から17日まで休館

## ▶令和3年度

### <令和3年4月>

- 第10代館長 佐藤宏就任

### <令和3年6月>

- 松本零士先生、郡山市ふれあい科学館名誉館長退任

### <令和3年7月>

- “夏休みドーム映像番組「アニマルハンター～どうぶつたちのオモシロ行動学～」”を7月17日から8月22日まで投映
- スペースパーク企画展「ふしぎ発見！ピラミッドサイエンス」を7月17日から8月22日まで開催

### <令和3年8月>

- 「新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置」の適用のため8月23日から全館休館

### <令和3年9月>

- 「新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置」が解除され9月24日から全館開館

### <令和3年10月>

- 郡山市ふれあい科学館開館20周年記念イベントが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止となり、開館20周年記念オンライン企画を10月2日から公式YouTubeチャンネルにて配信

- ・郡山市長あいさつ・20年のあゆみ
- ・20周年記念スペシャル版 スペパ工作
- ・スペースパーク宇宙劇場の舞台裏
- ・ロボットゆうえんちによるロボットショー
- ・鉄道ジオラマショー
- ・はやぶさ2を支えた福島の技術！

○ “開館20周年記念ドーム映像番組「銀河鉄道999 星空はタイムマシーン」”を10月2日から11月28日まで投映

○ “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止

### <令和3年11月>

- 開館20周年記念 宇宙劇場トークイベント「宇宙への夢を描く」メカデザイナー板橋克己さんをゲストに迎え開催
- 開館20周年記念特別企画「メーテルと記念撮影！」を開催

### <令和3年12月>

- スペースパーク企画展「未来の遊園地 デジタルパークへようこそ！」を12月4日から1月10日まで開催
- “ドーム映像番組「星のまもり鳥～まんてんぼし村とはい色のきり～」、「ヒーリングアース」”を12月4日から1月10日まで投映

### <令和4年1月>

- 展望ロビー入館者が500万人突破
- 「新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置」の適用のため1月27日から全館休館

### <令和4年3月>

- 「新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置」が解除され3月7日から展望ロビー、8日から宇宙劇場、展示ゾーンが開館
- 福島県沖地震による安全確認のため、3月17日休館

## ▶令和4年度

### <令和4年4月>

- “全国プラネタリウム大会開催記念 宇宙劇場特別事業「プラネタリウムフェスティバル『ドーム映像まつり』」”を4月29日から5月5日まで投映

### <令和4年6月>

- “全国プラネタリウム大会（「全国プラネタリウム大会2022・郡山」）”を6月6日から8日まで開催
- “全国プラネタリウム大会開催記念 宇宙劇場特別事業「プラネタリウムフェスティバル『星兄の爆笑！ プラネタリウムショー』」を開催

### <令和4年7月>

- “夏休みドーム映像番組「ハナビリウム 花火って、なんであるの？」、

「HAYABUSA2～REBORN」”を7月2日・3日・9日・10日・16日から8月24日まで投映

- スペースパーク企画展「あそぶどうぶつずかん」を7月16日から8月15日まで開催
- 「「はやぶさ2」帰還カプセル展示イベント 記念講演会「もうひとつの“はやぶさ”ミッション」HAYABUSA2～REBORN制作監督 上坂浩光さんを講師に迎え開催

#### ＜令和4年8月＞

- “「はやぶさ2」帰還カプセル展示イベント「はやぶさ2」帰還カプセル等特別展示 in郡山、ドーム映像番組「HAYABUSA2～REBORN」の追加投映を8月19日から23日まで開催
- 「「はやぶさ2」帰還カプセル展示イベント 記念講演会「はやぶさ/はやぶさ2と福島/会津大学」会津大学教授の出村裕英さんを講師に迎え開催

#### ＜令和4年10月＞

- 渡部潤一国立天文台上席教授が10月7日名誉館長に就任
- 「「鉄道の日」鉄道フェスティバル」を10月8日から10日まで開催
- 「宇宙劇場特別イベント「宇宙への夢を語ろう！」」渡部潤一名誉館長、宇宙タレント黒田有彩さんをゲストに迎え開催

#### ＜令和4年11月＞

- 皆既月食観望会を開催、国立天文台でライブ配信が行われ、渡部潤一名誉館長が出演、展望ロビーでパブリックビューイングを開催

#### ＜令和4年12月＞

- スペースパーク企画展「錯覚美術館～立体の華麗な変身～」を12月3日から1月9日まで開催
- 「ドーム映像番組「宇宙なんちゃら こてつくん プラネタリウム」」を12月3日から1月9日まで投映

#### ＜令和5年1月＞

- “全国プラネタリウム大会開催記念 宇宙劇場特別事業「プラネタリウムフェスティバル プラネタリウム キッズアワー特別版『爆笑天文教室 ブラック星博士のスペースパーク征服計画』、プラネタリウム100周年記念 特別講演会『時・暦・プラネタリウム』」を開催

#### ＜令和5年2月＞

- 松本零士先生がご逝去され、先生が2001年10月から2021年6月まで名誉館長として当館で活動された様子を約30点の写真で紹介する特別展示「松本零士先生と郡山市ふれあい科学館 写真で振り返る足跡」を展望ロビーを会場に2月25日から3月31日まで開催

#### ＜令和5年3月＞

- 「星のソムリエシンポジウム関連企画 特別講演会「“ほんと”の夜空がある福島」渡部潤一名誉館長を講師に迎え開催

- 第15回 星空案内人(星のソムリエ®)シンポジウムを3月5日・6日開催
- “春のドーム映像番組「星になったチロ」、「ハナビリウム 花火って、なんであるの？」”を3月24日から31日まで投映

## ▶令和5年度

### <令和5年4月>

- “春のドーム映像番組「星になったチロ」、「ハナビリウム 花火って、なんであるの？」”を4月1日から5日まで投映

### <令和5年5月>

- JAXA若田光一宇宙飛行士の国際宇宙ステーション長期滞在ミッション報告会のライブ配信が行われ、展望ロビーでパブリックビューイングを開催

### <令和5年7月>

- “プラネタリウム100周年記念事業「星兄の爆笑！ プラネタリウムショー」”を開催
- “夏休みドーム映像番組「発見！ 南極に恐竜がいた！」、「星になるまで music by ACIDMAN」”を7月15日から8月24日まで投映
- “スペースパーク企画展「くらべる図鑑展」”を7月15日から8月24日まで開催

### <令和5年8月>

- 秋篠宮皇嗣妃殿下御視察
- “<連携事業>「APRIM2023 パブリックレクチャー」”を東京大学卓越教授 梶田隆章さん、東京大学特別教授 村山斎さんを講師に迎え8月12日に開催

### <令和5年9月>

- “プラネタリウム100周年記念イベント 秋のドーム映像番組「銀河鉄道999 星空はタイムマシーン」”を9月30日から10月15日まで投映

### <令和5年10月>

- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を10月7日～9日開催
- “プラネタリウム100周年記念イベント” 「宇宙劇場バッックヤードツアーア」(10月7日・8日)、「全国一斉 プラネタリウム 100周年記念イベント」(10月21日)、秋のドーム映像番組「宇宙なんちゃら こてつくん プラネタリウム」・「虹の天象儀」(10月21日～11月26日投映)、「歴史解説パネル展」を開催

○郡山市の「ネーミングライツ」事業について、郡山市ふれあい科学館を含む市施設のネーミングライツ・スポンサー募集が行われ、当館の優先交渉権者に高柳電設工業株式会社が選定され、新たな愛称“高柳電設工業スペースパーク”の使用開始予定が令和6年4月1日になることが決定となる。

### <令和5年11月>

- “プラネタリウム100周年記念イベント” 「宇宙劇場バッックヤードツアーア」(11月4日・5日)

### <令和5年12月>

- ラジオ福島と連携し、「ラジオ福島開局70周年」を記念した番組の公開生放送を宇宙劇場で開催

- スペースパーク企画展「色と光のふしぎ発見！」を12月2日から1月8日まで開催
- “ドーム映像番組「キングペンギン - ペンギン親子の子育て日記 - 」”を12月2日から1月8日まで投映
- 有料ゾーン入館者が300万人突破

### <令和6年1月>

- 「宇宙劇場の改修」により1月9日より休館

### <令和6年3月>

- “宇宙劇場リニューアルオープンセレモニー”を3月16日に開催
- “リニューアル記念ドーム映像番組「まだ見ぬ宇宙へ」”を3月16日から31日まで投映

## ▶令和6年度

### <令和6年4月>

- 郡山市のネーミングライツ・スポンサー契約に基づく愛称「高柳電設工業スペースパーク」の使用が開始となる。
- “リニューアル記念ドーム映像番組「まだ見ぬ宇宙へ」”を4月1日から5月26日まで投映

### <令和6年5月>

- “みんなの展望ロビーイベント「折紙作品展示」、「折紙教室」(折紙俱楽部)”を開催

### <令和6年6月>

- “みんなの展望ロビーイベント「園児作品展示」(あい・サポ保育園)”を開催
- JAXA吉川聰宇宙飛行士の国際宇宙ステーション長期滞在ミッション報告会、「だいち4号」搭載H3ロケット3号機打上げのライブ配信が行われ、展望ロビーでパブリックビューイングを開催

### <令和6年7月>

- “郡山市制施行100周年記念・夏休みドーム映像番組「ゲゲゲの鬼太郎 河童のテラフォーミング」”を7月13日から8月25日まで投映
- “郡山市制施行100周年記念・スペースパーク企画展「科学館 de キモダメシ」”を7月13日から8月25日まで開催

### <令和6年8月>

- “リニューアル記念「水の惑星 - 星の旅シリーズ - 」”を8月31日から10月27日まで投映

### <令和6年9月>

- 郡山市制施行100周年を記念し、無料開放を9月1日に実施
- “郡山市制施行100周年記念・プラネタリウム100周年記念 宇宙劇場トーク&オリジナル映像投映「彼方まで - 板橋克己の宇宙紀行 - 」メカデザイナー板橋克己さんをゲストに迎え開催
- “郡山市制施行100周年記念・プラネタリウム100周年記念「銀河鉄道999 赤い星ベテルギウス いのちの輝き」”を9月28日・29日の2日間限定での投映

## <令和6年10月>

- “「鉄道の日」鉄道フェスティバル”を10月12日～14日開催
- “リニューアル記念 中垣哲也オーロラ映像投映&トークライブ「オーロラが語りかける素敵なメッセージ2024」”を開催
- “みんなの展望ロビーイベント「猪苗代湖水環境保全活動展示」(あさか開成高校)”を開催

## <令和6年11月>

- “郡山市制施行100周年記念・プラネタリウム100周年記念「天空の果てへ」”を11月1日から30日まで投映
- “郡山市制施行100周年記念・第41回星の講演会「週末、宇宙行く？が実現する世界を目指して」株式会社岩谷技研代表取締役の岩谷圭介さん（郡山市出身）を講師に迎え開催
- “<国立天文台との連携事業>郡山市制施行100周年記念 渡部潤一名誉館長記念講演会「天文学これまでの100年、これからの100年」”を開催

## <令和6年12月>

- “郡山市制施行100周年記念・プラネタリウムコンサート「mic-alone Planetarium Winter Concert ~Only One Star~」”を開催
- “みんなの展望ロビーイベント「折紙作品展示」、「折紙教室」(折紙俱楽部)を開催
- “郡山市制施行100周年記念・ドーム映像番組「イナズマデリバリー バイザウェイの宇宙旅行?! -ブラックホールとの遭遇-」”を12月7日から1月13日まで投映
- “郡山市制施行100周年記念・スペースパーク企画展「運動科学×リアル謎解きゲーム ナゾを解け！ネコの博士と3つの動き」”を12月7日から1月13日まで開催
- <新潟大学工学部との連携事業>郡山市制施行100周年記念「小中学生・高校生のための科学技術へのいざない」を開催

## <令和7年2月>

- “みんなの展望ロビーイベント「音楽都市こおりやま」市民音楽祭主催行事第141回ホールコンサート”を開催

## <令和7年3月>

- “春のドーム映像番組「まだ見ぬ宇宙へ」”を3月1日から9日まで、“「水の惑星-星の旅シリーズ-」”を3月15日から31日までアンコール投映
- “みんなの展望ロビーイベント“モルティ×福島ファイヤーボンズ重ね押しスタンプラリー”を開催
- “プラネタリウム100周年記念事業「星兄の爆笑！ プラネタリウムショー」”を開催

## II 令和6年度事業活動実績

### 1 宇宙劇場運営

#### (1) プラネタリウム番組投映

様々な年代や利用目的に合ったプラネタリウム番組を制作するとともに各種映像等の収集を行い、宇宙劇場において、天文や宇宙などに関する番組の投映を実施した。

＜宇宙劇場の番組投映開始時刻＞ ※投映時間は約45分間

曜日/回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
平日	10時15分	11時30分	14時	15時30分	17時 (※1)	19時 (※2)	
土曜・日曜・祝日	11時	12時30分	14時	15時30分	17時	19時 (※2)	
夏休み期間等 (※3)	10時30分	11時40分	13時	14時20分	15時40分	17時	19時 (※2)

※1 11/1～29のみ

※2 金曜日のみ投映

※3 4/1～5/26の土曜・日曜・祝日・春休み期間、夏休み期間、8/31～1/13の土曜・日曜・祝日・冬休み期間、3/1～31の土曜・日曜・祝日・春休み期間

#### 一般番組

子どもから大人までの幅広い年代層の方が、季節の星空を楽しみ、天文や宇宙開発、地球環境などの様々な事柄を知ることのできるプラネタリウム番組を制作し、基本的に2ヶ月ごとに更新して投映した。

投映時間：平日の第3回及び土曜・日曜・祝日の第2・4回、団体利用がない平日の第2回、夏休み期間の第4・6回、4/1～5/26、8/31～1/13、3/1～31の土曜・日曜・祝日・冬休み期間、春休み期間の第2・5回

番組タイトル	投映期間	投映回数	観覧者数
新!宇宙大紀行	令和6年4月1日(月)～29日(月・祝)	49回	1,061人
未来の星空・過去の星空	令和6年5月1日(水)～6月30日(日)	100回	2,885人
太陽系ツアー	令和6年7月2日(火)～8月31日(土)	106回	4,259人
七夕の星空	令和6年7月6日(土)・7日(日)	4回	406人
－市制施行100周年・プラネタリウム100周年記念－ 天文学100年のあゆみ	令和6年9月1日(日)～10月31日(木)	81回	1,717人

中秋の名月	令和6年9月14日(土)～16日(月・祝)	6回	333人
宙飛ぶ天文台	令和6年11月1日(金)～12月30日(月)	99回	1,797人
星が生まれる	令和7年1月3日(金)～2月28日(金)	87回	2,113人
フリートーク・プラネタリウム	令和7年3月1日(土)～31日(月)	55回	1,041人

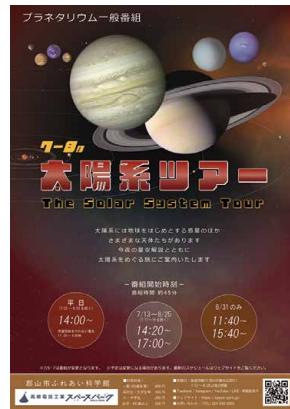
観覧者総数 15,612人



新！宇宙大紀行



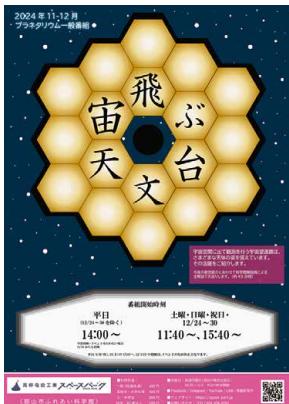
未来の星空・過去の星空



太陽系ツアー



天文学 100 年のあゆみ



宙飛ぶ天文台



星が生まれる



フリートーク・  
プラネタリウム

## 学習番組 ※番組の選択は申込順

小学校や中学校などの学校団体を対象に、理科や総合的な学習の時間など、学習の目的に合った番組を選択して観覧できるプラネタリウム番組を投映した。

投映期間：学校長期休業期間及びゴールデンウイーク期間を除く平日の第1・2回

番組タイトル(対象)	投映期間	投映回数	観覧者数
星座を見つけよう(小学校低学年以上)	通年	15回	666人
日なたと日かけ(小学校中学年以上)		10回	860人
月と星の動き(小学校中学年以上)		25回	1,383人
月と太陽(小学校高学年以上)		1回	39人
地球と宇宙(中学生向け)		1回	10人
宇宙のお話(中学生以上)		3回	91人

観覧者総数 3,049人

**幼稚番組** ※幼稚週間に集中して投映したほか幼稚週間以外には学習番組枠で希望により投映した。

幼稚園や保育所などの団体を対象に、星座にまつわる神話などを交えて、小さな子どもが星空に対して興味をもてるプラネタリウム番組を投映した。

**投映期間：学校長期休業期間及びゴールデンウイーク期間を除く平日の第1・2回**

番組タイトル	投映期間	投映回数	観覧者数
どうぶつたちのせいざ	令和6年4月～5月	1回	17人
たなばたのはしまつり	令和6年6月～7月	18回	1,907人
あきのほしさがし	令和6年8月～11月	11回	458人
ほしざらだいぼうけん	令和6年12月～令和7年3月	10回	449人

観覧者総数 2,831人

**キッズアワー**

季節の星座紹介と星座神話・映像演出を組み合わせ、子どもと大人が一緒に楽しめるように、易しい解説を加えた家族向けのプラネタリウム番組を投映した。

**投映時間：土曜・日曜・祝日の第1・3回、夏休み期間の第2回、4/1～5/26、8/31～1/13の土曜・日曜・祝日・冬休み期間の第3回、3/1～31の第1・3回**

番組タイトル	投映期間	投映回数	観覧者数
宇宙を楽しもう！	令和6年4月1日(月)～5月26日(日)	24回	1,135人
たなばたのはし	令和6年6月1日(土)～7月31日(水)	39回	2,465人
宇宙いろいろベスト3	令和6年8月1日(木)～9月29日(日)	34回	1,816人
お月見を楽しもう	令和6年9月14日(土)～16日(月・祝)	3回	182人

どせいりょこう	令和6年10月5日(土)～11月30日(土)	18回	1,026人
オーロラを見に行こう！	令和6年12月7日(土) ～令和7年1月26日(日)	29回	1,565人
冬のほしめぐり	令和7年2月1日(土)～3月31日(月)	52回	1,889人

観覧者総数 10,078人



宇宙を楽しもう！

たなばたのほし

宇宙いろいろベスト3

どせいりょこう



オーロラを見に行こう！

冬のほしめぐり

### ヒーリングアワー（星と音楽のひととき）

様々なジャンルの音楽（CD）を聴きながら、ゆったりと星空を楽しむリラクゼーション番組を投映した。

投映期間：平日（祝日・学校長期休業期間等を除く。）の第4回

土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間の第5回（夏休み期間を除く。）

毎週金曜日の第6回

番組タイトル	投映期間	投映回数	観覧者数
春のうた	令和6年4月9日(火)～5月31日(金)	53回	977人

アニメソング特集	令和6年6月1日(土)～8月31日(土)	55回	1,149人
ほしのうた～七夕編～	令和6年7月6日(土)・7日(日)	2回	128人
月夜の歌	令和6年9月1日(日)～10月31日(木)	55回	1,053人
流星の歌	令和6年11月1日(金)～12月30日(月)	59回	1,059人
ほしのうた～冬空編～	令和7年1月3日(金)～2月28日(金)	57回	932人
70年代洋楽コレクション	令和7年3月1日(土)～31日(月)	32回	536人

観覧者総数 5,834人

### ドーム映像番組

全天周映像（ドーム映像）に星空紹介を加えた娯楽性の高い番組を、学校長期休業期間中を中心に投映した。

＜宇宙劇場リニューアル記念ドーム映像番組「まだ見ぬ宇宙へ」＞

投映期間：令和6年4月1日～7日の第2・4・6回、令和6年4月5日の第7回、令和6年4月13日～5月26日の土曜・日曜・祝日の第1・4回

＜夏休みドーム映像番組「ゲゲゲの鬼太郎 河童のテラフォーミング」＞

投映期間：令和6年7月13日～8月25日の土曜・日曜・祝日・夏休み期間（7月20日～8月25日）の第1・3・5回

＜宇宙劇場リニューアル記念 秋のドーム映像番組「水の惑星 一星の旅シリーズ」＞

投映期間：令和6年8月31日～10月27日の土曜・日曜・祝日の第1・4回

＜郡山市制施行100周年・プラネタリウム100周年記念

秋のドーム映像番組「銀河鉄道999 赤い星ベテルギウス いのちの輝き」＞

投映期間：令和6年9月28日・29日の第1・4回

＜郡山市制施行100周年記念 秋のドーム映像番組

「天空の果てへ 有人気球・宇宙はすぐそこにある」＞

投映期間：令和6年11月1日～30日の平日の第5回、土曜・日曜・祝日の第1・4回

＜冬のドーム映像番組「イナズマデリバリー バイザウェイの宇宙旅行？!

－ブラックホールとの遭遇－」＞

投映期間：令和6年12月7日～令和7年1月13日の土曜・日曜・祝日・冬休み期間（12月24日～令和7年1月7日）の第1・4回

＜春のドーム映像番組「まだ見ぬ宇宙へ」＞

投映期間：令和7年3月1日～9日の土曜・日曜の第4回

＜春のドーム映像番組「水の惑星 一星の旅シリーズ」＞

投映期間：令和7年3月15日～31日の土曜・日曜・春休み期間（3月24日～31日）  
の第4回

番組タイトル	投映期間	投映回数	観覧者数
まだ見ぬ宇宙へ	令和6年4月1日(月)～5月26日(日)	57回	2,326人
ゲゲゲの鬼太郎 河童のテラフォーミング	令和6年7月13日(土)～8月25日(日)	121回	9,756人
水の惑星 一星の旅シリーズ	令和6年8月31日(土)～10月27日(日)	36回	2,077人
銀河鉄道 999 赤い星ベテルギウス いのちの輝き	令和6年9月28日(土)・29日(日)	4回	278人
天空の果てへ 有人気球・宇宙はすぐそこに ある	令和6年11月1日(金)～30日(土)	36回	702人
イナズマデリバリー バイザウェイの宇宙旅行?! —ブラックホールとの遭遇—	令和6年12月7日(土) ～令和7年1月13日(月・祝)	42回	2,434人
まだ見ぬ宇宙へ	令和7年3月1日(土)～9日(日)	4回	302人
水の惑星 一星の旅シリーズ	令和7年3月15日(土)～31日(月)	12回	650人

観覧者総数 18,525人



まだ見ぬ宇宙へ



ゲゲゲの鬼太郎  
河童のテラフォーミング



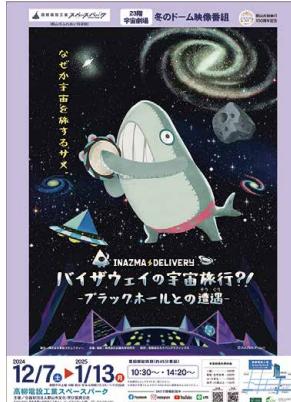
水の惑星  
一星の旅シリーズ



銀河鉄道 999  
赤い星ベテルギウス  
いのちの輝き



天空の果てへ  
有人気球・  
宇宙はすぐそこにある



イナズマデリバリー  
バイザウェイの宇宙旅行?!  
—ブラックホールとの遭遇—



まだ見ぬ宇宙へ



水の惑星  
一星の旅シリーズ

## プラネタリウムコンサート

宇宙劇場の機能を効果的に活用した生演奏の星空コンサートを開催した。

### < mic-alone Planetarium Winter Concert ~ Only One Star ~ >

- ☆開催日 令和6年12月1日(日)
- ☆開催時間 ①11時～12時 ②14時30分～15時30分
- ☆出演者 mic-alone
- ☆参加者数 431人

### < MANAMI の星空フェスティバル>

- ☆開催日 令和7年2月16日(日)
- ☆開催時間 ①14時～15時 ②17時～18時
- ☆出演者 MANAMI
- ☆参加者数 315人



mic-alone Planetarium Winter Concert の様子



MANAMI の星空フェスティバルの様子

### ベビープラネタリウム

乳児とその保護者が、周囲に気兼ねなく利用できる番組を提供した。

番組タイトル	投映日時	観覧者数
ほしざらのピクニック	令和6年5月23日(木) 10時25分～11時	65人
あまのがわとおほしま	令和6年8月30日(金) 10時25分～11時	89人
おつきさまをみよう!	令和6年10月17日(木) 10時25分～11時	61人
たのしいクリスマス	令和6年12月19日(木) 10時25分～11時	128人
ほしのだいかぞく	令和7年2月20日(木) 10時25分～11時	89人

観覧者総数 432人

### いきいきプラネタリウム教室

高齢者が天文を楽しく学ぶことができる番組を提供した。

番組タイトル	投映日時	観覧者数
今夜の星空とデジタルプラネタリウムの世界	令和6年5月30日(木) 10時15分～11時	13人
今夜の星空とやってくる彗星	令和6年8月27日(火) 10時15分～11時	40人
今夜の星空と天界 2025	令和6年11月14日(木) 10時15分～11時	22人
今夜の星空と街での星空観察	令和7年3月6日(木) 10時15分～11時	10人

観覧者総数 85人

### イブニングアワー

一般に天文に関する興味関心の高い時季に、その話題を大人向けに紹介するなど、夜間の利用が増加すると見込まれる時季に宇宙劇場を夜間開館し、通常の宇宙劇場番組投映の幅を広げたニーズに応えるプラネタリウム番組を投映した。

番組タイトル	投映日時	投映回数	観覧者数
星まつりの夜 ～ゆかた de プラネタリウム!～	令和6年8月3日(土) 18時30分～19時00分	1回	31人
熟睡プラ寝たりウム	令和6年11月23日(土・祝) 18時30分～19時30分	1回	89人
クリスマスと星の輝き	令和6年12月24日(火)・25日(水) 18時30分～19時30分	2回	105人

**観覧者総数 225人**

### 宇宙劇場イベントデー

時季の話題にあわせて、宇宙劇場の番組投映を話題に特化した内容で投映し、年中行事と天文の関わりを紹介した。

#### ＜七夕スペシャル＞

☆開催日 令和6年7月6日(土)・7日(日)  
☆内容 キッズアワー「たなばたのほし」  
一般番組「七夕の星空」  
星と音楽のひととき「ほしのうた～七夕編～」  
☆観覧者数 997人

#### ＜中秋の名月スペシャル＞

☆開催日 令和6年9月14日(土)～16日(月・祝)  
☆内容 秋のドーム映像番組「水の惑星」  
キッズアワー「お月見を楽しもう」  
一般番組「中秋の名月」  
星と音楽のひととき「月夜の歌」  
☆観覧者数 1,035人



七夕スペシャル



中秋の名月スペシャル

### (2) 宇宙劇場リニューアル記念イベント

リニューアルした宇宙劇場の特徴を生かし、市民に宇宙への興味関心を高めることのできる事業を実施した。

## 中垣哲也オーロラ映像投映＆トークライブ 「オーロラが語りかける素敵なメッセージ 2024」

☆開催日時 令和6年10月13日(日)

11時～11時50分 ファミリー向け「オーロラ舞うアラスカの野生たち」

13時～14時15分 一般向け「太陽絶好調 オーロラ華麗！」

15時～15時50分 ファミリー向け「オーロラ舞うアラスカの野生たち」

16時30分～17時45分 一般向け「太陽絶好調 オーロラ華麗！」

☆開催場所 宇宙劇場

☆解 説 中垣 哲也 氏(オーロラメッセンジャー)

☆参加者数 404人

☆内 容 リニューアルした宇宙劇場の映像機器を生かし、オーロラメッセンジャー・中垣哲也氏によるオーロラ映像の投映とアラスカの自然、オーロラの科学に関するトークを行った。



中垣哲也オーロラ映像投映＆トークライブ  
の様子

## (3) 郡山市制施行100周年・プラネタリウム100周年イベント

郡山市制施行100周年とプラネタリウム100周年にちなみ、プラネタリウムへの理解を深め、興味関心を高めることのできる事業を実施した。

### トーク＆オリジナル映像投映「彼方まで ー板橋克己の宇宙紀行ー」

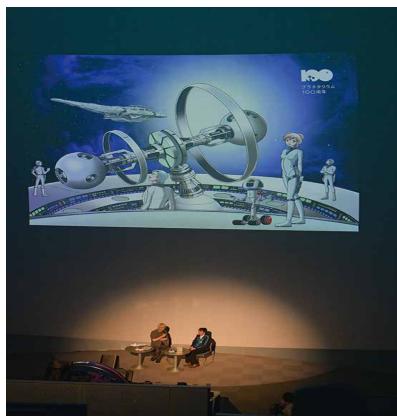
☆開催日時 令和6年9月28日(土) 16時～17時30分

☆開催場所 宇宙劇場

☆講 師 板橋 克己 氏(メカデザイナー)

☆参加者数 122人

☆内 容 メカデザイナーとして活動する板橋克己氏がプラネタリウム100周年を記念して制作した映像の投映とトークを行った。またホワイエでは板橋氏制作のイラストおよび宇宙船模型の展示を行った。8月31日(土)～9月28日(土)



トーク&オリジナル映像投映の様子

### 星兄の爆笑！プラネタリウムショー

- ☆開催日時 令和7年3月20日(木・祝) 13時～14時、15時～16時
- ☆開催場所 宇宙劇場
- ☆解 説 星兄(田端英樹)
- ☆参加者数 323人
- ☆内 容 全国の大ホールで爆笑星空解説を行っている星兄を招いてのプラネタリウム投映を行った。



星兄の爆笑！プラネタリウムショーの様子

### (4) 郡山市紹介オリジナルドーム映像コンテンツ制作

100年を迎える郡山市の歴史と現在を紹介するフルドーム映像作品を制作し、一般および市内学校団体の社会科や総合的な学習に活用する。(令和7年度完成予定)

今年度は市内各地の風景の映像素材を制作した。

## 2 展示ゾーン運営

### (1) 体験型展示物の運転

#### ムーンジャンプ

地球の約6分の1に相当する月面の重力環境を疑似体験できる装置の運用を行った。

☆開催時間 10時～17時45分（随時）

☆開催場所 展示ゾーン スペースフロンティア

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 30分ごとに10人程度

#### トリプルスピン

宇宙飛行士がかつて行っていた訓練メニューの一部を疑似体験できる装置の運用を行った。

☆開催時間 10時～17時45分（随時）

☆開催場所 展示ゾーン スペースフロンティア

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 30分ごとに7人程度

#### 宇宙探検シミュレーション

宇宙船の搭乗を疑似体験できる装置の運用を行った。

☆開催時間 休止

☆開催場所 展示ゾーン スペースフロンティア

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆定 員 1回8人

### (2) 常設展示物の活用

#### 展示物活用

常設展示物の解説シートの配布や、展示解説の充実を図るため、連携機関からの借用物の展示を行い、有効活用を図る。

#### ＜展示解説＞

館内に、展示物に精通した職員を配置し、来館者の案内、質問等に対応した。

#### ＜展示解説シート＞

展示物について、より詳しく知りたい人向けにお持ち帰り用解説シートを制作し、配布した。

#### ＜たんけんシート＞

質問の答えを探してシートに書き込みながら展示物を見学することにより、展示ゾーンの主なポイントを巡ることができるワークシートを設置した。

☆開催日 随時  
☆開催場所 展示ゾーン  
☆対象 展示ゾーン入館者

### 資料の収集保管

日本の宇宙開発についての理解に有益な資料について、今年度下表のとおり資料を収集した。

資料名	寄贈・借用元
超小型変形型月面ロボット 「SORA-Q(ソラキュー)」(Flagship Model)2台	株式会社タカラトミー SORA-Q プロジェクト 「SORA-Q Thank You アンバサダー」企画(提供)

### 資料の展示

展示ゾーンにて、下表のとおり資料の展示を行った。

展示区分	展示物	備考
クエスト オブ ザ ユニバース	石質隕石	産地: モロッコ (サハラ砂漠)
	石鉄隕石	産地: チリ (アタカマ砂漠)
	鉄隕石	産地: アルゼンチン チャコ
	パラボラアンテナ	国立天文台野辺山宇宙電波観測所 (寄贈)
	鹿島 34m アンテナの鏡面パネル	国立研究開発法人情報通信研究機構 (寄贈)

スペースフロンティア	宇宙服(レプリカ)	
	宇宙服(レプリカ)	
	さわれる宇宙服(レプリカ)	日本宇宙少年団(借用)
	H-IIA ロケット フェアリング	JAXA(借用)
	H-IIA ロケット(1/40 模型)	JAXA(寄贈)
	H-IIB ロケット(1/25 模型)	日本宇宙少年団(借用)
	はやぶさ2衝突装置レプリカ(1/5スケール)	日本工機株式会社(寄贈)
	はやぶさ2衝突装置の衝突体レプリカ(実物大)	東成イービー東北株式会社(寄贈)
	小惑星リュウグウサンプルレプリカ(実物大)	JAXA宇宙科学研究所はやぶさ2プロジェクト、JAXA宇宙科学研究所と夢を創る会、銀河連邦サガミハラ共和国(相模原市)(提供)
	小惑星リュウグウサンプルレプリカ(10倍サイズ)	
その他	超小型変形型月面ロボット「SORA-Q(ソラキュ一)(Flagship Model)	購入
	金子式ジュピター型 プラネタリウム投影機	郡山市児童文化会館 昭和45年～昭和55年使用
	市内・県内で採集された鉱物・化石	郡山市民(寄贈)

展望ロビーにおいて、下表のとおり資料の展示を行った。

展示区分	展示物	備考
スペースフロンティア	ドリームアートロケットプロジェクト タペストリー	日本宇宙少年団(借用)

### (3) サイエンスステージ

びっくり実験ラボや実験工房等を活用した、科学実験メニューを実施した。

#### サイエンスステージ①

来館者の科学に関する興味を喚起するため、身近なものや大掛かりな装置などを使った科学実験を展示ゾーン内のびっくり実験ラボにおいて実施した。約2ヶ月ごとにメニューを更新して実施した。(約20分間)

☆開催時間 平日 10時30分～(団体利用がある場合のみ実施)、13時～  
土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 10時30分～、13時～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対象 展示ゾーン入館者

☆定員 30人

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
令和6年4月	魔法の粉で大実験	33回	288人	透明な液体に粉を入れて混ぜると液体の色が変化する様子を見た。洗剤を混ぜた過酸化水素水に触媒としてヨウ化カリウムを加えると多量の泡が発生する実験などを行った。
令和6年5・6月	不思議な素材で大実験	63回	648人	$\alpha$ ゲルマット、形状記憶合金、有機EL、発泡セラミックスなどの素材を使い、その素材の性質を紹介するなどの実験を行った。
令和6年7~9月	音のひみつを探ろう!	96回	1,146人	色々な楽器を鳴らし、見慣れない楽器も紹介した。クント管を用いて、音の正体である振動を見る実験などを行った。
令和6年10・11月	台所で科学実験	59回	571人	電子レンジへ蛍光灯を入れてスイッチを入れると光る実験やハーブティーの溶液を使い、液性を調べる実験などを行った。
令和6年12月～令和7年2月	静電気で大実験	81回	778人	静電気が起きる仕組みを身近な物を使って紹介した。また、ライデン瓶に溜めた静電気を人体に流す実験などを行った。
令和7年3月	サバイバルの科学	40回	303人	人が生き抜くために必要なものである水、火、防災グッズを紹介した。必要なものを得るために行う手順について実験を通して説明した。
令和6年5月 (ゴールデンウイーク) 7・8月 (夏休み)	空気の力で大実験	44回	630人	空気には重さがあることを測定器で確かめた。また、大気圧を利用して、ボウリングの球を持ち上げる実験などを行った。

参加者数 4,364 人



台所で科学実験の様子



サバイバルの科学の様子

### サイエンスステージ②

科学の幅広い分野を楽しみながら体験できる実験工作のワークショップを、約2ヶ月ごとにメニューを替えて開催した。(約20分間)

☆開催時間 平日 11時30分～、15時～

土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 11時30分～、14時～（日曜休止）  
16時～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対象 展示ゾーン入館者

☆定員 30人

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
令和6年4・5月	カタチの科学～どんな科学がかくされているのかな?～	117回	711人	カタチをテーマに、身边にあるさまざまなもの形がなぜそんな形をしていて、どのように役立っているのかを確かめる実験を行った。また、タンграмの工作を行った。
令和6年6・7月	見えない光! 紫外線のひみつ	126回	1,260人	身のまわりで、紫外線を防いだり、紫外線を役立てている事例について実験を行った。また、紫外線を当てると色が変わるトンボの工作を行った。
令和6年8・9月	カラフルサイエンス	142回	1,957人	「色」をテーマに、光の三原色や絵具の三原色を混ぜる実験を行った。また、分光シートを使ったメガネの工作を行った。
令和6年10・11月	ゆれのひみつ	117回	521人	地震をテーマに、なぜ日本は地震が多いのか、また、建物はどのようななしきみで地震の被害を減らしているのかなど、揺れのひみつについて実験した。また、建物の高さで揺れ方が変わる工作を行った。
令和6年12月 令和7年1月	ほのかな灯り "ろうそくの科学"	102回	625人	ろうそくはなぜ燃えるのか?をテーマに、燃焼の3要素についての実験や毛細管現象についての実験を行った。また、雪だるまなどを型取ったろうそく作りを行った。
令和7年2・3月	空気で大実験～ 飛行機は空気の力で空を飛ぶ?～	122回	855人	私たちの周りにあるのに意識することのない空気。ここでは、飛行機が飛ぶ際にその空気をどのように利用しているのかについて実験を行った。また、飛行機の工作を行った。
令和6年5月(ゴールデンウイーク)	わくわく実験教室 「放射線を見てみよう」	4回	98人	目に見えない放射線を間接的に観察できる「霧箱」を身近な材料で製作した。そして、その霧箱を使って、放射線の軌跡を観察する実験を行った。
令和6年7月(夏休み)	自由研究ミニ教室 「コマのひみつを探ろう」	3回	76人	「コマ」をテーマに、その形は重さを変えることで、どのような動きをするのか実験した。また、コマについての自由研究例を一例に、自由研究の取り組み方について紹介した。

参加者数 6,103人



わくわく実験教室  
「放射線を見てみよう」の様子



サイエンスステージ②  
「カラフルサイエンス」の様子



サイエンスステージ②  
「ゆれのひみつ」の様子

### 3 展望ロビー利活用事業

#### (1) パブリックビューイング

##### パブリックビューイング「古川宇宙飛行士ミッション報告会」

令和6年6月23日に開催された古川宇宙飛行士ミッション報告会がJAXAによりライブ配信されたため、当館でもこのライブ配信のパブリックビューイングを開催した。

☆開催日時 令和6年6月23日(日)13時～15時

☆協力 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構

☆参加者数 54人



パブリックビューイング「古川宇宙飛行士ミッション報告会」の様子

##### パブリックビューイング「H3ロケット3号機打上げのライブ中継」

先進レーダ衛星「だいち4号(ALOS-4)」を搭載したH3ロケット3号機が、当初令和6年6月30日に打上げられる予定であった。当館でもその様子のライブ配信のパブリックビューイングを開催する予定だったが、打上げ延期により、パブリックビューイングは中止した。

☆開催日時 令和6年6月30日(日)11時～12時30分(中止)

☆協力 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構

#### (2) 展望ロビーパネル展

##### 日本宇宙少年団こおりやま分団活動報告展

日本宇宙少年団こおりやま分団との連携により、活動報告展を開催した。

☆開催期間 令和6年4月1日(月)～5月8日(水)

令和7年3月15日(土)～31日(月)



「日本宇宙少年団こおりやま分団活動報告展」の様子

### (3) Nゲージ鉄道ジオラマ

#### Nゲージ鉄道ジオラマ

線路の幅が9mmのNゲージ鉄道模型を使用し、明治の郡山、昭和初期の郡山、現代の郡山を再現し、郡山の発展の様子を紹介した。

#### <鉄道ジオラマショー>

☆開催時間 土・日・祝の①11時～、②15時～（約20分間）

☆見学者数 6,010人



鉄道ジオラマショーの様子

#### <簡易シミュレーター>

☆開催時間 開館日の10時～17時（ショー開催時間以外）

#### <運転シミュレーター>

☆開催時間 開館日の10時～17時30分

☆料 金 200円（約5分間）

☆運転者数 3,260人

#### <ウォールミュージアム>

☆開催時間 開館日の10時～17時30分

#### <たんけん！鉄道ジオラマシート>

質問の答えを探して、シートに書き込みながら鉄道ジオラマを見学することにより、鉄道ジオラマの主なポイントを巡るワークシートを設置した。

☆開催時間 開館日の10時～17時30分

#### <トレインガイド>

☆展示時間 隨時

### (4) ロボットで遊ボット！

#### <パイプロボコン>

☆講 師 岡本 正行 氏（株式会社MANOI企画／ロボットゆうえんち）

☆開催期間 令和6年7月20日（土）・21日（日）

☆開催場所 展望ロビー、実験工房

☆対 象 一般来館者

☆内 容 「メカモグラ」というパイプの中を移動できるロボットを使用したタイムアタック大会や、ロボット工作教室等の催しを開催した。



パイプロボコンの様子

## (5) みんなの展望ロビーイベント

展望ロビーのスペースを、郡山市及び当公社の他施設との連携や市民へ無料での貸出を行い、パネル展示やワークショップ、室内楽コンサート等のイベントに活用した。

### **折紙俱楽部 折紙作品展示・折紙教室**

☆開催期間 令和6年5月12日(日)～31日(金)

☆開催日時 令和6年5月19日(日) 10時～16時

### **あい・サポ保育園 園児作品展示**

☆開催期間 令和6年6月1日(土)～30日(日)

### **福島県立あさか開成高等学校「猪苗代湖水環境保全活動」展示**

☆開催期間 令和6年6月1日(土)～30日(日)

### **折紙俱楽部 折紙作品展示・折紙教室**

☆開催期間 令和6年12月3日(火)～15日(日)

☆開催日時 令和6年12月15日(日) 10時～15時

### **“音楽都市こおりやま”市民音楽祭主催行事第141回ホールコンサート**

☆開催日時 令和7年2月2日(日) ①12時～13時 ②13時～14時

### **モルティ×福島ファイヤーボンズ 重ね押しスタンプラリー**

☆開催期間 令和7年3月1日(土)～31日(月)

## 4 展示ゾーン利活用事業

### (1) 団体利用向け科学教室

#### サイエンス教室（団体向け）

学校や子ども会、PTAなどの団体向けに、簡単な科学の実験や工作を体験する「ワークショップ」を開催した。

☆開催日 平日の午前・午後に1回ずつ（ゴールデンウィーク及び長期休業期間を除く。）

☆開催場所 多目的研修室又は実験工房

☆対象 幼稚園・小学校・中学校団体

☆参加者数 1,365人

☆内容 ワークショップ（ぐにゅっとスライム、ビー玉顕微鏡、乾電池チェックカード等25種類）

#### サイエンススクール（団体向け）

各学年の授業の学習内容に直結した実験、さらには発展的な実験も取り入れ、子どもたちの知識の定着、そして、心に残るダイナミックな実験をした。

サイエンススクールの、3つの特徴

① 新学習指導要領に対応し、各学年の内容に応じた実験メニュー

② 科学館だからこそできるダイナミックな実験

③ 専門スタッフが生解説、確かな知識の定着に結びつく実験

☆開催日 平日の午前・午後に1回ずつ（ゴールデンウィーク及び学校の長期休業期間等を除く。）

☆開催場所 保育園年長・小学生

☆対象 小学校団体

☆参加者数 80人

☆内容 1・2年 ドレミの音で大実（20分） 風船で大実験（20分）

3年 磁石の性質（30分）

4年 空気（水）の性質（30分）

5年 振り子の運動（30分）

6年 燃焼のしくみ（30分）

#### 3D天文シミュレーション（団体向け）

学校等の団体向けに、3D天文シミュレーションシステム「Mitaka 3D」を用いて、立体視で宇宙の姿を紹介する実演を行った。

☆開催日 平日の午前・午後に1回ずつ（ゴールデンウィーク及び学校の長期休業期間等を除く。）

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 小中高校等の学校

☆参加者数 0 人

☆内 容 立体視により地球から宇宙の果ての姿までを紹介する実演。

## (2) エンターテインメント企画展

### 郡山市制施行 100 周年記念 スペースパーク企画展「科学館 de キモダメシ」

暑い夏に、様々な科学的要素を取り入れた恐怖体験ができるキモダメシの企画展を開催した。

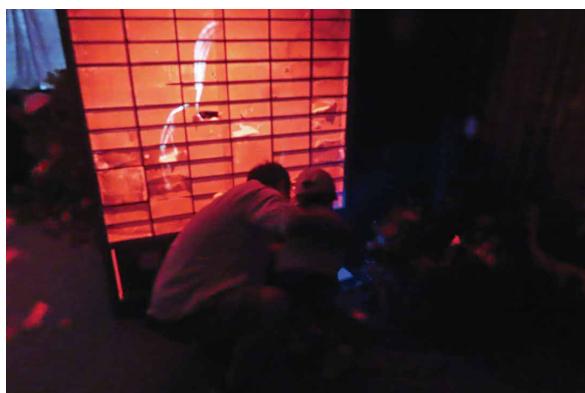
☆開催日時 令和6年7月13日(土)～8月25日(日) 10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン 多目的研修室(20階)

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 27,252 人

☆展示内容 郡山の祟りなどの伝説(パネル展示)、勇者の選択、森の洋館、洋館の住人、鏡の怪(ハーフミラー)、洋館のコレクション、謎の実験室、恐怖の館でのキーワード探し など



「勇者の選択」の様子



「鏡の怪 (ハーフミラー)」の様子

### 郡山市制施行 100 周年記念 スペースパーク企画展 「運動科学×リアル謎解きゲーム ナゾを解け！ネコの博士と3つのうごき」

運動科学に注目した「リアル謎解きゲーム」を開催し、謎解きキットを用いたからだの仕組みや体を動かしたテストに取り組み、ゲームに挑戦する体験型企画展を開催した。

☆開催日時 令和6年12月7日(土)～令和7年1月13日(月・祝) 10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン 多目的研修室(20階)

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 6,487 人

☆展示内容 謎解きゲーム、移動ゾーン・ハイパージャンプ、バランス・ぐらぐらストーン、操作ゾーン・まとあて



「謎解きゲーム」の様子



「バランスゾーン・ぐらぐらストーン」の様子

### 鉄道の日「鉄道フェスティバル」

10月14日の「鉄道の日」にちなみ、スペースパークボランティアの会、元鉄道ボランティアなどの協力のもと、鉄道ジオラマや鉄道関連資料を展示したフェスティバルを開催した。

☆開催期間 令和6年10月12日(土)～14日(月・祝)

☆開催場所 展望ロビー、多目的研修室

☆対象 一般来館者、展示ゾーン入館者

☆参加者数 1,515人

☆内容 (1) 鉄道ジオラマショースペシャル

土・日・祝に1日2回行っているジオラマショーを、期間中は1日3回に増便して行った。

(2) Nゲージ鉄道車両操作体験

人気のNゲージ鉄道模型の操作体験を行った。

(3) 鉄道関連資料展示

鉄道ファンのご協力により、貴重な鉄道関連資料を展示した。

(4) プラレールコーナー

プラレールで自由に遊べるコーナーを設置し、子どもたちに自由に遊んでいただいた。

(5) 手回しトロッコ「てトロ」体験

手回しの動力で動くトロッコ「てトロ」の試乗体験を行った。

(6) 鉄道フェスティバルスタンプラリー

会場内にあるスタンプを全て集めた方に電車のペーパークラフトをプレゼントした。

(7) Nゲージ鉄道模型展示

鉄道ボランティア製作の模型を展示し、車両に搭載されたカメラで走行の様子を見学した。

(8) 工作コーナー

鉄道の絵が変わる「くるりんパズル」を作った。



N ゲージ鉄道車両操作体験の様子



手回しトロッコ 「てトロ」 体験の様子

### スペースパーク企画展「ロボットフェスティバル」

ロボット大会等で活躍している福島県立白河実業高等学校・福島県立郡山北工業高等学校・福島県立清陵情報高等学校・福島県立会津工業高等学校と連携して、来館者にロボットと親しんでもらえる事業を開催した。

#### ＜ロボット展示・操作体験＞

福島県立白河実業高等学校・福島県立郡山北工業高等学校・福島県立清陵情報高等学校・福島県立会津工業高等学校で製作したロボットをはじめとするロボットの展示や、ロボットの操作体験ができる催しを開催した。

☆開催日時 令和7年3月22日(土)・23日(日) 10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン 多目的研修室(20階)

☆対象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 593人

#### ＜ワークショップ＞

福島県立清陵情報高等学校の先生・生徒を講師に招いて、簡単なロボット工作が楽しめるワークショップを開催した。

☆開催日時 令和7年3月23日(日) 14時～16時

☆開催場所 展示ゾーン 実験工房(20階)

☆対象 小学3年生～中学生の展示ゾーン入館者

☆参加者数 20人



ロボット展示・操作体験の様子



工作ワークショップの様子

### (3) 学校長期休業期間の特別事業

#### サイエンスフェスティバル

県内学校の先生や生徒、科学館支援グループの先生、ふくしまサイエンスぷらっとフォーム、スペースパークボランティアの会などの皆様に協力をいただき、展示ゾーンの入館者を対象に、科学の面白実験や工作を屋台形式で体験できる科学工作教室を開催した。

☆開催日時 ①ゴールデンウイーク期間：令和6年5月3日(金・祝)～

6日(月・休) 10時～17時

②夏季期間：令和6年7月13日(土)～15日(月・祝) 10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 ①ゴールデンウイーク期間：1,904人

②夏季期間：3,816人

☆参加団体 福島県立福島高等学校、福島県立安積高等学校、福島県立安積黎明高等学校、福島県立あさか開成高等学校、福島県立郡山萌世高等学校、日本大学東北高等学校、郡山女子大学附属高等学校、福島工業高等専門学校、福島大学、国際情報工科自動車大学校、ふくしまサイエンスぷらっとフォーム会員、ムシテックワールド、国立環境研究所、福島県環境創造センター、福島県農業総合センター、新福島芸能俱楽部、折紙俱楽部、福島県ハイテクプラザ、折紙造形・四季折々、スペースパークボランティアの会

☆内容 <ゴールデンウイーク>

ぷくぷく不思議なオイルモーション、カラフル芳香剤を作ろう、移動昆虫館、こいのぼり、イラストを泳がそう！、分光器で虹を見てみよう！、きょうふ！！紙コップロボットなど

<夏季>

宝石瓶を作ろう、クイズで知ろう猪苗代湖&水質浄化実験、芳香剤をつくろう、3Dプリンタについて、カライトサイクル、スライムで遊ぼ

う、魔法の水&冷たいもくもくなど



折紙造形・四季折々の様子



安積高校の様子

### 夏休み科学工作コーナー

科学を楽しむことができる工作コーナーを実施した。

☆開催日時 令和6年7月20日(土)～8月25日(日) 10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 2,718人

☆内容 うき浮きゴースト、おどるおばけ、どっきり光るスライム、びっくりゴーストハウス、飛び出すゴーストメガネの工作メニューを数日ごとに替えて行った。

### (4) 3D天文シミュレーション

展示ゾーンへの入館者を対象に、3D天文シミュレーションシステム「Mitaka 3D」を用いて、立体視で宇宙の姿を紹介する実演を開催した。

☆開催時間 土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 15時～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 2,413人

☆内容 立体視により地球から宇宙の果ての姿までを紹介する実演。



3D 天文シミュレーションの様子

## (5) デジタル工房の活用

展示ゾーンへの入館者を対象に、パソコンやデジタルカメラを使用して紙工作等を作成する教室を開催した。(約 50 分間)

☆開催時間 日曜日 14 時～ (イベント開催日は除く。)

☆開催場所 展示ゾーンパソコン工房 (20 階)

☆対 象 展示ゾーン入館者

開催期間	メニュー	開催回数	参加者数	内 容
令和6年 4月	下じき作り	4回	50 人	自分の顔写真やイラストを使用してオリジナルの「下じき」を製作した。
令和6年 5月	バッジ作り	3回	31 人	自分の顔写真やイラストを使用してオリジナルの「バッジ」を製作した。
令和6年 6月	白熱!ロボットバトル	5回	82 人	自分で作ったオリジナルロボットでバトルを行った。
令和6年 7月	うちわ作り	1回	26 人	自分の顔写真やイラストを使用してオリジナルの「うちわ」を製作した。
令和6年 9月	はじめてのScratch プログラミング【ダンジョン攻略編】	5回	49 人	キャラクターを動かして、ダンジョンを攻略して親子で学べるプログラミング体験をした。
令和6年 10月	キラキラカード	3回	49 人	自分の顔写真やイラストを使用してオリジナルの「キラキラカード」を製作した。
令和6年 11月	カレンダー作り	1回	20 人	イラスト等を使用して、オリジナルの「カレンダー」を製作した。
令和7年 1月	風船作り	2回	24 人	自分の顔写真やイラストを使用してオリジナルの「風船」を製作した。
令和7年 2月	パワポでプログラミング【ゲーム編】	4回	32 人	パワーポイントを使用して、オリジナルの「ゲーム」を製作した。
令和7年 3月	えんぴつ作り	2回	29 人	イラスト等を使用して、オリジナルの「えんぴつ」を製作した。

## (6) 小中学生・高校生のための科学技術へのいざない

新潟大学工学部と連携し新潟大学工学部で研究している最新の科学や、簡単な科学実験・工作を行った。

☆開催日時 令和6年12月7日(土)・8日(日) 11時～16時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 714 人

☆内 容 自然エネルギーを水素にして充電、キラキラのスーパーボールを作つてみよう、液状化する砂のふしき、厚紙イヤホンを作つて、骨で音を聞いてみよう！、手作りスノードーム - UV レジンを使って手作りのスノードームを作ろうー、カラフル化石（科学館）の実験・工作を行つた。



小中学生・高校生のための科学技術へのいざないへの様子

## (7) 子育て孫育て応援「キッズルーム」

電車のおもちゃや工作など、小さなお子さんも屋内でたっぷり楽しく遊べる催しを行つた。

☆開催日時 令和7年3月8日(土)・9日(日) 10時～17時

☆開催場所 展示ゾーン 多目的研修室(20階)

☆対 象 展示ゾーン入館者

☆参加者数 856 人

☆内 容 電車のおもちゃコーナー、木製レールジオラマコーナー、昔遊びコーナー、体で動かすゲーム体験コーナー、ぬり絵コーナー、科学工作コーナー、なりきり記念写真コーナーを設置した。



子育て孫育て応援「キッズルーム」の様子

## 5 展望ロビーイベント装飾事業

### (1) 展望ロビーイルミネーション

地上高 96m の幻想的な夜景とシンボルオブジェ「プライマル」のクリスタルな輝きと共に楽しんでいただけよう、季節に合わせたイルミネーションを設置した。

#### ハロウィンディスプレイ Halloween Night in SPACEPARK 2024

☆開催日時 令和6年9月28日(土)～10月31日(木) 日没～20時



ハロウィンディスプレイの様子

#### クリスマスイルミネーション Christmas Dreams in SPACEPARK 2024

☆開催日時 令和6年12月6日(金)～25日(水) 日没～20時



クリスマスイルミネーションの様子

#### ウインターイルミネーション

☆開催日時 令和6年12月26日(木)～令和7年1月15日(水) 日没～20時



ウインターイルミネーションの様子

### (2) 展望ロビーシーズンディスプレイ

展望ロビーに季節に合わせた装飾を設置した。

#### 七夕飾り

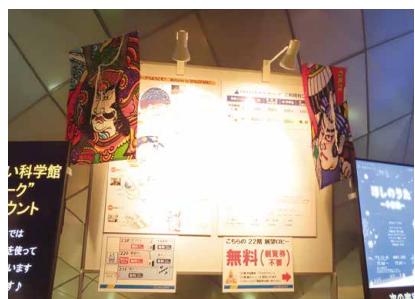
☆開催期間 令和6年6月6日(木)～8月31日(土)



七夕飾りの様子

### 正月飾り

☆開催期間 令和7年1月3日(金)～7日(火)



正月飾りの様子

## 6 教育普及活動

### (1) 観望会

#### 駅前観望会

駅前において、天体望遠鏡などを使用し、少しの時間で気軽に参加でき、宇宙への興味関心を高める自由参加形式の天体観望会を開催した。

☆開催場所 郡山駅西口駅前広場

☆対 象 一般（当日自由参加）

開 催 日 時	観望内容	参加者数
令和6年4月13日(土)18時30分～19時30分	月など	30人
令和6年5月18日(土)19時～20時	月など	80人
令和6年6月15日(土)19時30分～20時30分	月など	悪天候のため中止
令和6年7月13日(土)19時30分～20時30分	月など	悪天候のため中止
令和6年8月11日(日・祝)19時～20時	月など	悪天候のため中止
令和6年9月14日(土)18時30分～19時30分	月など	悪天候のため中止
令和6年10月12日(土)18時～19時	月・土星など	100人
令和6年11月9日(土)17時30分～18時30分	月・土星など	60人
令和7年3月8日(土)18時30分～19時30分	月・火星・木星など	悪天候のため中止

参加者総数 270 人



望遠鏡での観察の様子

## 天体観望会

### <彗星観察会>

紫金山・アトラス彗星を観察する観望会を検討したが、開催条件が合わず見送った。

### (2) アウトリーチ活動

#### 星の宅配便

科学館の職員と天文ボランティアが天体望遠鏡を持参して市内の各地区に出向き、星空の観察などを行う観望会を、市内公民館との共催により開催した。

	開催日時	開催場所	共催団体	参加者数	内 容
第1回	令和6年7月20日(土) 19時～20時30分	芳賀地域公民館	芳賀地域公民館	38人	月・アルビレオの観察、星の見方の紹介など
第2回	令和6年8月17日(土) 18時30分～20時	薰地域公民館	薰地域公民館	60人	月の観察、星の見方の紹介など
第3回	令和6年9月8日(日) 18時～19時30分	大成地域公民館	大成地域公民館	35人	悪天候のため、星図の使い方、星の見つけ方など
第4回	令和6年10月19日(土) 18時～19時30分	中央公民館	中央公民館	77人	悪天候のため、星の見つけ方など
第5回	令和6年11月10日(日) 17時～18時30分	日和田公民館	日和田公民館	22人	月・土星の観察、星図の使い方、星の見つけ方など

参加者総数 232 人



望遠鏡での観察の様子



室内講座の様子

#### 科学の宅配便

市内各地に出向き、科学館で行っている実験工作の出前講座を開催した。出前講座を通して科学の普及と広報を行った。

	開催日時	開催場所	参加者数	内 容
第1回	令和6年6月4日(火) 15時～15時45分	富田幼稚園 ホームクラス	57人	「ミニブームラン」を製作した。

第2回	令和6年8月28日(水) 14時20分～15時	小原田小学校 (科学クラブ)	21人	「ビー玉顕微鏡」を製作した。
第3回	令和6年9月11日(水) 14時20分～15時	三和小学校 (科学クラブ)	14人	「カラーキャンドル」を製作した。
第4回	令和6年10月3日(水) 13時～13時40分	緑ヶ丘一小2学年PTA	95人	「風船ロケット」を製作した。
第5回	令和6年11月7日(木) 10時40分～11時20分	安積つつみ幼稚園 年長組	58人	「ぐにゅっとスライム」を製作した。
第6回	令和6年11月8日(金) 13時20分～14時10分	希望ヶ丘こども園年長組	56人	「うき浮きボール」を製作した。
第7回	令和6年12月12日(木) 14時～14時40分	あい・サポ保育園 年長組	17人	「ビー玉ごま」を製作した。

参加者総数 318人



風船ロケットを製作し、親子で飛ばしている様子



カラーキャンドル製作の様子

### 高校天文部支援事業

市内各高校の天文クラブ等との交流を深め、天文に関する知識や技術面の向上を目指し、クラブ活動を支援した。

☆参 加 校 福島県立安積高等学校、福島県立安積黎明高等学校、福島県立郡山商業高等学校

開催日	開催場所	内 容	参加者数
令和6年6月11日(火)	多目的研修室	オリエンテーション	5人
令和6年6月25日(火)	多目的研修室	オリエンテーション	19人
令和6年7月2日(火)	多目的研修室	望遠鏡に触れてみよう	21人
令和6年7月5日(金)	多目的研修室	望遠鏡に触れてみよう	5人
令和6年9月3日(火)	宇宙劇場	月を眺めよう	4人

令和6年9月10日(火)	宇宙劇場、郡山駅歩行者連絡橋	月を眺めよう	5人
令和6年9月18日(水)	宇宙劇場、郡山駅歩行者連絡橋	月を眺めよう	11人
令和6年10月22日(火)	宇宙劇場	ほうき星 彗星	17人
令和6年11月6日(水)	宇宙劇場	ほうき星 彗星	4人
令和6年12月3日(火)	宇宙劇場	ふたご座流星群	15人
令和6年12月17日(火)	宇宙劇場	ふたご座流星群	5人

延べ参加者数 111人

### (3) クラブ活動

#### 天文クラブ

宇宙劇場（プラネタリウム）や天体望遠鏡等を使用して、天文学の基礎知識を学習することにより宇宙への興味・関心を喚起するクラブを開催した。

☆開催回数 5回（令和6年6月～令和7年2月）

☆開催場所 実験工房、宇宙劇場、パソコン工房

☆対 象 小学3年生～6年生

☆クラブ員 16人

メニュー	開催日時	参加者数
望遠鏡ってなあに？	令和6年6月22日(土)9時45分～11時45分	14人
望遠鏡を作ろう！	令和6年8月24日(土)9時45分～11時45分	13人
星空を見よう！～星空観察会～	令和6年9月14日(土)18時～19時30分	32人
宇宙探査のしくみ	令和6年12月14日(土)9時45分～11時45分	15人
太陽のひみつ	令和7年2月15日(土)9時45分～11時45分	13人

延べ参加者数 87人



「望遠鏡ってなあに？」の様子



「宇宙探査のしくみ」の様子

## 科学クラブ

実験・観察・工作を一人一人が体験することで、自然に対するものの見方や考え方を養い、自然の様々な現象に対する興味を喚起するクラブを開催した。

☆開催回数 5回 (令和6年6月～令和7年2月)

☆開催場所 実験工房、多目的研修室

☆対 象 小学3年生～6年生

☆クラブ員 16人

メニュー	開催日時	参加者数
摩擦の科学	令和6年6月 29日(土)	15人
科学でマジック!	令和6年8月 31日(土)	14人
電気で大実験	令和6年 10月 26日(土)	9人
ゴムで実験	令和6年 12月 21日(土)	10人
鏡で実験	令和7年2月 22日(土)	13人

延べ参加者数 61人



「摩擦の科学」の様子



「ゴムで実験」の様子

## (4) 職場体験

### 博物館実習

学芸員の資格取得を目指す学生を実習生として受け入れ、科学館における活動を通して、学芸員の資質を養うための研修を行った。

☆開催期間 令和6年9月4日(水)～11日(水)

※9日(月)を除く7日間

☆開催場所 実験工房、宇宙劇場、展示ゾーン、多目的研修室等

☆実習生 7人

郡山女子大学短期大学部地域創成学科 : 2人

新潟大学理学部理学科 : 1人

東京農業大学農学部動物科学科 : 1人

長岡造形大学造形学部プロダクトデザイン学科：1人  
 福島大学理工学群共生システム理工学類：1人  
 都留文科大学文学部比較文化学科：1人

実習日	実習内容
令和6年9月4日(水)	開講式、実習説明、展示見学、展示実習、接遇研修、宇宙劇場機器説明
5日(木)	展示実習、宇宙劇場番組見学、館内対応
6日(金)	展示実習
7日(土)	展示実習、展示実習発表準備、同発表
8日(日)	宇宙劇場実習説明、番組見学、宇宙劇場実習準備
9日(月)	休館日
10日(火)	宇宙劇場実習準備、同解説練習
11日(水)	宇宙劇場実習準備、宇宙劇場課題発表、宇宙劇場発表講評、閉講式



博物館実習の様子

### 社会教育研修

幅広い識見と豊かな社会性を体得する教職員を研修生として受け入れ、科学館における活動を通して、教職員の資質を養うための研修を行った。

☆開催期間 令和6年8月8日(木)・9日(金)

☆開催場所 実験工房、宇宙劇場、展示ゾーン、多目的研修室等

☆実習生 1人

福島県立西郷支援学校：1人

実習日	実習内容
令和6年8月8日(木)	研修説明、展示見学、展示実習、接遇研修、宇宙劇場見学
9日(金)	団体誘導、来館者対応研修、展示実習、館内対応

## (5) 学校向け巡回展

ホワイエ企画展で使用したパネルを、市内の小中学校に貸出し、宇宙の不思議に身近に触れることができる巡回展を行った。

☆開催期間 令和6年5月～令和7年2月（学校長期休業期間を除く。）

☆貸出回数 602回

## (6) 講師派遣

### <大安場史跡公園提案事業「古墳でお月見」>

☆派遣日時 令和6年9月16日(月・祝) 18時～20時

☆派遣場所 大安場史跡公園

### <郡山石筵ふれあい牧場「日時計つくり体験」>

☆派遣日時 令和6年9月21日(土) 11時～12時

☆派遣場所 郡山石筵ふれあい牧場

### <きれいな水へのかえりみち謎解き☆バスツアー>

☆派遣日時 令和6年9月29日(日) 10時30分～14時25分

☆派遣場所 サンサングリーン湖南

### <郡山石筵ふれあい牧場「親子流星観察体験」>

☆派遣日時 令和6年10月26日(土) 18時30分～20時

☆派遣場所 郡山石筵ふれあい牧場

### <カルチャーパークキッズデー「星の宅配便」>

☆派遣日時 令和6年11月9日(土) 15時～16時

☆派遣場所 郡山カルチャーパーク 展示室

### <ムシテック祭り>

☆派遣日時 令和6年11月9日(土) 10時～15時

☆派遣場所 ふくしま森の科学体験センター(ムシテックワールド)

### <あさかの学園大学OB会>

☆派遣日時 令和6年11月19日(火) 10時～12時

☆派遣場所 市民プラザ

**<理科教員向け授業力アップ研修会>**

☆派遣日時 令和6年11月19日(火) 12時30分～16時30分

☆派遣場所 多目的研修室、宇宙劇場

**<spffサイエンス屋台村>**

☆派遣日時 令和6年11月19日(火) 10時～15時

☆派遣場所 ふくしま森の科学体験センター(ムシテックワールド)

**<川俣こども科学館「サイエンスショー in かわまた」>**

☆派遣日時 令和6年11月30日(土) 9時45分～12時10分

☆派遣場所 鶴沢公民館

**<日本宇宙少年団こおりやま分団科学工作会>**

☆派遣日時 令和7年1月26日(日) 13時～15時

☆派遣場所 多目的研修室

**<いしかわ子ども交流センター「特別投映 フリートーク・プラネタリウム」>**

☆派遣日時 令和7年2月8日(土)・9日(日)

☆派遣場所 いしかわ子ども交流センター

**<日本宇宙少年団こおりやま分団科学工作会>**

☆派遣日時 令和7年2月15日(土) 13時～15時

☆派遣場所 多目的研修室

**<一般社団法人日本天文教育普及研究会若手天文教育普及ワーキンググループ>**

☆派遣日時 令和7年3月4日(火) 12時～20時

☆派遣場所 多目的研修室

**(7) 学習支援**

**天体望遠鏡貸出**

市内地域の指導者的な人を対象に天体望遠鏡の貸し出しを行った。

☆実施期間 令和6年4月～令和7年3月

**科学館支援グループ**

小・中・高等学校及び大学の先生で構成するグループが、ゴールデンウイークや夏休みに開催するサイエンスフェスティバルへ出展して科学館の運営をサポートした。

## 7 講演会事業

### 星の講演会

天文現象や宇宙開発など様々なテーマについて、宇宙や科学に関する興味関心を高めることのできる講演会を、専門の講師を招いて開催した。

#### 市制施行 100 周年記念 第 41 回 星の講演会

＜週末、宇宙行く？が実現する世界を目指して＞

☆講 師 岩谷 圭介 氏（株式会社岩谷技研代表取締役／郡山市出身）

☆開催日時 令和 6 年 11 月 4 日（月・休） 16 時～17 時 30 分

☆開催場所 宇宙劇場

☆参加者数 87 人

☆内 容 気球による宇宙遊覧を目指す岩谷技研の取り組みや夢を追い続けるモチベーションについて、郡山市出身の岩谷圭介さんにお話しいただいた。



開催中の様子



開催中の様子

### 天文カレッジ

探求層である高校生以上の大人を対象に、天文学の話題や天体観察の手法を学習する講座を開催した。

#### ＜宇宙の広がりを知る＞

☆開催回数 4 回（令和 7 年 2 月～3 月）

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆対 象 高校生以上

メニュー	開 催 日 時	参加者数
太陽系 一個性豊かなメンバー一	令和 7 年 2 月 19 日(水)19 時～21 時	11 人
恒星 一星が輝く世界一	令和 7 年 3 月 5 日(水)19 時～21 時	13 人
銀河系 一星のまち 銀河一	令和 7 年 3 月 19 日(水)19 時～21 時	10 人

延べ参加者数 43人



開催中の様子



開催中の様子

## 8 他団体連携事業

### (1) 国立天文台との連携による天文講演会 ( 渡部潤一名誉館長による天文講演会 )

当館の名誉館長である国立天文台上席教授の渡部潤一先生に天文に関する話題を紹介していただく講演会を開催した。

#### 市制施行 100 周年記念 渡部潤一名誉館長講演会

##### <天文学 これまでの 100 年、これからの 100 年>

☆講 師 渡部 潤一 氏 ( 名誉館長／国立天文台上席教授 )

☆開催日時 令和 6 年 11 月 16 日 ( 土 ) 16 時～ 17 時 30 分

☆開催場所 宇宙劇場

☆参加者数 100 人

☆内 容 これまでの天文学、特に 100 年の歩みについて、可視光から多波長へと拡大した観測の歴史を紹介いただいた。



開催中の様子



開催中の様子

### (2) 星空案内人資格認定講座

#### 星空案内人（星のソムリエ®）資格認定講座

特定非営利活動法人星のソムリエ機構が運営する「星空案内人資格認定制度」の全国運営組織に参加し、天文カレッジ・天文ボランティア研修等の一環として資格認定講座を開講し、星空案内人資格認定を行った。

☆開催期間 令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆開催回数 20 回

☆受講者総数 267 人

#### <星空案内人資格認定証授与式および特別講座>

所定の認定基準を満たした受講者に対して、資格認定証の授与を行った。

☆開催日時 令和 6 年 11 月 23 日 ( 土・祝 ) 15 時～ 17 時 30 分

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 星空案内人 1名、星空案内人(準案内人)20人  
☆内容 資格認定証授与および特別講座  
特別講座「子供たちの心に残る星空ガイド」  
講師：大野 裕明 氏(星の村天文台 名誉台長)



授与式の様子



特別講座の様子

### (3) 科学ゼミナール

県内の文化施設、県内外の大学等と連携し共同でワークショップを開催した。  
<福島大学との連携事業 おもしろ科学びっくり箱>  
「自転車発電でクリスマスを楽しもう！」

☆講師 後藤 忍 氏(福島大学 理工学群 共生システム理工学類 教授)  
☆開催日時 令和6年12月8日(日) 13時30分～15時  
☆開催場所 実験工房  
☆対象 小学3年生～一般  
☆参加者数 14名  
☆内容 福島大学と連携し、華やかな電飾が灯るクリスマスの時期に、自分で電気をつくる自転車発電で、クリスマスツリーを灯したり、クレーンゲームを動かしたりして、楽しみながら電気をつくる大変さや大切さを感じる講座を開催した。



「自転車発電でクリスマスを楽しもう！」の様子

## <「第 65 回科学技術映像祭」入選作品上映会>

☆開催期間 令和 6 年 12 月 28 日(土)～30 日(月)、

令和 7 年 1 月 3 日(金)・4 日(土)

☆開催場所 展示ゾーン

☆対 象 展示ゾーン来館者

☆参加者数 143 名

☆内 容 「第 65 回 科学技術映像祭」で入選した作品の上映会を以下の時間帯で開催した。

11:00～11:28 ダーウィンが来た！ 生きものの不思議を解き明かせ！  
子ども研究者スペシャル

13:00～13:59 フロンティア 人間の知能は作れるか～A I 究極の知能  
への挑戦～

14:30～14:36 学校で使える理科実験 絶対に入らない瓶の中に松ぼっくりを閉じ込める方法！松ぼっくりのびん詰め作りの  
方法と理由を解説しました。

15:00～15:15 なぜ水星へ行くのは最も難しいのか？ 全惑星へのアクセス時間比較



「第 65 回科学技術映像祭」入選作品上映会の様子

## <日本大学工学部との連携事業>

### 「見つけて、さわって、発見！形のパワー」

☆講 師 樋口 幸治郎 氏 (日本大学工学部総合教育)

☆開催日時 令和 7 年 3 月 30 日(日) 14 時～15 時

☆開催場所 多目的研修室

☆対 象 小学 1 年生～一般 (小学 3 年生以下は保護者同伴)

☆参加者数 29 名

☆内 容 生活の中で大活やくしている"とくべつな形たち"について、とくべつな力と性質を、さんすう博士と目に見えるようにしたり、ふれたりして、たのしみながら、いっしょに見つけていく講座を開催した。



「見つけて、さわって、発見!形のパワー」の様子

#### (4) 企業との連携事業

市内県内の企業等と連携し共同でワークショップを開催した。

##### 東北村田製作所／村田製作所との連携事業

「東北村田製作所がやってくる」

☆開催日 令和6年8月10日(土)

##### <ムラタのロボットショー>

☆開催時間 (1) 10:00～10:30 (2) 11:20～11:50 (3) 13:00～13:30  
(4) 14:10～14:40 (5) 15:20～15:50  
※各回の内容は同一です。

☆開催場所 展望ロビー

☆対象 一般来館者

☆参加者数 250名

☆内容 村田製作所のロボットによるパフォーマンスを開催した。



「ムラタのロボットショー」の様子

##### <電池つくりワークショップ>

☆講師 東北村田製作所／村田製作所の皆さん

☆開催時間 (1) 10:50～11:50 (2) 13:50～14:50

☆開催場所 実験工房  
☆対象 5歳～中学生（小学3年生以下は保護者同伴）  
☆参加者数 38名  
☆内容 電池の材料や仕組みを学べるキットを使って簡単に電池を造るワークショップを開催した。



「電池つくりワークショップ」の様子

#### 曾田香料株式会社との連携事業

##### 「香りの魅力 - オリジナル香水を作つてみよう - 」

☆講師 鈴木 文香 氏（曾田香料株式会社調香師）  
☆開催日時 令和7年2月15日（土）13時30分～16時30分  
☆開催場所 多目的研修室  
☆対象 小学5年生以上（小学生は保護者同伴）  
☆参加者数 38名  
☆内容 「香り」「香水」に関する講座を開催した。



「香りの魅力 - オリジナル香水を作つてみよう - 」の様子

#### (5) ばんえつ発見の旅サポート連携事業

磐越道沿線の公共施設が連携し、広報イベント等を通して、天文・科学の普及を行う事業を実施した。

☆開催日時 令和6年6月8日（土）9時～17時

☆開催場所 いくとぴあ食花(新潟市)



「ばんえつ発見の旅サポート連携事業」の様子

## (6) 天文宇宙検定

(一社) 天文宇宙教育振興協会と連携して天文宇宙検定を実施した。

☆開催日時 令和6年6月9日(日) 10時30分～16時

☆開催場所 多目的研修室

## (7) 地域と連携した展示物制作

会津大学との共同研究の成果をもとに、来館者が楽しみながら太陽系小天体を理解し、小惑星探査機「はやぶさ」「はやぶさ2」の成果に触れることのできるICTを活用した展示物を制作した。

## 9 宇宙や科学に関する情報発信事業

### (1) 企画パネル展

#### ホワイエ企画展

宇宙劇場ホワイエにおいて、投映する番組に合わせた写真やデータなどのパネル展示を開催した。

テーマ	展示期間
第7回ふくしま星・月の風景フォトコンテスト作品展	令和6年4月1日(月)～5月26日(日)
天の川をめぐる	令和6年6月1日(土)～8月25日(日)
「水の惑星 一星の旅シリーズ」写真展	令和6年8月31日(土)～10月27日(日)
望遠鏡と宇宙	令和6年11月2日(土)～令和7年1月26日(日)
星の進化をたどる	令和7年2月1日(土)～3月31日(月)

#### 展示ゾーンパネル展

展示ゾーンにおいて、科学分野で話題性のあるテーマでパネル展示を開催した。

テーマ	展示期間
スペースパーク サイエンストピック	令和6年4月1日(月)～令和7年3月31日(月)
変形型月面ロボット「SORA-Q Flagship Model」展示	令和6年4月1日(月)～令和7年3月31日(月)
星空と科学を楽しむスペースパークニュース「ほしのうみ」	令和6年4月1日(月)～令和7年3月31日(月)

### (2)SNS等による科学情報発信

#### # おうちでスペパ

Facebook や LINE によるイベントや番組の情報発信を行った。また、Instagram や YouTube による実験・工作や天文・宇宙に関する情報発信「# おうちでスペパ」を行った。

☆更新回数：Facebook 80回、Instagram 162回、LINE 87回

### (3) 学術発表

学術団体や協議会等が開催する研究発表会や研修会等に参加し、発表を行った。

#### ＜令和6年度全国科学館連携協議会東北ブロック会議＞

☆開催日 令和6年11月13日(水)

☆開催場所 山形県産業科学館

**<地域のプラネタリウム史報告会>**

☆開催日 令和7年1月20日(月)

☆開催場所 なかのZERO プラネタリウム

**(4) 出版**

**科学館ニュース「ほしのうみ」の発行**

天文トピックス、科学実験アラカルトの情報を掲載した季刊誌「ほしのうみ」を作成し、ウェブサイトで公開した。

**年報の発行**

1年間の活動記録をまとめた年報を作成し、ウェブサイトで公開した。

## 10 パブリシティ活動事業

### (1) 郡山市への投げ込み

科学館の最新ニュース・イベント案内について、報道機関へ広聴広報課経由で提供した。

☆提供回数：15回

### (2) YouTube 広告

☆期間等 令和6年7月13日～8月24日 再生時間30秒 視聴回数135,846回

☆内容 夏休みドーム映像番組「ゲゲゲの鬼太郎 河童のテラフォーミング」・  
スペースパーク企画展「科学館 de キモダメシ」

☆期間等 令和6年12月7日～令和7年1月12日 再生時間30秒 視聴回数  
123,987回

☆内容 冬のドーム映像番組「イナズマデリバリー バイザウェイの宇宙旅行？!  
－ブラックホールとの遭遇－」・スペースパーク企画展「運動科学×リ  
アル謎解きゲーム ナゾを解け！ネコの博士と3つのうごき」

### (3) 新聞広告

☆掲載日等 令和7年1月3日 朝日新聞

☆内容 冬のドーム映像番組「イナズマデリバリー バイザウェイの宇宙旅行？!  
－ブラックホールとの遭遇－」・スペースパーク企画展「運動科学×リ  
アル謎解きゲーム ナゾを解け！ネコの博士と3つのうごき」

### (4) 広報紙及び雑誌等への掲載、テレビ取材

市の広報紙「広報こおりやま」や「ラジオ市政広報」をはじめ、教育委員会や各課で  
発行する印刷物等へ科学館の案内を掲載した。

その他、タウン誌、テレビ取材、旅行雑誌からの依頼等により、科学館の案内や情報を  
積極的に提供し、科学館のPRに努めた。

テレビ取材

☆取材件数 19件

☆内容 週間トピックス、ふくしまSHOW、関西テレビ放送EBiDANのフォト  
リップ、NHK、市制施行100周年特番、BSよしもと又吉・せきしろの  
なにもしない散歩、ゴジてれ、アルピーの福島あるある認定委員会、ふ  
らっとりっぷ

## 11 作品募集

### ふくしま星・月の風景フォトコンテスト事業

福島県内の風景と星・月が撮影された写真を募集し、選出されたこれまでのコンテスト作品の巡回展示を県内外で行い、広く普及活動を実施した。

#### <ふくしま 星・月の風景 フォトコンテスト作品展 巡回展示>

##### 三鷹展

- ☆展示期間 令和6年4月1日(月)～14日(日)
- ☆展示場所 三鷹市天文・科学情報スペース(東京都三鷹市)
- ☆主催共催 三鷹市天文・科学情報スペース
- ☆内 容 過去のコンテスト選出写真から作品32点

##### 福島市写真美術館展

- ☆展示期間 令和6年6月8日(土)～27日(木)
- ☆展示場所 福島市写真美術館(福島市)
- ☆主催共催 福島市振興公社
- ☆内 容 第7回コンテスト選出作品40点

##### 福島市こむこむ館展

- ☆展示期間 令和6年6月16日(日)～30日(日)
- ☆展示場所 福島市子どもの夢を育む施設こむこむ館(福島市)
- ☆主催共催 福島市振興公社
- ☆内 容 過去のコンテスト選出写真から作品10点

##### 中野展

- ☆展示期間 令和6年9月11日(水)～23日(月・祝)
- ☆展示場所 ケンコー・トキナー・ギャラリー(東京都中野区)
- ☆主催共催 株式会社ケンコー・トキナー
- ☆内 容 第7回コンテスト選出作品40点

##### けんしん郡山文化センター展

- ☆展示期間 令和7年2月1日(土)～3月30日(日)
- ☆展示場所 けんしん郡山文化センター アートギャラリー(郡山市)
- ☆主催共催 けんしん郡山文化センター
- ☆内 容 過去のコンテスト選出写真から作品12点

### 三鷹展

- ☆展示期間 令和7年2月14日(金)～3月31日(月)
- ☆展示場所 三鷹市天文・科学情報スペース(東京都三鷹市)
- ☆主催共催 三鷹市天文・科学情報スペース
- ☆内 容 第7回コンテスト選出作品40点

### いわき展

- ☆展示期間 令和7年2月22日(土)～3月16日(日)
- ☆展示場所 いわき市民ギャラリー(いわき市)
- ☆主催共催 いわき・ら・ら・ミュウ
- ☆内 容 過去のコンテスト選出写真から作品30点

## 12 調査・研究

### (1) 天文関連協議会調査

宇宙や天文に関する様々な情報の集積を図るとともに、関係機関との連携を強化し、新たな事業の企画立案及び既存事業の充実を図るための調査研究を行った。

調査日	調査先	内容
令和6年6月3日(月)～6月5日(水)	全国プラネタリウム大会 2024・横浜 (はまぎん こども宇宙科学館)	プラネタリウム運営及び事業に関する調査

### (2) 天文最新情報調査

科学館として長期的・継続的な観点に立ち、天文学や宇宙科学の研究成果、また、それらの展示手法などの最新情報を収集するため、視察を行った。

調査日	調査先	内容
令和6年5月30日(木)	バーチャリウムⅡスクリプト講習会 (オンライン)	宇宙劇場機器のバーチャリウムⅡの操作および番組制作に関する調査
令和6年9月11日(水)～13日(金)	日本天文学会 2024 秋季年会 (関西学院大学 神戸三田キャンパス)	最新の天文学に関する調査
令和6年11月28日(木)	バーチャリウムⅡスクリプト講習会 (オンライン)	宇宙劇場機器のバーチャリウムⅡの操作および番組制作に関する調査
令和7年1月20日(月)	地域のプラネタリウム史報告会 (なかのZERO プラネタリウム)	地域におけるプラネタリウム史に関する調査および発表

### (3) 展示協議会等調査

科学館として長期的・継続的な観点に立ち、科学館・博物館でつくる協議会などに参加し市民への教育普及活動に資する資料収集や調査活動を行った。

調査日	調査先	内容
令和6年9月24日(火)	全国科学館連携協議会 2024 年度 第2回国内研修(オンライン)	札幌市青少年科学館 オンライン 視察(リニューアル概要の説明、 展示紹介、質疑応答など)
令和6年11月13日(水)	全国科学館連携協議会 2023 年度 東北ブロック会議(研修会)(山形 県産業科学館)	科学実験教室の発表
令和7年1月10日(金)	令和6年度 福島県博物館連絡協議 会 施設見学研修(石川町立歴史民 俗資料館 イシニクル)	石川町立歴史民俗資料館 イシニク ル 見学研修
令和7年1月31日(金)	全国科学館連携協議会 2024 年度 第3回国内研修(オンライン)	ミュージアムの多様な来場者に対する 合理的配慮について
令和7年2月12日(水)・ 13日(木)・14日(金)	令和6年度第2回全国科学博物館協 議会総会及び第32回研究発表大会 (兵庫県立人と自然の博物館)	「博物館が提供する様々な経験－ 教育、愉しみ、省察、知識共有の 観点から」をテーマにした事例発 表の聴講等

#### (4) 展示最新情報調査

科学館として長期的・継続的な観点に立ち、科学技術や研究成果、また、それらの展示手法などの最新情報を収集するため、全国からさまざまな企業等が出展する展示会の視察を行った。

調査日	調査先	内容
令和6年11月30日(土)	ロボット・航空宇宙フェスタふくしま 2024(ビッグパレットふくしま)	最先端の宇宙開発やロボットに関する情報収集

## 13 その他

### (1) 運営協力

#### 郡山市少年少女発明クラブ

☆開催日時 令和6年5月～令和7年2月（毎月1回　日曜日　10時～12時）  
☆開催場所 多目的研修室  
☆開催回数 10回  
☆対象 小学3年生～中学3年生  
☆クラブ員 30人  
☆専任指導員 大越 清美 氏、小野 一豊 氏、横田 俊徳 氏  
☆内容 ストローロケット作り、望遠鏡作り、偏光万華鏡作り、タングラム作り、草木染、ちりとり作り、ライトフライヤー号作り、携帯カイロ作り、ランプシェード作り、干支のカラーライドサイクル作り。



草木染の様子

#### 日本宇宙少年団こおりやま分団

宇宙及び科学への探求心と向上心を促し、青少年の健全な育成に寄与するなどの目的で設立されて活動を続けている日本宇宙少年団こおりやま分団の活動について、科学館職員が天体望遠鏡工作の指導や宇宙に関する講義を行うなどの支援を行った。

☆活動日 令和6年4月～令和7年3月の毎月1回程度実施  
☆活動場所 郡山市ふれあい科学館など  
☆活動内容 望遠鏡工作など

#### ふくしまサイエンスぷらっとフォーム

福島大学や県内の公設研究機関と科学館・博物館で構成される機関に加盟し、科学普及等の情報交換を行った。

#### <第1回 ふくしまサイエンスぷらっとフォーム運営会議>

☆開催日時 令和6年4月19日（金）14時～15時30分  
☆開催場所 オンライン会議

### <第2回 ふくしまサイエンスぷらっとフォーム運営会議>

☆開催日時 令和6年6月7日(金) 13時30分～15時30分

☆開催場所 ふくしま森の科学体験センター（ムシテックワールド）及びオンライン会議

### <第3回 ふくしまサイエンスぷらっとフォーム運営会議>

☆開催日時 令和6年10月25日(金) 14時～16時

☆開催場所 郡山市ふれあい科学館及びオンライン会議

### <spff サイエンス屋台村 at ムシテックワールド>

☆開催日時 令和6年11月23日(土・祝) 10時～15時

☆開催場所 ふくしま森の科学体験センター（ムシテックワールド）

### <第4回 ふくしまサイエンスぷらっとフォーム会議>

☆開催日時 令和7年3月4日(火) 14時～16時

☆開催場所 郡山市ふれあい科学館及びオンライン会議

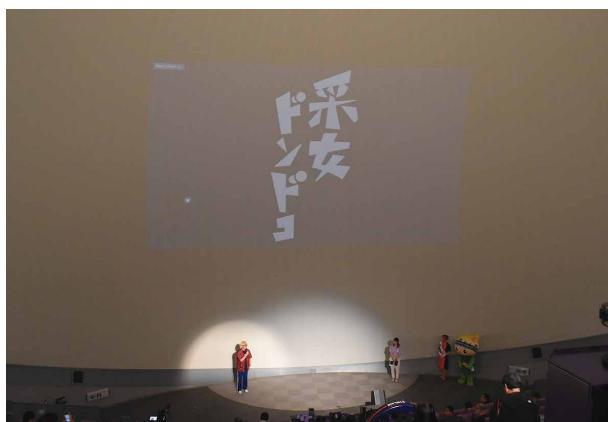
### 郡山市産業観光政策課

郡山市観光政策課に協力し、「郡山うねめまつりエンディングテーマソング・踊り」完成披露お披露目会を当館で開催した。

☆開催日時 令和6年5月25日(土) 18時30分～20時

☆開催場所 宇宙劇場

☆参加者 50人



開催の様子

### 株式会社タカラトミー SORA-Q プロジェクト

株式会社タカラトミー SORA-Q プロジェクトに協力し、SORA-Q Thank You アンバサダーとして「SORA-Q 操作体験」を開催した。

☆開催日時 令和6年12月28日(土) 11時～12時、13時～14時、15時～16時

☆開催場所 展示ゾーン

☆参加者 32人



開催の様子

## (2) ボランティア活動の推進

### ボランティア活動の推進

#### <全体の概要>

平成16年2月に自主運営組織「スペースパークボランティアの会（略称：S.P.V.）」が発足し、今年度20年目を迎えた。

本年度は、会員各自が、さらに積極的に活動のレベルアップを図るとともに、活動範囲の拡大、そして、市民へボランティア活動を理解し、広め、生涯学習ボランティア活動のより一層の発展を目指し、ボランティア活動を行った。



スペースパークボランティアの会

#### <スペースパークボランティア大募集>

案内・科学・天文の各グループのボランティアを広く市内外から募集した。

#### 募集スケジュール

募集期間	登録前オリエンテーション及びボランティア研修
令和6年3月1日(金)～5月1日(水)	令和6年5月19日(日) 令和6年6月16日(日) 令和6年8月4日(日) 令和6年11月9日(土) 令和6年12月22日(日)

#### ※登録前オリエンテーション及びボランティア研修

スペースパークボランティアの会及び活動内容について理解を深めることを目的としたオリエンテーションと研修を開催した。

#### <登録状況>

### ☆グループ別

	案内・科学	天文	合計
前年度からの登録更新者	39人	33人	72人
令和6年度登録者	4人	3人	7人
合計	43人	36人	79人

### ☆区分別

	性別		職業の有無			地域別		
	男	女	有職	無職	学生	市内	市外	県外
前年度からの登録更新者	39人	33人	37人	34人	1人	62人	8人	2人
令和6年度登録者	1人	6人	1人	1人	5人	7人	0人	0人
合計	40人	39人	38人	35人	6人	69人	8人	2人

### ☆年代別

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
人 数	3人	6人	5人	3人	8人	28人	22人	4人

### <ボランティア活動>

#### ○案内・科学グループボランティア

☆活動時間 平日：午前の部（9時30分～13時）

土曜・日曜・祝日・学校休業期間：午前の部（9時30分～13時）

午後の部（12時30分～16時）

☆内 容 展望ロビーでの景色・郡山の歴史案内、科学館の総合案内、高齢者・身障者の観覧補助

実験・工作教室などの説明や製作の補助

☆延べ活動時間 2,290時間

☆延べ活動人数 693人

#### ○天文グループボランティア

☆活動時間 天体観望会及び自主イベントのある夜間等

☆内 容 天体観望会などでの案内及び望遠鏡の操作補助

☆延べ活動時間 377時間

☆延べ活動人数 134人

### <出張ボランティア活動>

館外での生涯学習活動の場を求め、広く出張ボランティア活動を実施し、市民活動の一環として市民と共に楽しみ、お互いの感動を共有し、市内のさらなる生涯学習活動の

促進を目指した。

### ○ AGC エレクトロニクス郡山カルチャーパーク

案内・科学グループ

☆出展日 令和6年7月13日(土)

☆場所 AGC エレクトロニクス郡山カルチャーパーク

☆メニュー 風船ロケット、偏光万華鏡、UV ちょうちょ

### ○桃見台公民館

案内・科学グループ

☆出展日 令和6年7月19日(金)

☆場所 桃見台公民館

☆メニュー 昔遊び(皿回し、けん玉、紙飛行機、紙芝居)

### ○こおりやま文学の森資料館

案内・科学グループ

☆出展日 令和6年7月27日(土)

☆場所 こおりやま文学の森資料館

☆メニュー おばけの折紙、カニの折紙

### ○平成記念郡山こどものもり公園

天文グループ

☆活動日 令和6年8月4日(日)

☆場所 平成記念郡山こどものもり公園

☆内容 観望会

### ○大成公民館(社会福祉協議会)

案内・科学グループ

☆出展日 令和6年9月28日(土)

☆場所 大成公民館

☆メニュー ベンハムのこま、偏光万華鏡、ぶっとびロケット

### ○仁井田コミュニティセンター

天文グループ

☆活動日 令和6年9月28日(土)

☆場所 仁井田コミュニティセンター

☆内容 観望会

### ○大東コミュニティセンター

## 天文グループ

☆活動日 令和6年11月17日(日)  
☆場所 大東コミュニティセンター  
☆内容 観望会

## <自主企画イベント スパースパークボランティアまつり>

案内・科学、天文の各グループが、一年間の生涯学習活動の成果を、それぞれの活動の特色を活かした様々な企画により、市民の方々に発表した。

☆開催日時 令和7年3月1日(土)・2日(日) 10時～15時  
☆開催場所 22階展望ロビー  
☆内容 案内・科学グループ 科学工作、折り紙、紙芝居の実演、昔遊びなど  
天文グループ 星座早見盤、日時計づくり  
その他 スタンプラリー



紙芝居の実演（案内・科学グループ）の様子



科学工作（案内・科学グループ）の様子



星座早見盤づくり（天文グループ）の様子



昔遊び（案内・科学グループ）

## <館事業サポート活動>

### ○サイエンスフェスティバル（ゴールデンウイーク）

案内・科学グループ  
☆開催日 令和6年5月5日(日・祝)  
☆メニュー 紙製のこいのぼりを作る

### ○サイエンスフェスティバル（夏期）

案内・科学グループ

☆開催日 令和6年7月14日(日)

☆メニュー キラキラシャボン玉

## ○鉄道フェスティバル

案内・科学グループ

☆開催期間 令和6年10月12日(土)～14日(月・祝)

☆メニュー 鉄道ジオラマ解説、鉄道写真等展示・解説

## <科学館の事業における天体観望会等>

### ○駅前観望会

☆開催回数 4回

☆開催場所 郡山駅西口駅前広場

☆内 容 郡山駅前での天体望遠鏡による天体観望及び講座への協力

### ○星の宅配便

☆開催回数 5回

☆開催場所 市内公民館

☆内 容 市内各地での天体望遠鏡による天体観望及び講座への協力

### ○天体観望会

☆開催回数 2回

☆開催場所 郡山石筵ふれあい牧場、大安場史跡公園

☆内 容 市内外各施設での天体望遠鏡による天体観望及び講座への協力

## <令和6年度総会>

令和6年度活動報告、役員選出案、令和7年度活動計画案を審議し、また、会員の活動表彰(一定の活動時間を達成した会員に贈る)を行った。

今年度は、4人が受賞した。

☆開催日時 令和7年3月16日(日) 13時30分～15時

☆開催場所 多目的研修室

## <講演会>

☆開催日 令和7年3月16日(日)

☆開催場所 多目的研修室

☆講師 郡山市政策開発課職員

☆演題 「郡山市のまちづくり～郡山市のまちづくりについて～」

## <S.P.V広報活動>

科学館のウェブサイトに掲載している、S.P.Vの活動紹介ウェブサイト更新及び広報誌「S.P.Vつうしん」を年3回発行した。

S.P.Vつうしん第73号

S.P.Vつうしん第74号

S.P.Vつうしん第75号

### (3) 郡山市制施行 100 周年記念無料開放

市制施行100周年を記念して、気軽に科学に触れる機会の提供と市民への科学に関する知識と教養の向上を図るため、無料開放を実施した。

☆開催日 令和6年9月1日(日)

☆開催場所 宇宙劇場・展示ゾーン

☆來館者 1,473人

### III 令和6年度広報・営業活動

#### 1 広報PR活動

##### (1) 広報戦略活動

科学館の事業・運営内容を、市民及び県民に告知するため、広報戦略活動を展開した。

###### プログラムガイド

宇宙劇場の番組案内やイベント情報などを掲載したチラシを作成し、年5回発行した。

☆構成 A4カラー2ページ

☆発行総数 375,000部

###### 学校・団体利用の手引き

小中学校などの団体が、授業の一環として科学館を利用する際に学年や目的に応じて有効に活用できるよう、利用方法等をまとめたウェブ版を作成して、学校団体利用の促進を図った。

###### ウェブサイト

季節ごとの星空紹介や科学館のイベントなど、宇宙や科学に関する様々な情報を発信した。

☆更新回数 209回

☆参照回数 336,475回

###### 看板等の設置

ビッグアイ入口への看板設置や、ペデストリアンデッキへのフラッグバナーの掲示などを行った。

##### (2) 広報紙の配布

広報紙を県内各地に配布した。

広報紙送付先	
幼稚園・保育所	市内(95)
小学校	市内(54)、市外(166)
中学校	市内(28)
公民館	市内(39)
関係機関・道の駅など	市内(49)、市外(59)、県外(21)

## 2 営業活動

民間事業者への営業訪問を実施した。

営業訪問先	
ホテル・観光業者・商店など	ホテル(19)、観光業者(4)、商店(8)、病院(4)、 その他(18)

## IV 令和7年度事業活動計画

### 1 宇宙劇場運営

#### (1) プラネタリウム番組投映

様々な年代や利用目的に合ったプラネタリウム番組の制作や各種映像等の収集を行い、宇宙劇場において、天文や宇宙などに関する番組を日常的に投映する。

＜番組投映開始時刻＞ ※投映時間は約45分

曜日/回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
平 日	10時15分	11時30分	14時	15時30分		19時(※)
土曜・日曜・祝日	11時	12時30分	14時	15時30分	17時	19時(※)

※金曜日のみ投映

※夏期間及び冬期間は別途番組開始時刻を定め実施

※10時15分の回は団体利用がある場合のみ投映

#### 一般番組

子どもから大人までの幅広い年代層の方が、季節の星空を楽しみ、天文や宇宙開発、地球環境などの様々な事柄を知ることのできるプラネタリウム番組を2ヶ月ごとに更新して投映する。

投映時間：平日の第3回及び土曜・日曜・祝日の第2・4回、団体利用がない平日の第1・2回（学校休業期間は時季により異なる。）

番組タイトル	投映期間
フリートーク・プラネタリウム	令和7年4月1日(火)～30日(水)
太陽とオーロラ	令和7年5月1日(木)～6月29日(日)
ギャラクシー・クルーズ－銀河の旅－	令和7年7月1日(火)～8月31日(日)
環のない土星？	令和7年9月2日(火)～10月31日(金)
流れ星のひみつ	令和7年11月1日(土)～12月30日(火)
宇宙から見た地球	令和8年1月3日(土)～2月28日(土)
ビッグバン	令和8年3月1日(日)～31日(火)

#### 学習番組

##### ※番組の選択は先着順

小学校や中学校などの学校団体を対象に、理科や総合的な学習の時間など、学習の目

的に合った番組を選択し、観覧することができるプラネタリウム番組を投映する。

#### 投映時間：学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回

番組タイトル（対象）	投映期間
星座を見つけよう（小学校低学年以上）	小中学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日（第1・2回）
日なたと日かけ（小学校中学年以上）	
月と星の動き（小学校中学年以上）	
月と太陽（小学校高学年以上）	
地球と宇宙（中学生向け）	
宇宙のお話（中学生以上）	

#### 幼児番組

##### ※学習番組枠で希望により投映（幼児週間以外）

幼稚園や保育所などの団体を対象に、星座にまつわる神話などを交えた、小さな子どもが星空に対して興味をもてるプラネタリウム番組を投映する。

#### 投映時間：学校の長期休業期間及びゴールデンウィーク期間を除く平日の第1・2回

番組タイトル	投映期間
おたんじょうびのせいざ	令和7年4月～5月
あまのがわをみよう！～にほんのたなばた～	令和7年6月～7月
おつきさまとながればし	令和7年8月～11月
ふゆのほしものがたり	令和7年12月～令和8年3月

#### キッズアワー

季節の星空紹介と星座神話・宇宙探検のミニ番組を組み合わせ子どもと大人と一緒に楽しめるように、やさしい解説を加えたプラネタリウム番組を投映する。

#### 投映時間：土曜・日曜・祝日の第1・3回、学校長期休業期間（時季により投映回は異なる。）

番組タイトル	投映期間
おたんじょうびのせいざ	令和7年4月1日(火)～5月31日(土)

おりひめぼし・ひこぼし	令和7年6月1日(日)～7月31日(木)
宇宙ミステリーツアー 2025	令和7年8月1日(金)～9月28日(日)
秋の星めぐり	令和7年10月4日(土)～11月30日(日)
うちゅうひこうしになろう！	令和7年12月6日(土)～令和8年1月31日(土)
ほしのせかいりょこう	令和8年2月1日(日)～3月31日(火)

### ヒーリングアワー（星と音楽のひととき）

様々なジャンルの音楽（CD）を聴きながら、ゆったりと星空を楽しむリラクゼーション番組を投映する。

☆開催時間 平日（祝日・学校休業期間等を除く。） 15時30分～16時15分、  
土曜・日曜・祝日・学校休業期間等 17時～17時45分、毎週金曜日  
19時～19時45分

☆観覧券 当日発売

☆観覧料 通常の宇宙劇場と同様

☆定員 各回220人

### エンターテインメント映像番組

全天ビデオシステムによる全天ドーム映像や星空紹介を加えた娛樂性の高い番組を春休みや夏休み期間、秋及び冬の期間に投映する。

**投映時間：4/1～6の第4回、4/26～5/6の土曜・日曜・祝日の第1・4回、  
7/19～8/24の第1・3・5回、12/6～1/12の土曜・日曜・祝日・  
学校休業期間の第1・4回、2/21～3/31の平日の第5回、土曜・日曜・  
祝日・学校休業期間の第4回**

番組タイトル	投映期間
水の惑星 一星の旅シリーズ	令和7年4月1日(火)～6日(日)
それいけ！アンパンマン 星空をかえせ	令和7年4月26日(土)～5月6日(火・休)
それいけ！アンパンマン 星空をかえせ	令和7年7月19日(土)～8月24日(日)
アフリカンワンダーランド いのちがめぐる大草原	令和7年7月19日(土)～8月24日(日)
イナズマデリバリー バイザウェイの地球探査?! - オーロラとの遭遇 -	令和7年12月6日(土)～令和8年1月12日(月・祝)
ゴッホの描いた星空	令和8年2月21日(土)～3月31日(火)

## ベビープラネタリウム

乳児とその保護者が、周囲に気兼ねなく利用できる番組を提供する。

番組タイトル	投映日
たのしいほしさがし	令和7年5月8日(木)
うちゅうへGO!	令和7年9月4日(木)
ハロウインのよる	令和7年10月23日(木)
クリスマスとほしざら	令和7年12月18日(木)
カラフルなほしたち	令和8年2月19日(木)

## いきいきプラネタリウム教室

高齢者が天文を楽しく学ぶことができる番組を提供する。

番組タイトル	投映日
今夜の星空と南半球の星空	令和7年5月29日(木)
今夜の星空と伝統的七夕	令和7年8月28日(木)
今夜の星空と天界 2026	令和7年11月27日(木)
今夜の星空と3月3日の皆既月食	令和8年2月26日(木)

## イブニングアワー

大人の利用促進及び中心市街地に立地するメリットを活かし、宇宙劇場の夜間開館を行い、番組内容も大人向けや時季、話題の天文現象に応じた番組を提供する。

☆内 容 年中行事や特定のテーマを集中的に解説する。

☆定 員 各回 220 人

このほか利用者に応じた番組投映として、字幕つきプラネタリウム・英語版プラネタリウム等の投映を、時機をみて実施することがある。

## 宇宙劇場イベントデー

一般に星空への関心が高まる七夕、十五夜にあわせ、宇宙劇場番組をイベントに特化した内容で投映する。

### <七タスペシャル>

☆開催日 令和7年7月5日(土)・6日(日)

### <中秋の名月スペシャル>

☆開催日 令和7年10月4日(土)・5日(日)

## プラネタリウムコンサート

宇宙劇場の機能を効果的に活用した生演奏の星空コンサートを開催する。

### <和楽器の鼓動～七夕の星～>

- ☆開催日時 令和7年8月30日(土) ①11時～12時 ②14時～15時
- ☆出 演 者 和太鼓グループ彩-sai-～和楽器特別編成～
- ☆観 覧 料 通常の宇宙劇場と同様
- ☆定 員 各回220人

### <増田太郎プラネタリウムコンサート～ヴァイオリンで紡ぐ星空のメッセージ～>

- ☆開催日時 令和8年2月15日(日) ①11時～12時 ②14時～15時
- ☆出 演 者 増田太郎(作編曲家・ヴァイオリニスト)
- ☆観 覧 料 通常の宇宙劇場と同様
- ☆定 員 各回220人

## プラネタリウム100周年イベント

プラネタリウム100周年を記念し、当館でも全国の施設と連携した事業、館独自の特色ある事業を実施する。

### <バックヤードツアー>

- ☆開催日時 令和7年5月予定
- ☆内 容 普段見ることのできないプラネタリウム機器の仕組みや舞台裏を紹介する。

### <プラネタリウム100周年フィナーレイベント>

- ☆開催日時 令和7年5月24日(土)18時30分～19時50分
- ☆内 容 プラネタリウム100周年フィナーレを迎えるにあたって、全国のプラネタリウムとオンラインで結んでのイベントを開催する。
- ☆定 員 220人

## 郡山市紹介オリジナルドーム映像コンテンツ制作

100年を迎える郡山市の歴史と現在を紹介するフルドーム映像作品を制作し、一般および市内学校団体の社会科や総合的な学習に活用する。

- ☆制作期間 令和6年度～令和7年度

## 星空観察推進事業

科学館オリジナル星座早見盤を活用し、より来館者が実際の星空を見上げ、親しむことのできる企画を行う。希望者には有料での販売も行うことで、天体観察グッズである星座早見盤を購入しやすい環境を整備する。

## 2 展示ゾーン運営

### (1) 体験型展示物の運転

ムーンジャンプ、トリプルスピiningにスタッフを配置し、これらの体験型展示物を運転し来館者の利用に供する。

### (2) 常設展示物の活用

#### 展示物活用

常設展示物の解説シートの配布や、展示解説の充実を図るため、連携機関からの借用物の展示を行い、有効活用を図る。

#### <展示解説>

館内に、展示物に精通した職員を配置し、来館者の案内、質問等に対応する。

#### <展示解説シート>

展示物について、より詳しく知りたい人向けにお持ち帰り用解説シートを制作、配布する。

#### <たんけんシート>

質問の答えを探してシートに書き込みながら展示物を見学することにより、展示ゾーンの主なポイントを巡ることができるワークシートを設置する。

☆開催日 随時

☆開催場所 展示ゾーン

☆対象 展示ゾーン入館者

### (3) サイエンスステージ

びっくり実験ラボや実験工房等を活用した、科学実験メニューを実施する。

#### サイエンスステージ①

来館者の科学に関する興味を喚起するため、身近なものや大掛かりな装置などを使った科学実験を実施する。(約 20 分間)

☆開催時間 平日 10 時 30 分～(団体利用がある場合のみ実施)、13 時～  
土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 10 時 30 分～、13 時～

☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ

☆対象 展示ゾーン入館者

☆定員 30 人程度

☆内容 振り子のひみつ、びっくり！超低温の世界、燃える科学など

#### サイエンスステージ②

科学の幅広い分野を楽しみながら、体験できる実験工作を開催する。(約 20 分間)

☆開催時間 平日 11 時 30 分～、15 時～

日曜 11 時 30 分～、16 時～  
土曜・祝日・学校長期休業期間 11 時 30 分～、14 時～、16 時～  
(サイエンスフェスティバル開催日等は除く。)  
☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ  
☆対 象 展示ゾーン入館者  
☆定 員 30 人程度  
☆内 容 小さな世界をのぞいてみよう、磁石のふしぎ など

### 3 展望ロビー利活用事業

#### (1) Nゲージ鉄道ジオラマ

##### **Nゲージ鉄道ジオラマ**

線路の幅が 9 mm の N ゲージ鉄道模型を使用し、明治の郡山、昭和初期の郡山、現代の郡山を再現し、郡山の発展の様子を紹介する。

##### <鉄道ジオラマショー>

☆開催時間 土・日・祝の① 11 時～ ② 15 時～ (約 20 分間)

##### <簡易シミュレーター>

☆開催時間 開館日の 10 時～ 17 時 30 分 (ショー開催時間以外)

##### <運転シミュレーター>

☆開催時間 開館日の 10 時～ 17 時 30 分

☆料 金 200 円 (約 5 分間)

##### <ウォールミュージアム>

☆開催時間 開館日の 10 時～ 17 時 30 分

##### <たんけん！鉄道ジオラマシート>

質問の答えを探して、シートに書き込みながら鉄道ジオラマを見学することにより、鉄道ジオラマの主なポイントを巡るワークシートを設置する。

☆開催時間 開館日の 10 時～ 17 時 30 分

##### <トレインガイド>

☆展示時間 隨時

#### (2) 展望ロビーパネル展

展示ゾーンにおいて、科学分野で話題性のあるテーマでパネル展示を開催する。

### (3) パブリックビューイング

日本人宇宙飛行士や日本の人工衛星・探査機打ち上げ、日本人宇宙飛行士の報告会、天文現象等が、開館時間中にJAXAや国立天文台等によりライブ配信される際、その映像をリアルタイムで公開する。

### (4) ロボットで遊ボット！

パイプロボットを使ったタイムアタック大会など、ロボットに親しむ催しを開催する。

### (5) みんなの展望ロビーイベント

展望ロビーの旧カフェスペースを活用し、当館の科学に関する事業だけでなく、市民のイベントや展示を目的とした活動に対する無料貸し出しや、市内の学習施設と連携事業を行う。

## 4 展示ゾーン利活用事業

### (1) 団体利用向け科学教室

#### サイエンス教室（団体向け）

学校や子ども会などの団体向けに、簡単な科学の実験や工作を体験する「ワークショップ」を開催する。

☆開催日 平日の午前・午後に1回ずつ

☆開催場所 多目的研修室又は実験工房

☆対象 幼稚園・小学校・中学校、団体等

☆内容 ワークショップ（ぐにゅっとスライム、ビー玉顕微鏡、乾電池チェックカード等 25種類）

#### サイエンススクール（団体向け）

各学年の授業の学習内容に直結した実験、さらには発展的な実験も取り入れ、子どもたちの知識の定着、そして、心に残るダイナミックな実験を行う。

サイエンススクールの、3つの特徴

①新学習指導要領に対応し、各学年の内容に応じた実験メニュー

②科学館だからこそできるダイナミックな実験

③専門スタッフが生解説、確かな知識の定着に結びつく実験

☆開催日 平日の午前・午後に1回ずつ（ゴールデンウイーク及び学校の長期休業期間等を除く。）

☆開催場所 多目的研修室

☆対象 小学生・幼稚園年長

☆定員 50人程度（相談により決定します。2回に分けての実施も可能）

☆内容 1・2年 ドレミの音で大実験（20分）、風船で大実験（20分）

- 3 年 磁石の性質 (30 分)
- 4 年 空気 (水) の性質 (30 分)
- 5 年 振り子の運動 (30 分)
- 6 年 燃焼のしくみ (30 分)

### 3D天文シミュレーション（団体向け）

学校等の団体向けに、3D天文シミュレーションシステム「Mitaka 3D」を用いて、立体視で宇宙の姿を紹介する実演を行う。

- ☆開催日 平日の午前・午後に1回ずつ（ゴールデンウイーク及び学校の長期休業期間等を除く。）
- ☆開催場所 多目的研修室
- ☆対象 小中高校等の学校
- ☆定員 1回 30人程度
- ☆内容 立体視により地球から宇宙の果ての姿までを紹介する実演。

### (2) エンターテインメント企画展

#### スペースパーク企画展「駅前忍者ゼミナール～わんぱく忍者修行、こおりやまの陣～」

夏休み学校長期休業期間の目玉のイベントとなるエンターテインメント企画展を開催する。

- ☆開催日時 令和7年7月19日(土)～8月24日(日) 10時～17時
- ☆開催場所 展示ゾーン 多目的研修室(20階)
- ☆対象 展示ゾーン入館者
- ☆展示内容 忍者になりきる体験型修行アトラクション

#### 冬休みスペースパーク企画展「宇宙からのおとしもの」

冬休み学校長期休業期間の目玉のイベントとなるエンターテインメント企画展を開催する。

- ☆開催日時 令和7年12月6日(土)～令和8年1月12日(月・祝) 10時～17時
- ☆開催場所 展示ゾーン 多目的研修室(20階)
- ☆対象 展示ゾーン入館者
- ☆展示内容 人類と宇宙に関わりのある実物資料を展示する。

#### スペースパーク企画展「ロボットフェスティバル」

ロボット製作等に取り組んでいる近隣の実業高等学校等と連携してロボットの展示を行い、来館者にロボット工学の世界に触れていただく。

- ☆開催日時 令和8年3月21日(土)・22日(日) 10時～17時
- ☆開催場所 展示ゾーン 多目的研修室(20階)
- ☆対象 展示ゾーン入館者

☆内 容 ロボット展示、操作体験  
大会やコンテストに出場したロボット等の展示や操作体験を行う。  
ロボット工作  
簡単なロボットの工作が体験できるワークショップを行う。

### 鉄道の日「鉄道フェスティバル」

10月14日の「鉄道の日」にちなみ、スペースパークボランティアの会やJR東日本郡山駅などの協力のもと、全国最大級の規模を誇るNゲージ鉄道ジオラマや鉄道関連資料を活用したフェスティバルを開催する。

☆開催期間 令和7年10月11日(土)～13日(月・祝)  
☆開催場所 展望ロビー、展示ゾーン 多目的研修室(20階)  
☆対 象 一般来館者、展示ゾーン入館者  
☆内 容 鉄道関連資料・写真展示、Nゲージ鉄道車両操作体験、プラレールコーナーなど

### (3) 学校長期休業期間の特別事業

#### サイエンスフェスティバル

展示ゾーンの入館者を対象に、簡単な科学実験や工作を屋台形式で体験できる科学工作教室を開催する。

☆開催期間 ①ゴールデンウイーク期間:令和7年4月26日(土)・27日(日)・29日(火・祝)、5月3日(土)～6日(火・休)  
②夏季期間:令和7年7月19日(土)～21日(月・祝)  
☆開催場所 展示ゾーン  
☆対 象 展示ゾーン入館者  
☆講 師 科学館支援グループ、小中学校・高等学校の教員及び児童生徒、大学の教員及び学生、スペースパークボランティアの会、市内外の他機関職員、科学館職員など  
☆内 容 電気で作ろうホットケーキ、ぶんぶんゴマの作成、ホバークラフトほか

#### 夏休み科学実験・工作コーナー

夏休み期間中、科学を楽しむことができる実験・工作コーナーを開催する。

☆開催期間 令和7年7月22日(火)～8月24日(日)  
☆開催場所 展示ゾーン  
☆対 象 展示ゾーン入館者  
☆内 容 分身する忍者、忍者の壁のぼり、ミニ手裏剣ほか

### (4) 3D天文シミュレーション

3D天文シミュレーションシステム「Mitaka 3D」を用いて、立体視で宇宙の姿を紹介する実演を行う。

☆開催時間 土曜・日曜・祝日・学校長期休業期間 15時～  
☆開催場所 展示ゾーン びっくり実験ラボ  
☆対象 展示ゾーン入館者  
☆定員 30人程度  
☆内容 立体視により地球から宇宙の果ての姿までを紹介する実演。

#### (5) デジタル工房

展示ゾーンへの入館者を対象に、パソコンやデジタルカメラを使用して工作等を作成する教室を開催する。(約50分間)

☆開催時間 日曜日 14時～ ※イベント開催日は除く。  
☆開催場所 展示ゾーン パソコン工房(20階)  
☆対象 展示ゾーン入館者  
☆定員 16人程度  
☆内容 バッジ作り、うちわ作り、カレンダー作りなど

#### (6) 小中学生・高校生のための科学技術へのいざない

新潟大学工学部と連携し、新潟大学工学部で研究している最新科学の紹介や簡単な科学実験・工作を行う。

☆開催日時 令和7年10月25日(土)・26日(日)11時～16時  
☆開催場所 展示ゾーン  
☆対象 展示ゾーン入館者

#### (7) キッズルーム

未就学児を主な対象とした体験イベントを開催する。

☆開催日時 令和8年3月7日(土)・8日(日) 10時～17時  
☆開催場所 展示ゾーン 多目的研修室(20階)等  
☆対象 展示ゾーン入館者

### 5 展望ロビーイベント装飾事業

#### (1) 展望ロビーイルミネーション

地上高96mの幻想的な夜景とシンボルオブジェ「プライマル」のクリスタルな輝きと共に楽しんでいただけるよう、季節に合わせたイルミネーションを設置する

##### ハロウィン

☆開催日時 令和7年10月18日(土)～10月31日(金) 日没～20時

##### クリスマス

☆開催日時 令和7年12月5日(金)～25日(木) 日没～20時

## ウインターイルミネーション

☆開催日時 令和7年12月26日(金)～令和8年1月上旬 日没～20時

### (2) 展望ロビーシーズンディスプレイ

#### 七夕飾り

☆開催期間 令和7年6月6日(金)～8月

#### 正月飾り

☆開催期間 令和8年1月2日(金)～1月7日(水)

## 6 教育普及活動

### (1) 観望会

#### 駅前観望会

駅前において、天体望遠鏡などを使用し、少しの時間で気軽に参加でき、宇宙への興味関心を高める自由参加形式の天体観望会を開催する。

☆開催場所 郡山駅西口駅前広場

☆対象 一般(当日自由参加)

#### 天体観望会

#### <土星観望会>

☆開催日時 令和7年11月29日(土) 17時～19時

☆開催場所 郡山駅西口駅前広場

☆内容 11月25日ごろに土星の環がほぼ見えなくなることに合わせ、土星を観察する観望会を開催する。

### (2) アウトリーチ活動

#### 星の宅配便

科学館職員と天文ボランティアが天体望遠鏡を持参して市内の各地区に出向き、星空の観察などを行う観望会を、市内公民館との共催により開催する。

☆開催時期 令和7年7月～11月

☆開催回数 5回(予定)

☆開催場所 中央公民館を通じて、各公民館と協議のうえ決定

☆定員 各50人程度(各公民館で募集)

#### 科学の宅配便

市内各地に出向き、科学館で行っている実験工作を実施する出前講座を開催する。

☆開催時期 平日13時以降(各月申込み月日で調整する。2～3団体程度)

(ゴールデンウイーク、学校休業期間等を除く。)

☆開催場所 市内小学校・幼稚園及び地域公民館など

☆対象者数 20人以上150人程度の団体（要相談）

☆内 容 団体向け科学工作メニュー（25種類）の中から1つを選ぶ。

### 高校天文部支援事業

市内を中心とした各高校の天文部等との交流を深め、天文に関する知識や技術面からクラブ活動を支援する。

☆開催時期 令和7年6月～12月を予定

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場など

## (3) クラブ活動

### 天文クラブ

宇宙劇場（プラネタリウム）や天体望遠鏡等を使用して、天文学の基礎知識を学習することにより宇宙への興味・関心を喚起するクラブを開催する。

☆開催時間 土曜日 9時45分～11時45分を基本とする

☆開催場所 実験工房、宇宙劇場ほか

☆開催回数 5回（令和7年6月～令和7年11月）

☆対 象 小学3年生～6年生

☆募集人数 16人

### 科学クラブ

実験・観察・工作を一人一人体験することで、自然に対するものの見方や考え方を養い、様々な科学分野への興味を喚起するクラブを開催する。

☆開催時間 土曜日 9時45分～11時45分

☆開催場所 多目的研修室、実験工房

☆開催回数 5回（令和7年6月～令和8年2月）

☆対 象 小学3年生～6年生

☆募集人数 16人

## (4) 職場体験

### 博物館実習プログラム

学芸員の資格取得を目指す学生を実習生として受け入れ、科学館における活動を通して、学芸員の資質を養うための研修を開催する。

☆開催期間 令和7年9月3日（水）～10日（水） ※8日（月）の休館日を除く7日間

### インターンシップ（就業体験）受入れ

学校又は学生の求めに応じ、インターンシップ（就業体験）や中学生等の職場体験学習生を受け入れ、自己の職業適性や職業生活設計など職業選択について考える契機とな

り、就労意欲の向上に繋がるよう研修を開催する。

### (5) 学校向け巡回展

ホワイエ企画展で使用したパネル等を、市内の小中学校に貸出し、宇宙の不思議などを身近に触れることができる巡回展を行う。

☆開催期間 令和7年5月～令和8年2月（学校長期休業期間を除く。）

☆対象 市内小中学校

### (6) 講師派遣

#### 講師派遣

各種機関等との連携事業として依頼により当館職員を講師として派遣し講座を開催する。

☆開催期間 通年

### (7) 学習支援

#### 天体望遠鏡貸出

市内地域の指導的な人を対象に天体望遠鏡の貸し出しを行う。

☆実施期間 令和7年4月～令和8年3月

#### 科学館支援グループ

小・中・高等学校及び大学の先生で構成するグループに、ゴールデンウイークや夏休みに開催するサイエンスフェスティバルへ出展して科学館の運営をサポートいただく。

## 7 講演会事業

### (1) 星の講演会

天文や宇宙開発などに関わる機関等と連携し、宇宙や科学に関する興味関心を高めることのできる講演会を、専門の講師を招き開催する。

#### 第42回星の講演会「X線とガンマ線で宇宙をのぞく・生命をのぞく」

☆開催日時 令和7年12月13日（土）16時～17時30分

☆開催場所 宇宙劇場

☆定員 220人

### (2) 天文力レッジ

探求層である高校生以上の大人を対象に、天文学の話題や天体観察の手法を学習する講座を開催する。

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆開催回数 4～6回程度

☆対象 一般（高校生以上）

☆募集人数 30人

## 8 他団体連携事業

### (1) 国立天文台との連携による天文講演会

渡部潤一名誉館長による講演会を開催する。

#### 渡部潤一名誉館長講演会「幻の流星群を追って」

☆開催日時 令和8年2月7日(土) 16時～17時30分

☆開催場所 宇宙劇場

☆定 員 220人

### (2) 星空案内人資格認定講座

特定非営利活動法人星のソムリエ機構と連携し、豊かな知識と経験からおいしいワインを選んでくれるソムリエのように、星空や宇宙の楽しみ方を教えてくれる「星のソムリエ®：星空案内人」を養成する。

☆開催場所 多目的研修室、宇宙劇場

☆開催回数 20回(通年)

☆対 象 一般(高校生以上)

### (3) 科学ゼミナール

県内の類似施設、研究機関と連携し共同で講演会やワークショップを開催する。

☆概 要 県内外の大学・研究機関等から講師を招いて講座を開催する。

☆開催回数 2回程度

☆連携先 福島大学、日本大学など

### (4) 企業との連携事業

市内外の企業等と連携し共同で講演会やワークショップを開催する。

☆概 要 市内外の企業等から講師を招いて講座を開催する。

☆開催回数 1回程度

☆連携先 曽田香料株式会社など

### (5) 天文宇宙検定

(一社)天文宇宙教育振興協会と連携して天文宇宙検定を実施する。

☆開催場所 多目的研修室

☆開催回数 1回

## 9 宇宙や科学に関する情報発信事業

### (1) 企画パネル展

#### ホワイエ企画展

宇宙劇場ホワイエにおいて、投映する番組に合わせた写真やデータなどのパネル展示

を開催する。

テーマ	展示期間
星の進化をたどる	令和7年4月1日(火)～20日(日)
ふくしま星・月の風景写真展	令和7年4月26日(土)～6月29日(日)
日本星景写真協会写真展 星の風景 2025	令和7年7月5日(土)～9月28日(日)
野辺山天文台展～ウラ側まで徹底大公開!～	令和7年10月4日(土)～12月21日(日)
太陽からのめぐみ	令和7年12月27日(土)～令和8年3月15日(日)

#### 展示ゾーンパネル展

展示ゾーンにおいて、科学分野で話題性のあるテーマでパネル展示を開催する。

#### (2) SNS 等による情報発信（#おうちでスペパ）

Facebook や LINE によるイベントや番組の情報発信を行う。また、Instagram や YouTube による実験・工作や天文・宇宙に関する情報発信「#おうちでスペパ」を行う。

#### (3) 学術発表

学術会議や協議会等が開催する研究発表会や研修会等に参加し、発表を行う。

#### (4) 出版

##### 科学館ニュース「ほしのうみ」の発行

天文トピックス、科学実験アラカルトの情報を掲載した季刊誌「ほしのうみ」を作成し、ウェブサイトで公開する

##### 年報の発行

1年間の活動記録をまとめた年報を作成し、ウェブサイトで公開。

## 10 パブリシティ活動事業

#### メディアの活用

##### 郡山市への投げ込み

郡山市を通じて、各報道機関への投げ込みを行い科学館の事業・運営内容を市民及び県民へ告知することにより集客の増加を図る。

##### テレビ・YouTube 広告

テレビ・YouTube 広告を使用し、科学館の事業・運営内容を市民及び県民へ告知することにより集客の増加を図る。

## 新聞広告

新聞等を使用し、科学館の事業・運営内容を市民及び県民へ告知することにより集客の増加を図る。

## 広報誌及び雑誌等への掲載、テレビ取材

市の広報紙「広報こおりやま」や「ラジオ市政広報」をはじめ、教育委員会や各課で発行する印刷物等へ科学館の案内を掲載する。

その他、タウン誌や旅行雑誌からの依頼等により、科学館の案内や情報を積極的に提供し、科学館のP Rに努める。

## 11 作品募集

### ふくしま星・月の風景フォトコンテスト

福島県で撮影された星・月の風景写真を募集し、審査を経て展示を行うことにより、多くの自然が残されている福島県と星・月を関連付けて、広く県外に紹介するとともに、多くの県民に星空に目を向けてもらうことを目的とし、その普及を図る。

同時に、これまでのコンテストの巡回展示を行うことで、広く全国への情報発信を図る。

#### <「ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」巡回写真展>

☆開催時期 通年

☆開催場所 県内各地のギャラリー、全国の科学館等 3か所程度

## 12 調査・研究

最新の宇宙や科学に関する情報を収集し、調査研究する。

全国科学博物館協議会、日本プラネタリウム協議会などが主催する研究発表会等及び公益社団法人日本天文学会などが主催する学術会議に出席し、情報の収集・調査・研究を行う。

また、先進館の事業の運営方法を調査・研究し、郡山市ふれあい科学館の事業の運営方法を改善する。

## 13 その他

### (1) 運営協力

#### 郡山市少年少女発明クラブ

一般社団法人発明協会福島県支部と共に「郡山市少年少女発明クラブ」を運営する。外部講師を招き、発明の楽しさを体験するクラブを開催する。

☆活動時期 令和7年5月～令和8年2月 毎月1回日曜日（年10回）10時～12時

## 日本宇宙少年団こおりやま分団

宇宙及び科学への探求心と向上心を促し、青少年の健全な育成に寄与するなどの目的で設立されて活動を続けている日本宇宙少年団こおりやま分団の活動をサポートする。

- ☆サポート 分団活動を共催し、職員を派遣
- 分団活動の発表の場の提供等

## ふくしまサイエンスぷらっとフォーム

福島大学を中心に県内の公設研究機関や企業と科学館・博物館などが連携し、科学普及を目的とする団体「ふくしまサイエンスぷらっとフォーム」に加盟して、サイエンスフェスティバルなどで協力いただくとともに、他機関のイベントに参加し科学普及を行う。

- ☆開催期間 通年

## (2) ボランティア活動の推進

### <スペースパークボランティアの会会員募集>

当館の設置目的の一つである生涯学習活動の促進のため、ボランティアを広く市内外から募集し、活動の充実を図る。

#### —活動開始までの流れ—

登録前オリエンテーション ⇒ 一般研修 ⇒ 専門研修 ⇒ 活動開始

### <スペースパークボランティアの会活動計画>

#### 「案内・科学グループ」

##### (案内)

- ☆継続活動内容 来館者への景色や歴史などの説明、紙芝居の実演
- ☆発展活動内容 ボランティアガイドコーナーの設置及び景色・歴史ガイド  
高齢者・身障者の観覧補助  
出張活動の実施

##### (科学)

- ☆継続活動内容 実験・工作教室などの指導及び説明、実験展示物使用方法案内及び説明  
サイエンスフェスティバルへの参加
- ☆発展活動内容 実験・工作教室のオリジナルメニューの充実  
出張活動の実施

#### 「天文グループ」

- ☆継続活動内容 天体観望会での案内及び望遠鏡操作補助
- ☆発展活動内容 観望会などの自主開催

※スペースパークボランティアの会全体で、「スペースパークボランティアまつり」を実施する。

### 「運営部会」

- ☆総務部 組織力の安定及び強化を目指し、役員会や各運営部会の定期開催を行う。
- ☆企画部 会の親睦交流及び自己研鑽を目指し研修を行う。
- ☆広報部 ボランティアの会活動周知のための情報発信を行う。

## V 令和7年度広報・営業活動

### 1 広報PR活動

#### (1) 広報戦略活動

科学館の事業・運営内容を、市民及び県民に告知するため、広報戦略活動を展開する。

##### プログラムガイド

宇宙劇場の番組案内やイベント情報などを掲載したチラシを作成し、年5回発行する。

☆構成：A4カラー2ページ

☆発行総数：375,000部

##### 学校・団体利用の手引き

小中学校などの団体が、授業の一環として科学館を利用する際に学年や目的に応じて有効に活用できるよう、利用方法等をまとめたウェブ版を作成して、学校団体利用の促進を図る。

##### ウェブサイト

季節ごとの星空紹介や科学館のイベントなど、宇宙や科学に関する様々な情報を発信する。

##### 年報の発行

1年間の活動記録をまとめた年報を作成し、ウェブサイトで公開する。

##### 看板等の設置

ビッグアイ入口などへの看板設置の掲示を行う。

#### (2) 広報紙の配布

広報紙を県内各地に配布する。

### 2 営業活動

民間事業者を中心に科学館の施設及び事業内容を紹介するための、営業活動を展開する。

## VI 予算・決算

### 1 令和6年度決算

#### 収入

科 目	金 額	説 明
基本財産利息収入	0	
指定管理料収入	267,901,000	郡山市ふれあい科学館指定管理料収入
施設利用料金収入	29,500,120	観覧料、ビュースコープ及び鉄道ジオラマ運転装置利用料
負担金収入	0	
販売収入	119,840	「ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」作品写真集販売収入
販売手数料収入	10,300	カプセル玩具販売手数料
雑収入	67,915	天文宇宙検定謝金
雑収入	668,499	雇用保険料個人負担分
合 計	298,267,674	

**収入合計 ￥298,267,674**

#### 支出

#### 事業費(科学館施設管理)

科 目	金 額	説 明
給料手当	86,619,700	1 職員費 128,813,475
福利厚生費	19,364,423	2 各種業務委託 71,837,208
臨時雇賃金	22,829,352	3 光熱水費 27,789,936
旅費交通費	256,180	4 施設管理費 27,622,909
通信運搬費	1,489,097	
消耗什器備品費	0	
消耗品費	1,427,798	
修繕費	1,255,899	
印刷製本費	2,687,850	
賃借料	5,854,721	
諸謝金	0	
手数料	91,506	
租税公課	13,091,891	
負担金支出	137,030	
委託費	71,837,208	
広告宣伝費	895,500	
燃料費	77,895	
光熱水料費	27,789,936	
損害保険料	267,380	
食糧費	0	
減価償却費	90,162	
合計	256,063,528	

#### 事業費(科学館事業)

科 目	金 額	説 明
旅費交通費	161,510	1 宇宙劇場運営
通信運搬費	0	2 展示ゾーン運営
消耗品費	3,470,979	3 展望ロビー利活用事業
印刷製本費	2,770,660	4 教育普及活動
賃借料	12,867,211	5 宇宙や科学に関する情報発信事業
諸謝金	127,700	6 その他
手数料	1,169	
租税公課	16,200	
負担金支出	0	
委託費	19,866,569	
広告宣伝費	198,000	
損害保険料	38,850	
食糧費	201,952	
合計	39,720,800	

**支出合計 ￥295,784,328**

**収支差額 ￥2,483,346**

## 参考

使用料名	金額	説明
ふれあい科学館観覧料	28,296,020	宇宙劇場 58,503 人 常設展示 66,476 人 ワンヤーパスポート 111 人
ふれあい科学館使用料	1,204,100	ビュースコープ利用回数 5,521 回 鉄道ジオラマ運転装置利用回数 3,260 回
合計	29,500,120	

## 2 令和7年度予算

### 収入

科目	金額	説明
基本財産利息収入	0	
指定管理料収入	267,986,000	郡山市ふれあい科学館指定管理料収入
施設利用料金収入	29,000,000	観覧料、ビュースコープ及び鉄道ジオラマ運転装置利用料
負担金収入	0	
販売収入	165,000	「ふくしま星・月の風景フォトコンテスト」作品写真集販売収入
雑収入	1,000	
雑収入	835,000	雇用保険料個人負担分
一般正味財産取り崩し収入	64,237,000	
合計	362,224,000	

**収入合計 ￥362,224,000**

### 支出

#### 事業費 (科学館施設管理)

科目	金額	説明
給料手当	101,089,000	1 職員費 166,277,000
福利厚生費	25,970,000	2 各種業務委託 76,393,000
臨時雇賃金	39,218,000	3 光熱水費 36,911,000
旅費交通費	509,000	4 施設管理費 36,294,000
通信運搬費	2,455,000	
消耗什器備品費	0	
消耗品費	2,938,000	
修繕費	1,740,000	
印刷製本費	2,226,000	
賃借料	6,915,000	
諸謝金	0	
手数料	440,000	
租税公課	17,221,000	
負担金支出	230,000	
委託費	76,393,000	
広告宣伝費	1,144,000	
燃料費	131,000	
光熱水料費	36,911,000	
損害保険料	319,000	
食糧費	26,000	
減価償却費	0	
合計	315,875,000	

#### 事業費 (科学館事業)

科目	金額	説明
臨時雇賃金	0	1 宇宙劇場運営
旅費交通費	266,000	2 展示ゾーン運営
通信運搬費	125,000	3 展望ロビー利活用事業
消耗品費	5,067,000	4 展示ゾーン利活用事業
印刷製本費	4,191,000	5 展望ロビーイベント装飾事業
賃借料	11,425,000	6 教育普及活動
諸謝金	256,000	7 講演会事業
手数料	313,000	8 他団体連携事業
租税公課	22,000	9 宇宙や科学に関する情報発信事業
負担金支出	0	10 パブリシティ活動事業
委託費	23,859,000	11 その他
広告宣伝費	270,000	
損害保険料	212,000	
食糧費	343,000	
合計	46,349,000	

**支出合計 ￥362,224,000**

## VII 施設利用状況

### 1 月別入館者数

令和6年4月～令和7年3月

(単位：人)

月	展望ロビー入場者数	宇宙劇場入館者数	展示ゾーン入館者数	科学館入館者数
令和6年4月	10,746	3,280	2,549	5,829
5月	12,484	3,796	3,747	7,543
6月	11,789	5,290	4,295	9,585
7月	22,004	8,890	12,281	21,171
8月	32,117	10,372	17,069	27,441
9月	13,316	5,324	4,954	10,278
10月	12,714	3,505	3,993	7,498
11月	10,484	2,939	2,373	5,312
12月	16,321	4,605	4,163	8,768
令和7年1月	12,151	3,521	3,687	7,208
2月	11,243	3,121	2,877	5,998
3月	15,523	3,860	4,488	8,348
合計	180,892	58,503	66,476	124,979

〈参考〉

(単位：人)

年 度	展望ロビー入場者数	宇宙劇場入館者数	展示ゾーン入館者数	科学館入館者数
平成 13 年度	361,887	67,640	68,698	136,338
平成 14 年度	347,141	89,952	86,734	176,686
平成 15 年度	305,314	79,136	78,487	157,623
平成 16 年度	278,734	67,620	68,413	136,033
平成 17 年度	257,694	69,388	63,546	132,934
平成 18 年度	251,195	66,122	69,059	135,181
平成 19 年度	267,202	71,209	75,619	146,828
平成 20 年度	251,876	71,607	73,131	144,738
平成 21 年度	246,237	74,607	72,371	146,978
平成 22 年度	241,634	72,704	73,194	145,898
平成 23 年度	235,383	56,689	89,070	145,759
平成 24 年度	230,669	74,525	67,179	141,704
平成 25 年度	212,469	65,424	59,366	124,790
平成 26 年度	203,763	64,244	55,076	119,320
平成 27 年度	216,594	67,287	63,361	130,648
平成 28 年度	240,887	77,040	85,184	162,224
平成 29 年度	238,440	76,355	80,533	156,888
平成 30 年度	212,021	64,823	69,918	134,741
令和元年度	194,968	56,328	68,875	125,203
令和 2 年度	98,078	29,230	22,327	51,557

令和3年度	117,301	33,111	30,607	63,718
令和4年度	162,517	49,919	49,595	99,514
令和5年度	166,428	51,612	57,159	108,771
令和6年度	180,892	58,503	66,476	124,979
合計	5,519,324	1,555,075	1,593,978	3,149,053

## 2 宇宙劇場区分別入館者数

(単位:人)

月	個 人						
	幼児	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	一般 (65歳以上)	その他	計
4月	235	748	161	1,580	296	222	3,242
5月	194	609	220	1,830	274	303	3,430
6月	305	553	146	1,448	185	351	2,988
7月	760	2,094	254	3,411	325	628	7,472
8月	939	2,810	563	4,419	565	656	9,952
9月	235	540	219	1,703	284	1,118	4,099
10月	212	500	160	1,452	270	319	2,913
11月	217	425	160	1,349	220	430	2,801
12月	423	890	240	2,094	260	434	4,341
1月	331	652	222	1,607	236	261	3,309
2月	235	386	196	1,543	205	315	2,880
3月	271	706	377	1,691	305	380	3,730
合計	4,357	10,913	2,918	24,127	3,425	5,417	51,157

(単位:人)

月	団 体						合 計
	幼児	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	一般 (65歳以上)	計	
4月	0	38	0	0	0	38	3,280
5月	27	110	3	60	166	366	3,796
6月	717	1,471	0	111	3	2,302	5,290
7月	671	553	0	194	0	1,418	8,890
8月	23	377	0	20	0	420	10,372
9月	133	1,040	0	52	0	1,225	5,324
10月	196	327	1	68	0	592	3,505
11月	0	84	0	31	23	138	2,939
12月	65	184	0	11	4	264	4,605
1月	148	21	0	9	34	212	3,521
2月	129	90	0	22	0	241	3,121
3月	9	87	0	32	2	130	3,860
合計	2,118	4,382	4	610	232	7,346	58,503

(単位:人)

月	幼児	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	一般 (65歳以上)	その他	計
4月	0	1	0	0	0	0	1
5月	1	1	0	0	1	5	8
6月	18	24	0	0	0	0	42
7月	21	6	0	0	0	9	36
8月	1	1	0	0	0	7	9
9月	3	19	0	0	0	3	25

10月	7	8	0	0	0	1	16
11月	0	0	0	0	1	4	5
12月	2	2	0	0	0	2	6
1月	3	1	0	0	1	0	5
2月	3	1	0	0	0	0	4
3月	0	0	0	0	0	3	3
合 計	59	64	0	0	3	34	160

### 3 展示ゾーン区分別入館者数

( 単位 : 人 )

月	個 人				
	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	その他	計
4月	741	103	1,098	569	2,511
5月	838	126	1,568	896	3,428
6月	650	86	1,173	1,047	2,956
7月	4,228	510	4,541	2,301	11,580
8月	5,897	1,018	6,826	3,048	16,789
9月	677	161	1,255	1,756	3,849
10月	822	84	1,480	1,187	3,573
11月	495	73	972	663	2,203
12月	1,043	88	1,723	1,154	4,008
1月	937	106	1,505	1,118	3,666
2月	538	117	1,255	877	2,787
3月	1,096	254	1,724	1,160	4,234
合 計	17,962	2,726	25,120	15,776	61,584

( 単位 : 人 )

月	団 体				合 計
	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	計	
4月	38	0	0	38	2,549
5月	281	0	38	319	3,747
6月	1,278	0	61	1,339	4,295
7月	521	36	144	701	12,281
8月	226	34	20	280	17,069
9月	1,055	0	50	1,105	4,954
10月	389	0	31	420	3,993
11月	164	0	6	170	2,373
12月	146	0	9	155	4,163
1月	21	0	0	21	3,687
2月	90	0	0	90	2,877
3月	233	0	21	254	4,488
合 計	4,442	70	380	4,892	66,476

( 単位 : 団体 )

月	幼児	小中学生	高校 大学生等	一般 (65歳未満)	その他	計
4月	0	1	0	0	0	1
5月	1	3	0	0	1	5
6月	0	22	0	0	1	23
7月	2	6	1	0	10	19

8月	0	1	1	0	6	8
9月	0	19	0	0	3	22
10月	0	10	0	0	1	11
11月	0	1	0	0	4	5
12月	0	1	0	0	2	3
1月	0	1	0	0	0	1
2月	0	1	0	0	0	1
3月	0	0	0	0	4	4
合 計	3	66	2	0	32	103

## 4 令和6年度施設利用状況の結果分析

### (1) 月別入館者

#### ☆有料ゾーン入館者数

○令和6年度：124,979人（前年度：108,771人）

○前年度比：約14.9%増（16,208人増）

#### ☆展望ロビー入館者数

○令和6年度：180,892人（前年度：166,428人）

○前年度比：約8.6%増（14,464人増）

#### ☆月別平均入館者数

○有料ゾーン：10,414人（前年度：9,064人）

○展望ロビー：15,074人（前年度：13,543人）

○展望ロビーから有料ゾーンへの入館率：約69%

（前年度比：約3.7%増 ※前年度：約65.3%）

#### ☆有料ゾーン月別入館者割合

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4.7%	6.0%	7.6%	17%	22%	8.2%	6%	4.3%	7%	5.8%	4.8%	6.6%

#### ☆有料ゾーン月別入館者前年度比

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
97.8%	89.8%	112.7%	135.9%	129.5%	111.2%	100.4%	93.7%	87.3%	135.3%	228.6%	94.7%

### (2) 施設別（宇宙劇場／展示ゾーン）入館者

#### ☆宇宙劇場入館者数（前年度：51,612人）

○令和6年度：58,503人 ○前年度比：約12.7%増

#### ☆展示ゾーン入館者数（前年度：57,159人）

○令和6年度：66,476人 ○前年度比：約16.3%増

### (3) 来館形態別（個人／団体）入館者

#### ☆個人利用者数（前年度：96,547人）

○令和6年度：112,741人 ○前年度比：約16%増

#### ☆団体利用者数（前年度：12,224人）

○令和6年度：12,238人 ○前年度比：0%

#### ☆来館形態比

○個 人：約90.1%（前年度：約88.8%）

○団 体：約9.9%（前年度：約11.2%）

### (4) 区別別（幼児／小・中学生／高校・大学生／一般）入館者

#### ☆宇宙劇場区別別入館者数（割合 ※総数：58,503人）

- 幼児：6,475 人（約 11.1%） 内訳＝個人：4,357 人 団体：2,118 人
- 小・中学生：15,295 人（約 26.1%） 内訳＝個人：10,913 人 団体：4,382 人
- 高校・大学生：2,922 人（約 5%） 内訳＝個人：2,918 人 団体：4 人
- 一般（65 歳未満）：24,737 人（約 42.3%） 内訳＝個人：24,127 人 団体：610 人
- 一般（65 歳以上）：3,657 人（約 6.3%） 内訳＝個人：3,425 人 団体：232 人
- その他（障がい者など）：5,417 人（約 9.2%）

☆展示ゾーン区分別入館者数（割合 ※総数：66,476 人）

- 小・中学生：22,404 人（約 33.7%） 内訳＝個人：17,962 人 団体：4,442 人
- 高校・大学生：2,796 人（約 4.2%） 内訳＝個人：2,726 人 団体：70 人
- 一般（65 歳未満）：25,500 人（約 38.4%） 内訳＝個人：25,120 人 団体：380 人
- その他（幼児、障がい者など）：15,776 人（約 23.7%）

有料ゾーン（宇宙劇場、展示ゾーン）の入館者を区分別に見た場合、例年どおり、個人利用では「一般（65 歳未満）」、団体利用では「小・中学生」の利用が最も多い結果となりました。

宇宙劇場と展示ゾーンの個人と団体を含めた全体では、「一般（65 歳未満）」が最も多く約 40.2%、次いで「小・中学生」約 30.2% と、昨年度と同様に「一般（65 歳未満）」が多い結果となりました。

## （5）総括

施設利用状況は、前年度に比べ入館者合計が 124,979 人で約 14.9% 増、宇宙劇場及び展示ゾーンの施設利用料金収入額合計が 29,500,120 円で約 22.8% 増、展望ロビーにおける施設利用料金が 1,240,100 円と前年度と比べ約 3.6% 減となりました。

入館者数、宇宙劇場・展示ゾーンの施設利用料金収入が増加したのは、前年度の 7 月 13 日から 8 月 25 日の期間、投映したドーム映像番組「ゲゲゲの鬼太郎 河童のテラフォーミング」、スペースパーク企画展「科学館 de キモダメシ」が好評につき、7・8 月の入場者が 36,753 人から 11,859 人増に、また、宇宙劇場は令和 5 年度の 1・2 月は改修に伴い休館となりましたが、前年度は通常通り開館したため 7,948 人から 5,258 人増となったことが大きな要因と考えられます。

これからも、市民の皆様のニーズを捉えるべく広く情報収集を行いながら、事業の実施、内容の充実を図り、市民の皆様に安全・安心して楽しんでいただける館運営に努めていきたいと考えております。

## Ⅷ その他

### 1 条例・規則

#### (1) 条例

##### ○郡山市ふれあい科学館条例

平成 13 年 3 月 23 日  
郡山市条例第 33 号

##### (設置)

第1条 地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号。以下「法」という。)第 244 条第 1 項の規定に基づき、市民の科学に関する知識と教養の向上を図り、もって文化の発展に寄与するため、郡山市ふれあい科学館(以下「科学館」という。)を設置する。

##### (名称及び位置)

第2条 科学館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
郡山市ふれあい科学館	郡山市駅前二丁目 11 番 1 号

第3条 削除

##### (事業)

第4条 科学館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 科学技術に関する資料及び装置を展示し、並びに利用に供すること。
- (2) プラネタリウムその他の投影装置による天体運行等の投影を行うこと。
- (3) 科学技術及び天文等に関する講習会、講演会等を開催すること。
- (4) 科学技術に関する調査研究を行い、及び科学情報等を提供すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、設置の目的を達成するために必要な事業

##### (開館時間)

第5条 科学館の開館時間は、午前 10 時から午後 5 時 45 分(入館は、午後 5 時)までとする。

ただし、科学館の展望ロビーの開館時間は、午前 10 時から午後 8 時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、市長が必要と認めたときは、同項に規定する開館時間を臨時に変更することができる。

##### (休館日)

第6条 科学館の休館日は、次に掲げるとおりとする。ただし、展望ロビーは、市長が特に支障がないと認めるときは、科学館の休館日に入館することができる。

- (1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)に規定する休日に当たるときは、その翌日とする。)
- (2) 1 月 1 日から 1 月 4 日まで及び 12 月 28 日から 12 月 31 日までの日

2 前項の規定にかかわらず、市長が必要と認めたときは、同項に規定する休館日を臨時に変更し、又は臨時に設けることができる。

##### (観覧料等)

第7条 科学館の常設展示室又は宇宙劇場に入場し、展示物又は天体運行等の映像を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納入しなければならない。

2 科学館の附属設備等を使用しようとする者は、別表第2に定める使用料を納入しなければならない。

#### **(観覧料の免除)**

第8条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、観覧料の全部又は一部を免除することができる。

- (1) 市(市の機関を含む。)が主催する事業の活動として観覧するとき。
- (2) その他市長が特に観覧料を免除する必要があると認めるとき。

#### **(観覧料等の不返還)**

第9条 既納の観覧料及び使用料(以下「観覧料等」という。)は、これを返還しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、その全部又は一部を返還することができる。

- (1) 観覧又は使用をしようとする者の責めによらない理由により観覧又は使用ができなくなったとき。
- (2) その他市長が特別の理由があると認めたとき。

#### **(利用の制限)**

第10条 市長(第12条の規定により指定管理者(法第244条の2第3項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)に管理を行わせる場合にあっては、指定管理者)は、科学館に入館しようとする者又は入館している者が次の各号のいずれかに該当すると認めたときは、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 公益を害し、又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
- (2) 科学館の施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、若しくは滅失したとき又はこれらのおそれがあるとき。
- (3) この条例又はこれに基づく規則に違反したとき又はそのおそれがあるとき。
- (4) 前3号に掲げる場合のほか、管理運営上適当でない行為をしたとき又はそのおそれがあるとき。

#### **(入館者の賠償責任)**

第11条 科学館に入館した者は施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めたときは、その額を減額し、又は免除することができる。

#### **(管理の代行)**

第12条 市長は、科学館の管理について、次に掲げる業務を指定管理者に行わせることができる。

- (1) 第4条に規定する事業の実施に関する業務
- (2) 第10条に規定する利用の制限に関する業務
- (3) 第19条に規定する利用料金に関する業務
- (4) 施設、設備、資料等の維持管理に関する業務

#### **(指定管理者の募集の公告等)**

第13条 市長は、前条の規定により指定管理者に科学館の管理を行わせようとするときは、

あらかじめ規則で定める事項を公告するものとする。ただし、指名する法人その他の団体又は指名する複数の団体のうちから選定したものを指定管理者として指定しようとする場合は、この限りでない。

#### **(指定管理者の申請)**

第14条 指定管理者の指定を受けようとする団体は、規則で定めるところにより、申請書に科学館の管理の実施に関する計画書（以下「事業計画書」という。）等を添付して市長に申請しなければならない。

2 指定管理者の指定を受けることができる団体は、次の各号に掲げる要件のいずれにも該当する団体とする。ただし、法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消された団体にあっては、前条の規定による公告又は指名の日において、当該取消しの日の翌日から起算して2年を経過していなければならない。

- (1) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4に規定する者に該当しないこと。
- (2) 会社更生法（平成14年法律第154号）、民事再生法（平成11年法律第225号）等による更生手続又は再生手続を行っていないこと。
- (3) 郡山市税を滞納していないこと。
- (4) その他規則で定める要件

#### **(指定管理者の選定)**

第15条 市長は、前条第1項の規定による申請があったときは、事業計画書等の内容を次に掲げる基準により審査し、科学館の管理を行うことについて適当と認める団体を、指定管理者の候補となる団体に選定するものとする。

- (1) 科学館における市民の平等な利用を確保できるものであること。
- (2) 科学館の効用を最大限に發揮できるものであること。
- (3) 科学館の管理に係る経費の節減を図ることができるものであること。
- (4) 科学館の管理を安定して行うために必要な人的能力、物的 ability その他の経営上の基盤を有していること。
- (5) 申請した団体が科学館の管理に伴い作成し、又は取得した個人情報の保護のための適切な措置を講じることができるものであること。
- (6) その他市長が科学館の設置の目的を効果的に達成するために必要があると認めて定める基準

2 市長は、前項の規定により選定をしたときは、速やかにその結果を前条第1項の規定により申請した団体に通知しなければならない。

#### **(指定管理者の指定)**

第16条 市長は、前条第1項の規定により選定した指定管理者の候補となる団体について、議会の議決を経たときは、当該団体を指定管理者に指定するものとする。

2 市長は、前項の規定により指定管理者を指定する場合において、科学館の管理運営上必要な条件を付することができる。

#### **(協定の締結)**

第17条 指定管理者は、指定管理者の指定の期間の開始前に、科学館の管理に関し、

規則で定める事項について市長と協定を締結しなければならない。

#### (事業報告書の提出)

第18条 法第244条の2第7項の規定による事業報告書の提出は、毎年度終了後60日（同条第11項の規定により指定管理者の指定を取り消された団体にあっては、その取り消された日の翌日から起算して60日）以内にしなければならない。

#### (利用料金)

第19条 観覧又は使用をしようとする者は、指定管理者に対し、科学館の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を納入しなければならない。この場合において、第7条の規定は適用しない。

- 2 利用料金は、指定管理者の収入として収受させる。
- 3 利用料金の額は、観覧料等の額の範囲内において、指定管理者があらかじめ市長の承認を得てそれぞれ定める。
- 4 指定管理者は、前項の規定により観覧料の額の範囲内において利用料金の額を定めたときは、第8条の規定、郡山市障害者の利用に係る公の施設の使用料の免除に関する条例（平成11年郡山市条例第24号）の規定及びこれらの規定に基づく規則の規定並びに第9条の規定及びこれに基づく規則の規定に準じて、当該利用料金の免除及び返還の業務を行わなければならない。この場合において、これらの規定中「観覧料」又は「観覧料及び使用料」とあるのは「利用料金」と、「市長」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。
- 5 指定管理者は、第3項の規定により使用料の額の範囲内において利用料金の額を定めたときは、第9条の規定及びこれに基づく規則の規定に準じて、当該利用料金の返還の業務を行わなければならない。この場合において、これらの規定中「観覧料及び使用料」とあるのは「利用料金」と、「市長」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。
- 6 指定管理者は、第3項の規定により利用料金の額を定めたときは、利用料金を当該指定管理者の収入として収受する旨及びその額又は算出方法等について科学館に入館する者の見やすい方法により公表しなければならない。

#### (指定等の公告)

第20条 市長は、次に掲げるときは、その旨を公告しなければならない。

- (1) 第16条第1項の規定により指定管理者を指定したとき。
- (2) 前条第3項の規定により利用料金の額を承認したとき。
- (3) 法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じたとき。
- (4) 前3号の規定により公告した事項に変更があったとき。

#### (開館時間等の変更)

第21条 指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ市長の承認を得て、第5条に規定する開館時間を臨時に変更し、又は第6条に規定する休館日を臨時に変更し、若しくは臨時に設けることができる。

#### (事業計画書等の内容の変更等)

第22条 指定管理者は、第14条第1項の規定により提出した事業計画書その他規則で

定める書類の内容について変更しようとするときは、あらかじめ市長の承認を受けなければならぬ。ただし、規則で定める軽微な事項を変更しようとするときは、この限りでない。

2 指定管理者は、前項ただし書に規定する軽微な事項を変更したときは、市長にその旨を届け出なければならない。

#### (秘密保持義務)

第 23 条 指定管理者による管理の業務に従事している者又は従事していた者は、科学館の管理の業務に関して知り得た秘密をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない。

#### (指定管理者の原状回復義務)

第 24 条 指定管理者は、指定管理者の指定の期間が満了したとき又は法第 244 条の 2 第 11 項の規定により指定管理者の指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じられたときは、直ちに施設、設備、資料等を原状に回復し、市長に引き渡さなければならない。ただし、市長の承認を得たときは、この限りでない。

#### (指定管理者の賠償責任)

第 25 条 指定管理者は、施設、設備、資料等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償し、又はこれを原状に回復しなければならない。ただし、市長が相当の理由があると認めたときは、その全部又は一部を免除することができる。

#### (委任)

第 26 条 この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。

### 附 則

#### (施行期日)

1 この条例は、規則で定める日から施行する。

(平成 13 年 6 月 1 日教委規則第 11 号で平成 13 年 10 月 1 日から施行)

(郡山市障害者の利用に係る公の施設の使用料の免除に関する条例の一部改正)

2 郡山市障害者の利用に係る公の施設の使用料の免除に関する条例(平成 11 年郡山市条例第 24 号)の一部を次のように改正する。

[次のように] 略

附 則(平成 15 年郡山市条例第 26 号)

この条例は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 17 年郡山市条例第 68 号)

1 この条例は、公布の日から施行する。

2 この条例の施行の際現に改正前の第 10 条の規定により委託している郡山市ふれあい科学館の管理及び運営は、改正後の第 16 条第 1 項の規定により指定された指定管理者の指定の期間が開始する日までの間は、なお従前の例による。

附 則(平成 26 年郡山市条例第 62 号) 抄

#### (施行期日)

1 この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

(郡山市ふれあい科学館条例の一部改正に伴う経過措置)

6 施行日前に改正前の郡山市ふれあい科学館条例の規定によりなされた手続、処分その他の行為は、第5条の規定による改正後の郡山市ふれあい科学館条例の相当規定によりなされた手続、処分その他の行為とみなす。

附 則(平成29年郡山市条例第47号)

この条例は、平成30年4月1日から施行する。

\*別表以下省略

## (2) 規則

### ○郡山市ふれあい科学館条例施行規則

平成 27 年 3 月 30 日

郡山市規則第 26 号

#### (趣旨)

第 1 条 この規則は、郡山市ふれあい科学館条例（平成 13 年郡山市条例第 33 号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めるものとする。

#### (観覧券の交付)

第 2 条 市長（条例第 16 条第 1 項の規定により指定された指定管理者の指定の期間中にあっては、指定管理者）は、条例第 7 条第 1 項の規定により観覧料（指定管理者の指定の期間中にあっては、条例第 19 条第 1 項に規定する利用料金）を納入した者に対して郡山市ふれあい科学館観覧券（第 1 号様式）を交付する。

#### (観覧料の免除)

第 3 条 条例第 8 条の規定により免除することができる観覧料の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 条例第 8 条第 1 号に規定する場合 当該観覧料の全額
- (2) 条例第 8 条第 2 号に規定する場合 市長が認める額

2 前項の規定により観覧料の免除を受けようとする者は、あらかじめ郡山市ふれあい科学館観覧料免除申請書（第 2 号様式）を市長に提出しなければならない。

#### (観覧料等の返還)

第 4 条 条例第 9 条ただし書の規定により返還する観覧料等の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 条例第 9 条第 1 号に規定する場合 当該観覧料等の全額
- (2) 条例第 9 条第 2 号に規定する場合 市長が認める額

2 前項に規定する観覧料等の返還を受けようとする者は、郡山市ふれあい科学館観覧料等返還請求書（第 3 号様式）を、市長に提出しなければならない。

#### (遵守事項)

第 5 条 郡山市ふれあい科学館（以下「科学館」という。）において、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 所定の場所以外で飲食し、喫煙し、又は火気を使用しないこと。
- (2) 他に危害又は迷惑を及ぼすおそれのある物品又は動物を持ち込まないこと。
- (3) 風紀及び秩序を乱さないこと。
- (4) その他職員の指示に従うこと。

#### (募集時の公告事項等)

第 6 条 条例第 13 条の規則で定める事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 名称、所在地、構造、規模等の科学館の概要
- (2) 指定管理者が行う管理の基準及び業務の範囲
- (3) 指定管理者の指定の期間

- (4) 利用料金に関する事項
- (5) 指定管理者の指定を受けることができる団体の資格
- (6) 指定管理者に支出する委託費の額に関する事項
- (7) 次条第1項に規定する申請書等に関する事項
- (8) 指定管理者の申請を受け付ける期間
- (9) 指定管理者の選定の基準及び方法
- (10) その他市長が必要と認める事項

2 条例第13条の規定による公告は、郡山市公告式条例（昭和40年郡山市条例第2号）第2条第2項の掲示場に掲示することにより行うものとする。

#### **(申請書等)**

第7条 条例第14条第1項の規定による申請は、指定申請書（第4号様式）に次に掲げる書類を添付して行うものとする。

- (1) 条例第14条第1項に規定する事業計画書
- (2) 科学館の管理の業務に関する収支予算書
- (3) 定款、寄附行為又はこれらに準じる規約を記載した書類
- (4) 法人にあっては、登記事項証明書
- (5) 法人でない団体にあっては、役員の氏名及び住所を記載した書類
- (6) 申請の日の属する事業年度の直近2事業年度における貸借対照表、損益計算書その他の団体の財務の状況を明らかにできる書類
- (7) 申請の日の属する事業年度の直近2事業年度における団体の事業の内容を明らかにできる書類
- (8) 納税証明書等郡山市税に係る団体の納税状況を証する書類その他これらに準じる書類
- (9) その他市長が必要と認める書類

2 条例第14条第2項第4号の規則で定める要件は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 申請した団体の取締役、執行役その他これらに準すべき者のうちに次のいずれかに該当する者がいないこと。
  - ア 破産者で復権を得ないもの
  - イ 指定管理者の指定を取り消された団体において、当該取消しの日前30日以内にその取締役、執行役その他これらに準すべき者であった者で、条例第13条の規定による公告又は指名の日（以下「公告等の日」という。）において、当該取消しの日から起算して2年を経過しないもの
  - ウ 禁錮以上の刑に処された者で、その執行を終わり、又はその執行を受けることがなくなった日から起算して、公告等の日において2年を経過しないもの
  - エ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員
- (2) 本市の議会の議員又は市長が取締役、執行役その他これらに準すべき者を務める団体（市長にあっては、市が資本金、基本金その他これらに準ずるもの2分の1以上を出資し、又は出えんしている法人を除く。）でないこと。
- (3) 市長が必要と認める資格を有する者を配置できること。

### (指定通知)

第8条 条例第16条第1項の規定により指定をしたときは、指定管理者となる団体に指定の期間を記載した通知書を通知するものとする。

2 条例第16条第2項の規定により条件を付する場合は、前項の通知書に当該条件を記載するものとする。

### (協定締結事項)

第9条 条例第17条の規則で定める事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 条例第14条第1項に規定する事業計画書に記載された事項
- (2) 指定管理者に支出する委託費の額に関する事項
- (3) 科学館の管理に伴い取得し、又は作成した個人情報の保護及び情報の公開に関する事項
- (4) 事業報告に関する事項
- (5) 利用料金に関する事項
- (6) 指定管理者の指定の取消し及び管理の業務の停止に関する事項
- (7) その他市長が必要と認める事項

### (事業計画書等の変更)

第11条 条例第22条第1項ただし書の規則で定める軽微な事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 指定管理者の本店、支店、事務所等の所在地の変更
- (2) 指定管理者の取締役、執行役その他これらに準すべき者の変更
- (3) その他市長が軽微であると認める事項

### (委任)

第12条 この規則で定めるものほか必要な事項は、市長が別に定める。

#### 附 則

##### (施行期日)

1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

##### (経過措置)

2 この規則の施行の日前に郡山市スポーツ推進委員設置規則等を廃止する規則（平成27年郡山市教育委員会規則第1号）による廃止前の郡山市ふれあい科学館条例施行規則（平成13年郡山市教育委員会規則第12号。以下「廃止前の規則」という。）の規定により交付された定期観覧券は、この規則の規定により交付された定期観覧券とみなす。

3 この規則の施行の際現に廃止前の規則の様式の規定に基づき作成されている用紙は、当分の間、所要の調整をして使用することができる。

#### 附 則（平成30年郡山市規則第26号）

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

#### 附 則（平成30年郡山市規則第48号）

この規則は、公布の日から施行する。

## 2 利用案内

### <普通観覧料>

区分	常設展示	宇宙劇場
一般	400円	400円
高校生・大学生等	300円	300円
小中学生	200円	200円
幼児・65歳以上	無料	100円

※宇宙劇場の幼児…座席を使用しない場合は無料  
※団体割引…20名以上の団体は20% OFF

### <定期観覧料（ワンイヤーパスポート）>

区分	常設展示・宇宙劇場共用 (同人が1年間観覧する場合)
一般	4,000円
高校生・大学生等	3,000円
小中学生	2,000円

### <宇宙劇場番組開始時間>

投映回数	平日	土・日・祝日
1回目	10:15	11:00
2回目	11:30	12:30
3回目	14:00	14:00
4回目	15:30	15:30
5回目		17:00
6回目	19:00 ※金曜日のみ(祝日を除く)	

※番組開始時刻は変更になる場合があります。

### <開館時間>

常設展示…10:00～17:45（入場は17:00まで）

宇宙劇場…10:00～17:45（入場は17:00まで）

※金曜日は10:00～19:45（入場は19:00まで）

### <休館日>

毎週月曜日（その日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12/28～1/4）

※機器点検等により臨時に休館となる場合有

### <展望ロビー>

10:00～20:00

### 3 スペースパークボランティアの会会則

#### スペースパークボランティアの会会則

##### (名称・事務所)

第1条 本会は「スペースパークボランティアの会（略称S.P.Vという）」と称し、事務所を郡山市ふれあい科学館（以下「科学館」という）内に置く。

##### (目的)

第2条 本会は「市民の科学に関する知識と教養の向上を図り、もって文化の発展に寄与する。」という科学館の設置目的に基づき、科学館の協力者として、また生涯学習者として、自主性をもって活動することにより、会員の資質向上と会員相互の交流を図ることを目的とする。

##### (活動・種別)

第3条 会員は本会の目的を達成するために、次の活動を行う。

- (1) 施設案内や展示の解説・来館者の観覧支援
- (2) 本会及び科学館主催事業の支援
- (3) 会員の研鑽及び親睦を図る活動
- (4) その他必要な活動

2 活動は科学館と協議の上、実施する。

3 活動項目は、隨時拡充していくものとする。

4 活動内容により、次の活動グループを置く。

- (1) 案内・科学グループ
- (2) 天文グループ

##### (会員)

第4条 本会の会員は、スペースパークボランティアの会の登録者をもって構成する。

2 会員に会長名で登録証を発行する。

3 会員の資格は、1年とする。ただし、登録の更新は妨げない。

##### (研修)

第5条 会員は、活動に必要な所定の研修を受講しなければならない。

- (1) 一般研修 活動を適正かつ円滑に行うための基本研修
- (2) 専門研修 活動に必要な専門知識を習得するための研修
- (3) その他会員の資質向上を図るための研修

##### (役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 運営委員 若干名

- 2 運営委員は、自薦および会員の推薦で選出する。
- 3 会長及び副会長は、運営委員の互選により選出し、総会の承認を得る。
- 4 役員は本会の運営や活動に関し必要な事において、科学館職員の助言を得ることができる。
- 5 役員の任期は1年とし、再任は妨げない。

**(職務)**

第7条 会長は本会を代表し、会務を統括する。

- 2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき又は欠けたときはその職務を代行する。
- 3 役員は会議に出席し、会務の重要事項の審議とその執行にあたる。

**(会議)**

第8条 本会の会議は、総会および役員会とし、会長が召集する。

- (1) 総会は原則として年1回開催し、活動報告・計画立案、役員の選出などを協議する。
- (2) 役員会は、必要に応じ開催することができる。
- (3) 総会は、過半数の出席（委任状を含む）により成立する。

2 本会に次の部会を置く。

- (1) 総務部会
- (2) 企画部会
- (3) 広報部会

**(登録資格の失効)**

第9条 会員が次に該当した場合は、登録資格を失う。

- (1) 退会届の提出をした場合
- (2) 特別の理由がなく、6ヶ月以上定められた活動を行わない場合
- (3) 心身の健康上の理由から活動の継続が不可能である場合
- (4) 来館者等への接遇が適切でなく、トラブルを起こした場合
- (5) 政治活動や宗教活動を行った場合
- (6) 本会及び科学館の名誉を傷つけたり、他の会員に著しく迷惑を及ぼした場合
- (7) 営利を目的とした行為を行った場合
- (8) その他、科学館の運営及びボランティア活動に不適切であると認められる場合

**(年度)**

第10条 この会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年の3月31日に終わる。

**(委任)**

第11条 この会則に定めるものほかに、本会の運営や活動に関し必要な事項は、役員会の総意を得て、別に定める。

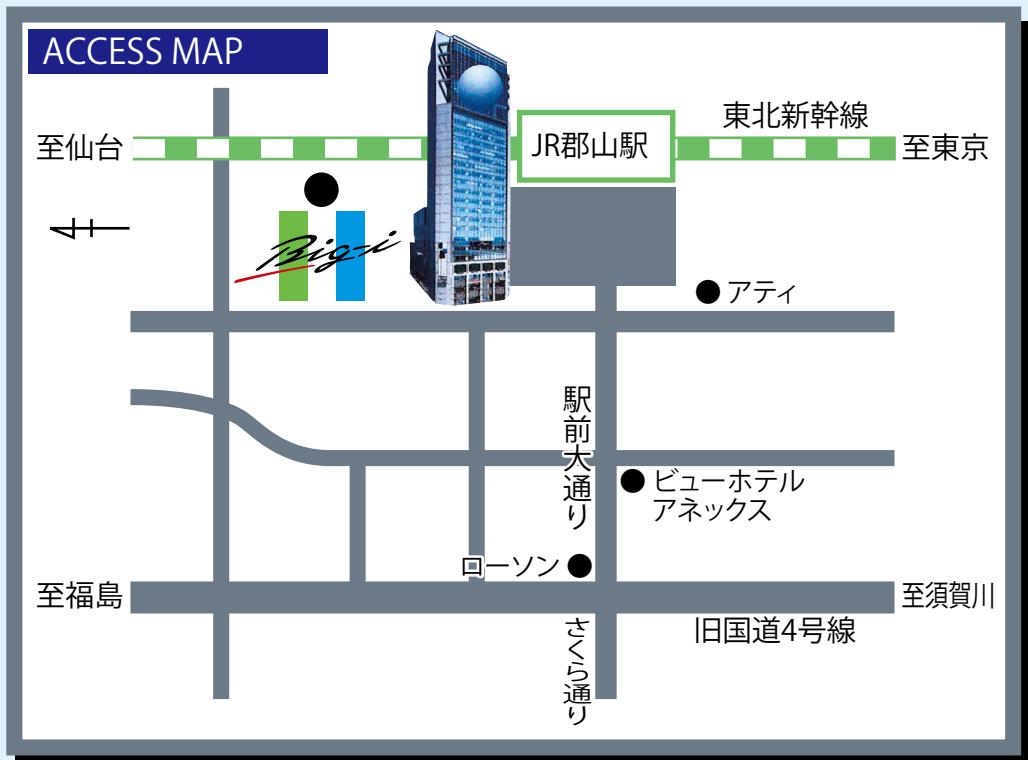
**(改廃)**

第12条 この会則は、総会の承認を得なければ改廃できない。

**附 則**

この会則は、平成 16 年 2 月 15 日から施行する。  
この会則は、平成 17 年 3 月 13 日から施行する。  
この会則は、平成 18 年 3 月 5 日から施行する。  
この会則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。  
この会則は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

### 〈アクセスマップ〉



## 高柳電設工業スペースパーク (郡山市ふれあい科学館)

〒963-8002 福島県郡山市駅前二丁目11番1号(ビッグアイ20~24階)

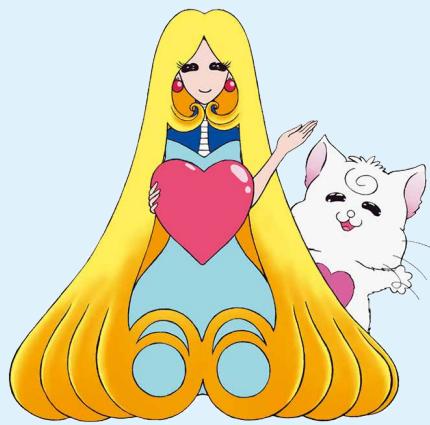
Tel 024-936-0201 Fax 024-936-0089

メールアドレス [info@space-park.jp](mailto:info@space-park.jp)

ウェブサイト <https://space-park.jp>

スペースパーク

Facebook • Instagram • YouTube • LINE配信中!



エンゼルナ & ミニーャン  
©松本零士／郡山市